

平成29年度
県民の体力・
スポーツに関する
意識調査報告書

平成30年2月
沖縄県文化観光スポーツ部スポーツ振興課



沖縄県



Sports Islands
OKINAWA

平成29年度 県民の体力・スポーツに関する意識調査報告書

平成30年2月



目次



I 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査項目	1
3. 調査対象	1
4. 調査時期	1
5. 調査方法	1
6. 調査実施主体及び調査実施機関	1
7. 回収結果	1
8. 集計上の留意点	1

II 調査の結果

1. 健康・体力観について	3
(1) 現在の健康状態	3
(2) 体力の自信の有無	4
(3) 運動不足に対する意識	5
(4) 自身の肥満に対する意識	6
2. 1年間の運動・スポーツの実施状況について	7
(1) 1日あたり30分以上の運動やスポーツの実施状況	7
(2) 行なった運動やスポーツの種目	8
(3) 30分以上運動した頻度・日数（スポーツの実施率）	14
(4) 運動やスポーツをした理由	16
(5) 運動やスポーツをしなかった理由	18
3. スポーツ教室、スポーツイベントへの参加状況及び情報の入手方法について	20
(1) スポーツ教室への参加状況	20
(2) スポーツ行事への参加状況	22
(3) 運動やスポーツに関する情報の入手方法	24
4. スポーツクラブ等への入会状況について	26
(1) クラブや同好会への加入状況	26
(2) 加入しているクラブや同好会の形態	27
(3) 加入しているクラブや同好会が行うスポーツ（種目）	29
(4) 運動やスポーツのクラブや同好会に加入した動機や目的	31

5. 総合型地域スポーツクラブの役割や取組について	33
(1) 総合型地域スポーツクラブについての認知度	33
(2) 総合型地域スポーツクラブの役割に対する期待	34
(3) 総合型地域スポーツクラブの取組に対する期待	36
6. 地域のスポーツの振興にあたっての期待や要望について	38
(1) 地域におけるスポーツ振興に対する期待	38
(2) 地域のスポーツ振興のために県や市町村に力を入れてもらいたいこと	40
(3) スポーツ指導者の確保、養成に対する期待	42
(4) 県や市町村に提供してほしい情報	44
7. 国際大会における本県選手の活躍に対する期待や合宿等の援助について	46
(1) 本県選手または本県出身選手の活躍に対する期待	46
(2) 合宿費や大会遠征費などの援助	47

Ⅲ 資料編

資料1 競技者、運営者、ボランティア等として参加した、主な行事の名称	49
資料2 回答者の意見・要望（自由記述）	55
資料3 調査票	63

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

県民の健康・体力及びスポーツ活動について実態や意識等を調査し、今後の施策の参考とする。

2. 調査項目

- ・健康・体力観について
- ・1年間の運動・スポーツの実施状況について
- ・スポーツ教室、スポーツイベントへの参加状況及び情報の入手方法について
- ・スポーツクラブ等への入会状況について
- ・総合型地域スポーツクラブの役割や取組について
- ・地域のスポーツの振興にあたっての期待や要望について
- ・国際大会における本県選手の活躍に対する期待や合宿等の援助について

3. 調査対象

- ・母集団 沖縄県内に在住する満20歳以上の男女
- ・調査地点数及び標本数：基本 403地点、4,030人
追加 300地点(北部、宮古、八重山) 3,000人、計 7,030人
- ・標本抽出方法 層化二段無作為抽出法
- ・本調査実施にあたっては、沖縄県の市町村を①北部、②中部、③南部、④宮古、⑤八重山の5圏域に分割した。郵送法の回収率を考慮して設定した4,030標本を圏域別に人口に応じて比例配分すると、圏域間の標本数の差が大きく、圏域別の調査精度も大きく異なる。
- ・そこで、人口の少ない北部、宮古及び八重山の3圏域の標本数を中部及び南部を基準にして、それぞれ4倍、7倍、7倍を割り当てて追加し、結果として7,030の標本数とした。

4. 調査時期

- ・平成29年10月12日～11月7日

5. 調査方法

- ・郵送回収法

6. 調査実施主体及び調査実施機関

- ・調査実施主体 沖縄県 文化観光スポーツ部スポーツ振興課
- ・調査実施機関 有限会社アイディー・ブランド

7. 回収結果

- ・回収数 1,860人 (回収率：26.5%)

8. 集計上の留意点

- 本調査における各設問の集計にあたって以下のようなとりまとめをしているので、留意されたい。
- ・各設問の回答数は、不明・無回答を除いた有効回答数を基本にしている。
 - ・総数、性別、年齢別の集計にあたっては、圏域別の標本数の割り当て量を考慮してウエイトを付け

て行っている。具体的には、宮古圏域及び八重山圏域のウエイトを1として、北部圏域には1.75(7/4)、中部圏域及び南部圏域には7のウエイトを付けている。したがって、北部圏域の回答数については1.75倍し、中部圏域及び南部圏域の回答数については7倍して集計のためのデータベース(7,939票)を作成している。設問毎の各選択肢の構成比は、このウエイト付き回答数を用いて各選択肢の該当数を集計して算出している。

- ・なお、設問毎の全体の回答者数、性別及び年齢別の回答者数については、それぞれの回収数に(ウエイト付き回答数/ウエイト付き回収数)を乗じて算出している。
- ・圏域別の集計は、それぞれの回収数に基づき行っている。
- ・このため、全体の回答者総数と、性別、年代別、及び圏域別の回答者合計値は一致しない場合もある。また、単数回答の図表類の構成比は、小数点第二位を四捨五入している関係で内訳の和は必ずしも100%にならない。

表 I - 7 - 1 圏域別性別年齢別回収結果

	総数	北部圏域	中部圏域	南部圏域	宮古圏域	八重山圏域
総数	1,860	353	501	468	243	295
[性別]						
男性	775	151	206	186	89	143
女性	1,085	202	295	282	154	152
[年代別]						
20代	130	27	37	40	11	15
30代	235	35	57	69	34	40
40代	390	70	110	103	37	70
50代	305	51	78	84	43	49
60代	447	86	106	95	79	81
70代以上	353	84	113	77	39	40
発送数	7,030	1,440	1,730	1,620	1,120	1,120
回収率(%)	26.5	24.5	29.0	28.9	21.7	26.3

表 I - 7 - 2 圏域別対象者の基本的属性

(単位:%)

	総数	北部圏域	中部圏域	南部圏域	宮古圏域	八重山圏域
総数	(1,860人)	19.0	26.9	25.2	13.1	15.9
[性別]						
男性	(775人)	19.5	20.6	18.6	8.9	14.3
女性	(1,085人)	18.6	27.2	26.0	14.2	14.0
[年代別]						
20代	(130人)	20.8	28.5	30.8	8.5	11.5
30代	(235人)	14.9	24.3	29.4	14.5	17.0
40代	(390人)	17.9	28.2	26.4	9.5	17.9
50代	(305人)	16.7	25.6	27.5	14.1	16.1
60代	(447人)	19.2	23.7	21.3	17.7	18.1
70代以上	(353人)	23.8	32.0	21.8	11.0	11.3

Ⅱ 調査の結果

Ⅱ 調査の結果

1. 健康・体力観について

(1) 現在の健康状態

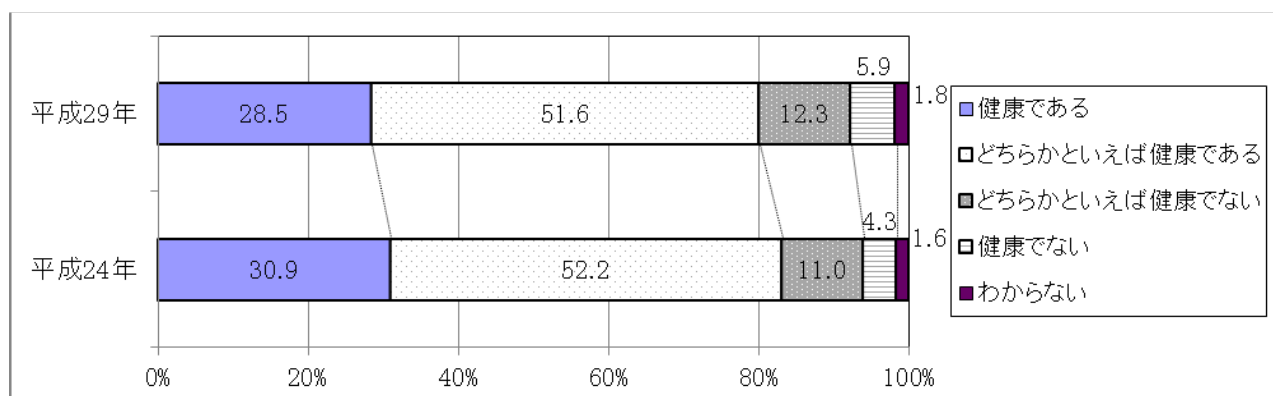
普段の自身の健康についてどう思うかを尋ねたところ、「どちらかといえば」を含め、健康であると答えた人の割合は80.1%（「健康である」28.5%+「どちらかといえば健康である」51.6%）となっており、平成24年調査の結果（83.1%）と比較すると3ポイント低くなっている。

健康であると答えた人の割合を性別にみると、女性の方が1.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、20代、30代及び40代では80%を超えているが、50代以上は年齢が上がるにつれて低くなる傾向が見られる。

圏域別にみると、圏域間に大きな差はないが、八重山圏域で最も高くなっている。

図Ⅱ－1－1 現在の健康状態



表Ⅱ－1－1 現在の健康状態

(単数回答 単位:%)

項目 (有効回答者数)	健康である 【A】	どちらかといえ ば健康である 【B】	どちらかといえ ば健康でない 【C】	健康でない 【D】	わからない	健康である (計) 【A+B】	健康でない (計) 【C+D】
総 数 (1,860人)	28.5	51.6	12.3	5.9	1.8	80.1	18.1
【 性 別 】							
男 性 (775人)	27.4	50.0	14.0	7.7	1.0	77.4	21.6
女 性 (1,085人)	29.3	52.7	11.1	4.6	2.3	82.0	15.7
【 年 齢 別 】							
20 代 (130人)	48.3	38.4	5.0	4.6	3.7	86.7	9.6
30 代 (235人)	39.5	49.0	7.1	4.4	0.0	88.5	11.5
40 代 (390人)	31.1	54.3	9.0	2.8	2.8	85.4	11.8
50 代 (305人)	26.8	50.8	13.4	7.3	1.7	77.6	20.7
60 代 (447人)	24.4	52.8	14.7	6.6	1.5	77.2	21.3
70 代 以上 (353人)	16.5	55.0	18.5	8.6	1.4	71.5	27.1
【 圏 域 別 】							
北 部 圏 域 (353人)	26.3	54.1	11.6	6.8	1.1	80.5	18.4
中 部 圏 域 (501人)	27.3	51.7	14.0	4.8	2.2	79.0	18.8
南 部 圏 域 (468人)	30.1	50.4	11.1	7.1	1.3	80.6	18.2
宮 古 圏 域 (243人)	28.8	52.7	9.9	5.8	2.9	81.5	15.6
八 重 山 圏 域 (295人)	27.5	55.3	10.2	5.1	2.0	82.7	15.3

(2) 体力の自信の有無

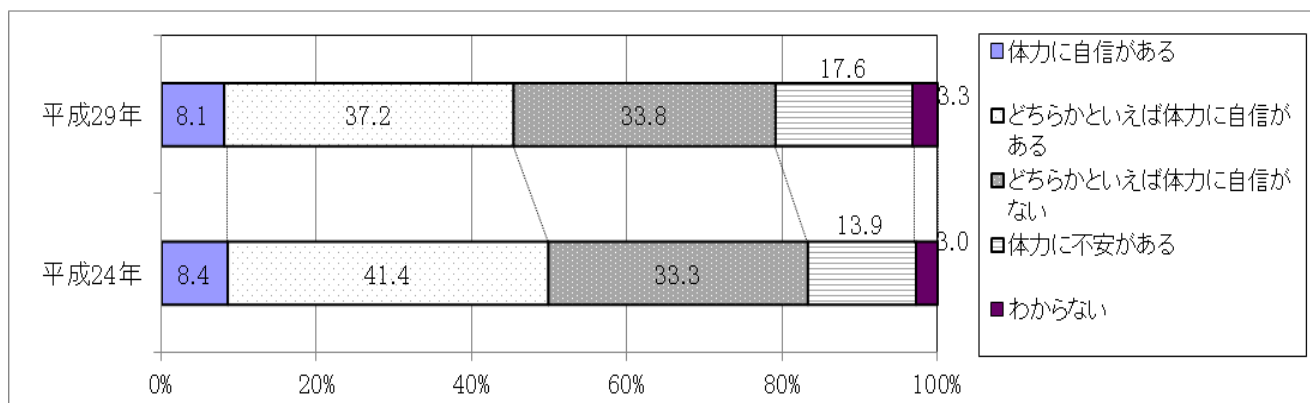
普段の体力についてどう思うかを尋ねたところ、「どちらかといえば」を含め、体力に自信があると答えた人の割合は 45.3%（「体力に自信がある」8.1%+「どちらかといえば体力に自信がある」37.2%）となっており、平成 24 年調査の結果（49.8%）と比較すると 4.5 ポイント低くなっている。

体力に自信があると答えた人の割合を性別にみると、男性はほぼ半数であるが、女性は 42.2%で、男女間の差は 7.6 ポイント開いている。

年齢別にみると、60代で高くなっているが、30代は 40%を下回っており、30代と 60代の差は 13.4 ポイントの開きがある。

圏域別にみると、八重山圏域で最も高く、次いで宮古圏域、北部圏域の順となっている。

図Ⅱ－１－２ 体力の自信の有無



表Ⅱ－１－２ 体力の自信の有無

(単数回答 単位:%)

項目 (有効回答者数)	体力に自信がある【A】	どちらかといえば体力に自信がある【B】	どちらかといえば体力に自信がない【C】	体力に不安がある【D】	わからない	体力に自信がある(計)【A+B】	体力に自信がない(計)【C+D】
総数 (1,860人)	8.1	37.2	33.8	17.6	3.3	45.3	51.4
【性別】							
男性 (775人)	11.9	37.9	30.4	17.0	2.8	49.8	47.4
女性 (1,085人)	5.4	36.8	36.1	18.1	3.7	42.2	54.1
【年齢別】							
20代 (130人)	12.5	30.2	38.9	15.0	3.4	42.8	53.8
30代 (235人)	5.9	33.5	39.1	15.8	5.7	39.4	54.9
40代 (390人)	8.1	35.1	40.8	15.3	0.7	43.2	56.1
50代 (305人)	6.8	38.3	37.2	13.6	4.1	45.1	50.8
60代 (447人)	11.4	41.4	23.5	20.7	3.0	52.8	44.3
70代以上 (353人)	5.0	39.4	28.8	22.5	4.2	44.4	51.3
【圏域別】							
北部圏域 (353人)	7.9	38.2	30.0	19.8	4.0	46.2	49.9
中部圏域 (501人)	9.0	36.5	32.7	18.2	3.6	45.5	50.9
南部圏域 (468人)	7.3	37.0	35.7	17.1	3.0	44.2	52.8
宮古圏域 (243人)	7.8	39.5	32.9	17.3	2.5	47.3	50.2
八重山圏域 (295人)	6.8	41.4	34.2	15.3	2.4	48.1	49.5

(3) 運動不足に対する意識

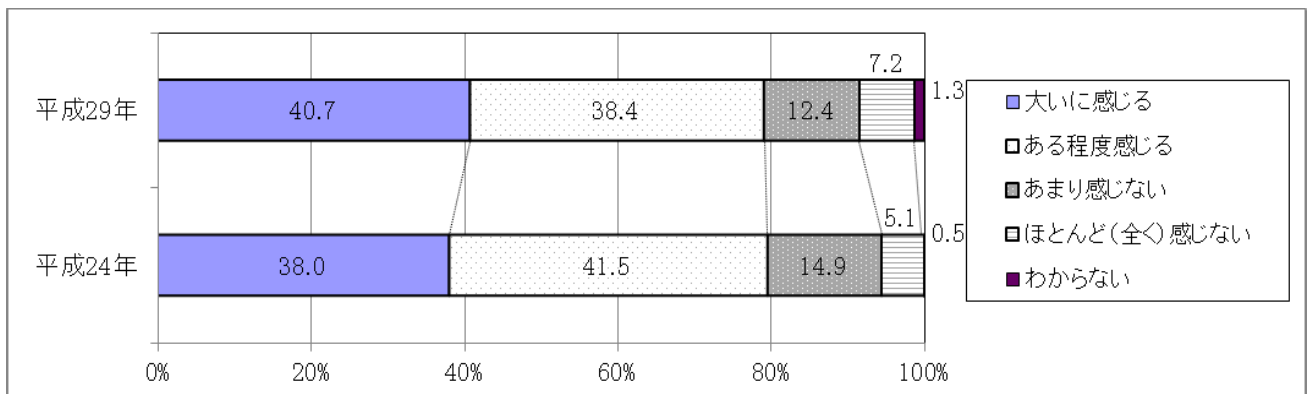
普段、運動不足を感じるかを尋ねたところ、「ある程度」を含め、運動不足を感じると答えた人の割合は79.1%（「大いに感じる」40.7%+「ある程度感じる」38.4%）となっており、平成24年調査の結果（79.5%）と比較すると、その差はほとんどないが、「大いに感じる」人の割合は2.7ポイント増加している。

運動不足を感じると答えた人の割合を性別にみると、女性の方が男性に比べ10.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、30代が87.9%で最も高く、年齢が上がるにつれて低くなる傾向が見られる。

圏域別にみると、北部圏域で最も高く、次いで宮古圏域、南部圏域及び八重山圏域（両圏域同率）の順となっている。

図Ⅱ－1－3 運動不足に対する意識



表Ⅱ－1－3 運動不足に対する意識

(単数回答 単位:%)

項目 (有効回答者数)		大いに感じる 【A】	ある程度感じる 【B】	あまり感じない 【C】	ほとんど(全く)感じない 【D】	わからない	運動不足を感じる(計) 【A+B】	運動不足を感じない(計) 【C+D】
総数	(1,860人)	40.7	38.4	12.4	7.2	1.3	79.1	19.6
【性別】								
男性	(775人)	33.2	39.7	14.8	10.9	1.4	72.9	25.7
女性	(1,085人)	45.9	37.5	10.8	4.6	1.3	83.3	15.4
【年齢別】								
20代	(130人)	41.0	42.9	10.1	4.9	1.1	83.9	15.0
30代	(235人)	55.7	32.2	7.0	4.2	0.9	87.9	11.2
40代	(390人)	49.2	35.9	9.4	5.3	0.1	85.2	14.7
50代	(305人)	41.5	36.5	15.1	5.8	1.1	78.0	20.9
60代	(447人)	32.0	40.9	15.3	10.0	1.9	72.9	25.2
70代以上	(353人)	30.3	42.1	14.9	10.2	2.6	72.4	25.0
【圏域別】								
北部圏域	(353人)	39.7	42.2	9.9	7.1	1.1	81.9	17.0
中部圏域	(501人)	38.3	39.5	13.6	7.8	0.8	77.8	21.4
南部圏域	(468人)	43.8	35.9	11.8	6.6	1.9	79.7	18.4
宮古圏域	(243人)	39.9	41.2	10.3	6.6	2.1	81.1	16.9
八重山圏域	(295人)	38.6	41.0	13.2	6.4	0.7	79.7	19.7

(4) 自身の肥満に対する意識

自身の肥満を感じるかを尋ねたところ、「ある程度」を含め、自身の肥満を感じると答えた人の割合が54.4%（「大いに感じる」20.9%+「ある程度感じる」33.5%）と半数を超えており、自身の肥満を感じないと答えた人の割合43.6%（「あまり感じない」21.8%+「ほとんど（全く）感じない」21.8%）を10.8ポイント上回っている。

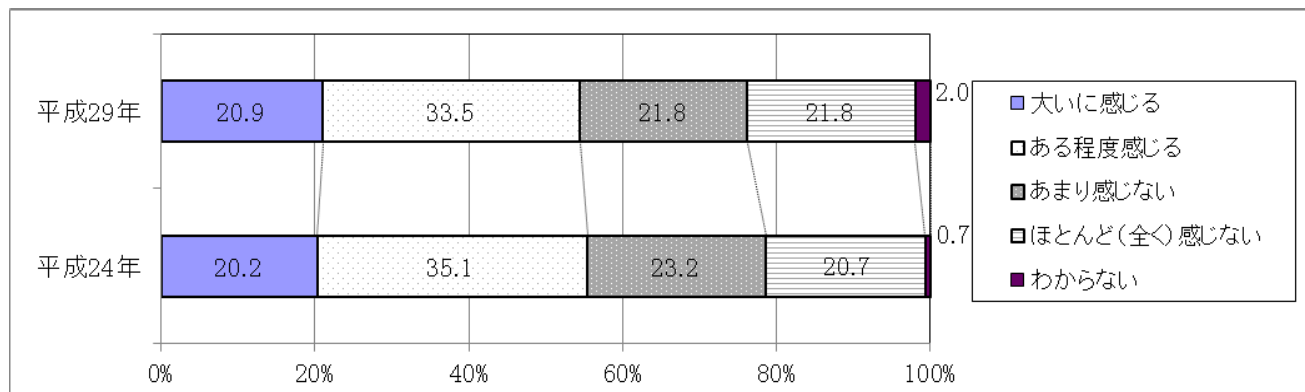
自身の肥満を感じると答えた人の割合を平成24年調査の結果（55.3%）と比較すると、0.9ポイント減少している。

自身の肥満を感じると答えた人の割合を性別にみると、女性の方が男性より3.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、20代から上昇し40代でピークの62.8%に達し、50代以上は下降する傾向が見られる。

圏域別にみると、南部圏域で最も高く、次いで宮古圏域、八重山圏域の順となっている。

図Ⅱ-1-4 自身の肥満に対する意識



表Ⅱ-1-4 自身の肥満に対する意識

(単数回答 単位:%)

項目 (有効回答者数)		大いに感じる 【A】	ある程度感じる 【B】	あまり感じない 【C】	ほとんど(全く)感じない 【D】	わからない	自身の肥満を感じる(計) 【A+B】	自身の肥満を感じない(計) 【C+D】
総数	(1,860人)	20.9	33.5	21.8	21.8	2.0	54.4	43.6
【性別】								
男性	(775人)	20.8	31.5	20.3	25.3	2.1	52.3	45.6
女性	(1,085人)	21.0	34.8	22.8	19.3	2.0	55.8	42.2
【年齢別】								
20代	(130人)	18.4	21.6	25.2	31.2	3.6	40.0	56.4
30代	(235人)	26.4	33.5	22.2	17.2	0.7	59.8	39.5
40代	(390人)	28.9	34.0	19.4	17.1	0.6	62.8	36.5
50代	(305人)	18.8	34.8	21.1	24.5	0.7	53.6	45.7
60代	(447人)	19.2	34.3	22.8	20.4	3.3	53.5	43.2
70代以上	(353人)	13.3	35.5	22.3	25.3	3.6	48.8	47.6
【圏域別】								
北部圏域	(353人)	22.9	31.2	19.3	24.9	1.7	54.1	44.2
中部圏域	(501人)	18.8	33.7	23.2	22.6	1.8	52.5	45.7
南部圏域	(468人)	22.4	34.0	20.7	20.5	2.4	56.4	41.2
宮古圏域	(243人)	25.1	30.0	21.0	21.8	2.1	55.1	42.8
八重山圏域	(295人)	22.4	32.5	22.4	20.7	2.0	54.9	43.1

2. 1年間の運動・スポーツの実施状況について

(1) 1日あたり30分以上の運動やスポーツの実施状況

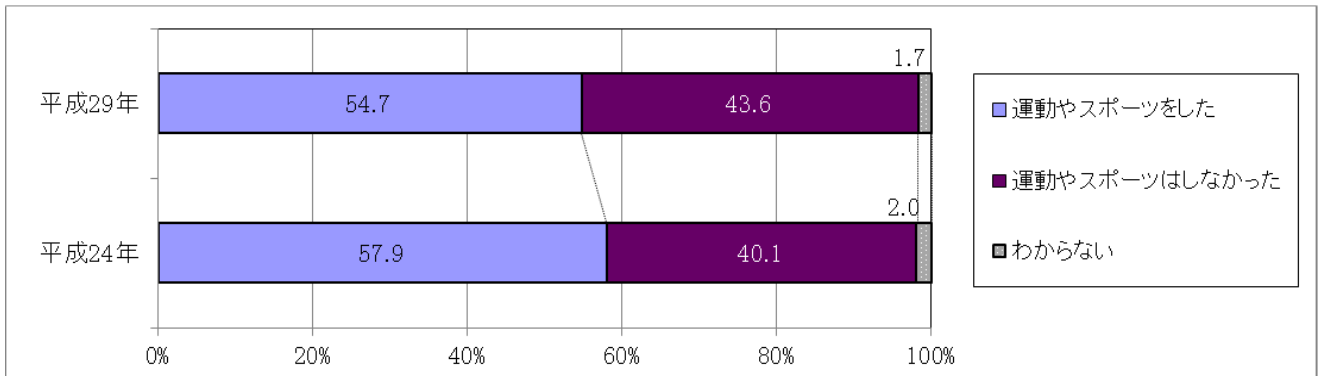
この1年間に1日あたり30分以上の運動やスポーツを行ったかどうかを尋ねたところ、「運動やスポーツをした」と答えた人の割合は54.7%で、平成24年調査の結果(57.9%)と比較すると、3.2ポイント低くなっている。

「運動やスポーツをした」と答えた人の割合を性別にみると、男性は3人に2人に近い割合を示しているが、女性は2人に1人の割合にも達しておらず、その差は14.2ポイントになっている。

年齢別にみると、20代、60代及び70代以上で総数の平均値を上回っているが、30代～50代は平均値を下回っている。

圏域別にみると、八重山圏域が60%を超え、また及び北部圏域も60%近くを示しているが、北部圏域及び宮古圏域が総数の平均値を上回っている。

図Ⅱ-2-1 1日あたり30分以上の運動やスポーツの実施状況



表Ⅱ-2-1 1日あたり30分以上の運動やスポーツの実施状況

(単数回答 単位:%)

項目 (有効回答者数)	運動やスポーツをした	運動やスポーツはしなかった	わからない
総数 (1,860人)	54.7	43.6	1.7
【性別】			
男性 (775人)	63.1	35.8	1.0
女性 (1,085人)	48.9	48.9	2.2
【年齢別】			
20代 (130人)	56.6	39.7	3.7
30代 (235人)	52.9	44.8	2.4
40代 (390人)	52.4	45.6	2.0
50代 (305人)	49.2	50.8	0.1
60代 (447人)	59.6	39.1	1.3
70代以上 (353人)	57.0	40.9	2.1
【圏域別】			
北部圏域 (353人)	59.5	39.1	1.4
中部圏域 (501人)	53.5	44.5	2.0
南部圏域 (468人)	54.1	44.4	1.5
宮古圏域 (243人)	55.1	42.4	2.5
八重山圏域 (295人)	64.7	33.6	1.7

(2) 行なった運動やスポーツの種目

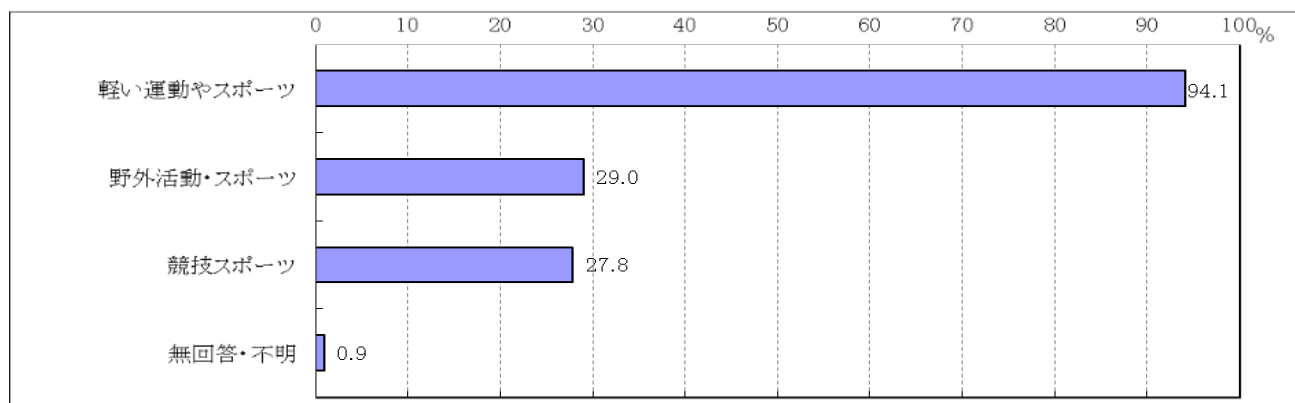
この1年間で行なった運動やスポーツはどのような種目かを「軽い運動やスポーツ」、「野外活動・スポーツ」及び「競技スポーツ」の3領域に分けて尋ねたところ、何らかの「軽い運動やスポーツ」を実施した人の割合は94.1%で、ほとんどの人が「軽い運動やスポーツ」を実施していることを示している。また、何らかの「野外活動・スポーツ」を実施した人の割合、何らかの「競技スポーツ」を実施した人の割合は、それぞれ29%、27.8%となっている。

実施種目の各領域を性別にみると、男性は「野外活動・スポーツ」、「競技スポーツ」において、女性は「軽い運動やスポーツ」において、それぞれ異性に比べ高くなっている。

年齢別にみると、「軽い運動やスポーツ」を実施した人の割合は30代以外で90%を超えている一方、「野外活動・スポーツ」を実施した人の割合は30代で最も高くなっている。「競技スポーツ」を実施した人の割合は、年齢が上がるにつれて低下する傾向が見られる。

圏域別にみると、「軽い運動やスポーツ」においては、全圏域において90%を超えている。八重山圏域の「野外活動・スポーツ」と「競技スポーツ」の実施率がそれぞれ最も高くなっている。

図Ⅱ-2-2 行なった運動やスポーツ（対象：運動やスポーツをした人）



表Ⅱ-2-2 行なった運動やスポーツ（対象：運動やスポーツをした人）

(複数回答【すべて】 単位：%)

項目 (回答者数)		軽い運動やスポーツ	野外活動・スポーツ	競技スポーツ	不明・無回答
総数	(1,017人)	94.1	29.0	27.8	0.9
【性別】					
男性	(488人)	92.0	39.0	37.7	0.9
女性	(529人)	96.0	20.0	19.0	0.8
【年齢別】					
20代	(74人)	96.3	31.9	48.0	0.6
30代	(124人)	89.6	45.3	35.4	1.1
40代	(203人)	92.6	39.4	38.7	0.4
50代	(150人)	94.4	24.4	31.2	0.0
60代	(265人)	95.9	24.4	23.6	0.1
70代以上	(202人)	95.3	15.9	6.7	2.8
【圏域別】					
北部圏域	(210人)	91.4	25.7	23.3	4.3
中部圏域	(253人)	94.8	28.4	20.5	0.7
南部圏域	(239人)	94.1	28.9	34.8	0.4
宮古圏域	(134人)	94.8	30.6	31.3	0.0
八重山圏域	(191人)	92.1	40.3	39.3	0.5

A 軽い運動やスポーツ

「軽い運動やスポーツ」の種目の実施状況をみると、「ウォーキング（通勤・通学の徒歩、散歩などを含む）」（59.8%）が最も高く、次いで「体操（ラジオ体操、縄跳びなどを含む）」（22.1%）、「室内運動器具（ダンベル、チューブなど）を使ってする運動」（21.2%）、「ジョギング」（21.0%）、「ボウリング」（12.4%）の順となっている。

「軽い運動やスポーツ」の種目の実施状況を性別にみると、男性は「ジョギング」、「ゲートボール、グラウンド・ゴルフ」、「軽い球技（キャッチボールなど）」等において、女性は「エアロビックダンス、ヨガ」、「ウォーキング」、「体操」等においてそれぞれ異性の実施率を上回っている。

年齢別にみると、「体操」は、年齢が上がるにつれて実施率が高くなる傾向にあり、反対に「ジョギング」は年齢が上がるにつれて実施率が低くなる傾向が見られる。20代は「軽い球技」、70代以上は「ゲートボール、グラウンド・ゴルフ」の実施率が他の年代を上回っている。

圏域別にみると、北部圏域は「室内運動器具を使ってする運動」、「ジョギング」、「ゲートボール、グラウンド・ゴルフ」及び「軽い球技」において、中部圏域は「ウォーキング」、「エアロビックダンス、ヨガ」、「ボウリング」等において、南部圏域は「軽い水泳」において、宮古圏域は「体操」においてそれぞれ実施率が他圏域に比べ最も高くなっている。

B 野外活動・スポーツ

「野外活動・スポーツ」の種目の実施状況をみると、「海水浴（遊泳）」が10.2%で最も高く、次いで「釣り」（7.2%）、「サイクリング」（6.4%）、「登山、ハイキング、オリエンテーリング」（4.5%）の順となっている。

「野外活動・スポーツ」の種目の実施状況を性別にみると、男性は「釣り」、「サイクリング」、「ゴルフ」等において、女性は「海水浴」及び「登山、ハイキング、オリエンテーリング」において、それぞれ異性に比べ実施率が高くなっている。

年齢別にみると、「海水浴」、「キャンプ」、「マリンスポーツ」は20代～40代の実施率が、「釣り」は20代及び30代の実施率が、他の年代に比べ高くなっている。

圏域別にみると、八重山圏域が「釣り」、「海水浴」、「登山、ハイキング、オリエンテーリング」及び「マリンスポーツ」等の実施率において最も高くなっている。

C 競技スポーツ

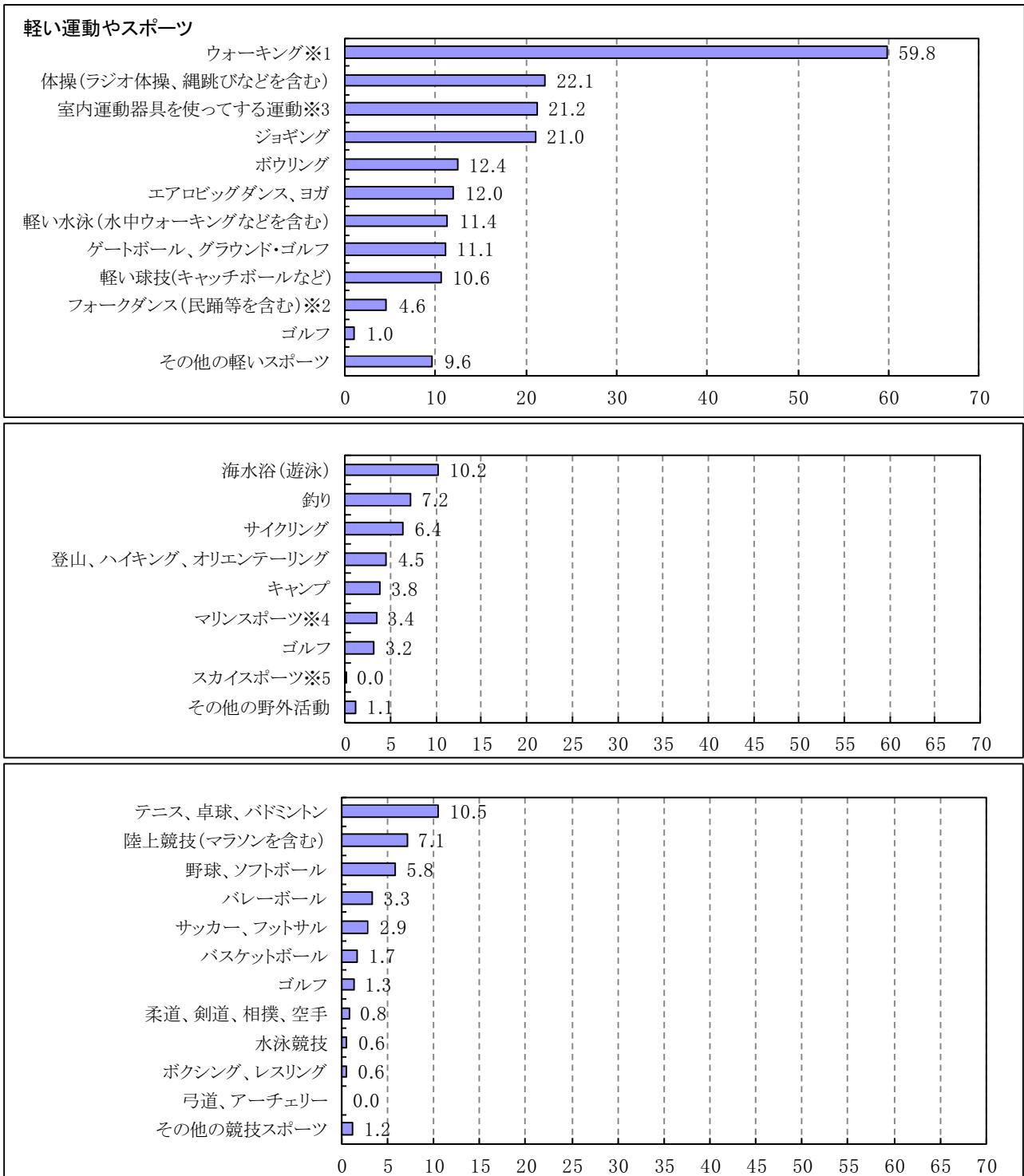
「競技スポーツ」の種目の実施状況をみると、「テニス、卓球、バドミントン」が10.5%で最も高く、次いで「陸上競技（マラソン含む）」（7.1%）、「野球、ソフトボール」（5.8%）、「バレーボール」（3.3%）、「サッカー、フットサル」（2.9%）の順となっている。

「競技スポーツ」の種目の実施状況を性別にみると、男性は「野球、ソフトボール」、「陸上競技」、「サッカー、フットサル」等の実施率が、女性は「テニス、卓球、バドミントン」等の実施率がそれぞれ異性に比べ高くなっている。

年齢別にみると、基本的にどのスポーツも若い年代ほど実施率が高いという傾向が見られるが、「テニス、卓球、バドミントン」は40代の実施率が最も高くなっている。

圏域別にみると、南部圏域が「テニス、卓球、バドミントン」、「サッカー、フットサル」等において、八重山圏域が「陸上競技」、「バレーボール」、「バスケットボール」において、宮古圏域が「野球、ソフトボール」、「水泳競技」等において実施率が最も高くなっている。

図Ⅱ－２－３ 行なった運動やスポーツの種目（対象：運動やスポーツをした人）



※1：ウォーキング（通勤・通学の徒歩、散歩などを含む）

※2：フォークダンス（社交ダンス、民踊、車いすダンスを含む）

※3：室内運動器具（ダンベル、チューブなど）を使ってする運動

※4：ボート、ヨット、サーフィン、スキンドайビングなどのマリンスポーツ

※5：ハングラライダーなどのスカイスポーツ

表Ⅱ-2-3 行なった「軽い運動やスポーツ」の種目（対象：運動やスポーツをした人）

（複数回答【すべて】 単位：%）

項目（回答者数）		軽い球技 (キャッチボールなど)	体操(ラジオ体操、縄跳びなどを含む)	エアロビックダンス、ヨガ	ウォーキング (散歩などを含む)※1	フォークダンス (民踊等を含む)※2	ボウリング
総数	(1,017人)	10.6	22.1	12.0	59.8	4.6	12.4
【性別】							
男性	(488人)	14.5	18.3	2.1	53.9	0.8	15.0
女性	(529人)	7.2	25.5	20.9	65.0	8.0	10.1
【年齢別】							
20代	(74人)	32.8	8.9	13.8	51.4	4.3	19.8
30代	(123人)	15.3	12.1	18.4	53.3	4.8	18.4
40代	(203人)	17.0	20.7	15.6	61.9	0.1	13.3
50代	(150人)	7.1	24.6	15.6	51.8	4.8	14.1
60代	(266人)	3.8	28.5	8.5	62.8	6.2	7.1
70代以上	(201人)	3.1	25.5	5.3	67.5	7.2	9.8
【圏域別】							
北部圏域	(200人)	14.1	19.3	6.8	55.2	4.2	9.9
中部圏域	(253人)	8.6	23.9	14.8	61.2	3.8	13.1
南部圏域	(239人)	12.3	20.9	11.1	60.5	5.9	12.6
宮古圏域	(134人)	6.7	26.1	6.0	58.2	4.5	8.2
八重山圏域	(191人)	11.0	22.0	9.4	58.1	3.1	12.6
項目（回答者数）		ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	ジョギング	軽い水泳（水中ウォーキングを含む）	室内運動器具を使ってする運動※3	ゴルフ	その他の軽いスポーツ
総数	(1,017人)	11.1	21.0	11.4	21.2	1.0	9.6
【性別】							
男性	(488人)	16.6	27.8	11.3	19.9	2.2	7.3
女性	(529人)	6.2	15.0	11.4	22.4	0.0	11.7
【年齢別】							
20代	(74人)	6.9	33.9	14.4	22.1	0.0	5.2
30代	(123人)	4.7	38.2	9.1	19.0	0.2	9.7
40代	(203人)	2.9	26.9	15.7	17.3	0.8	11.0
50代	(150人)	5.6	22.1	10.5	27.7	2.3	9.1
60代	(266人)	13.9	13.4	6.5	20.9	0.0	12.1
70代以上	(201人)	25.8	7.6	13.3	21.7	2.4	7.5
【圏域別】							
北部圏域	(200人)	21.4	25.5	9.4	26.0	0.0	7.8
中部圏域	(253人)	11.2	16.8	9.3	21.9	0.7	10.2
南部圏域	(239人)	7.9	24.5	14.2	20.5	1.6	9.8
宮古圏域	(134人)	20.9	23.9	9.7	19.4	1.5	8.2
八重山圏域	(191人)	17.8	23.6	12.6	16.8	0.0	6.3

※1：ウォーキング（通勤・通学の徒歩、散歩などを含む）

※2：フォークダンス（社交ダンス、民踊、車いすダンスを含む）

※3：室内運動器具（ダンベル、チューブなど）を使ってする運動

表Ⅱ-2-4 行なった「野外活動・スポーツ」の種目（対象：運動やスポーツをした人）

（複数回答【すべて】 単位：%）

項目（回答者数）		海水浴（遊泳）	登山、ハイキング、オリエンテーリング	キャンプ	マリンスポーツ ※4	スカイスポーツ ※5
総数	(1,017人)	10.2	4.5	3.8	3.4	0.0
【性別】						
男性	(488人)	9.9	4.4	4.8	4.5	0.0
女性	(529人)	10.4	4.7	2.9	2.4	0.0
【年齢別】						
20代	(74人)	18.1	3.4	6.0	6.9	0.0
30代	(123人)	22.7	2.2	7.3	8.4	0.0
40代	(203人)	22.0	9.4	6.1	6.8	0.0
50代	(150人)	3.7	1.5	1.2	0.9	0.0
60代	(266人)	2.5	6.3	2.7	1.2	0.1
70代以上	(201人)	0.9	1.6	1.6	0.0	0.0
【圏域別】						
北部圏域	(200人)	8.6	4.8	1.4	4.8	0.0
中部圏域	(253人)	9.3	4.5	4.9	2.6	0.0
南部圏域	(239人)	10.7	4.0	3.6	2.8	0.0
宮古圏域	(134人)	11.2	1.5	0.0	6.7	0.7
八重山圏域	(191人)	14.7	12.0	3.1	11.5	0.0
項目（回答者数）		サイクリング	釣り	ゴルフ	その他の野外活動	
総数	(1,017人)	6.4	7.2	3.2	1.1	
【性別】						
男性	(488人)	10.3	12.3	6.1	1.3	
女性	(529人)	2.9	2.6	0.6	1.0	
【年齢別】						
20代	(74人)	6.3	14.4	0.0	0.0	
30代	(123人)	9.5	13.2	1.3	2.8	
40代	(203人)	6.1	7.6	2.4	0.9	
50代	(150人)	7.9	8.0	2.2	1.2	
60代	(266人)	7.7	2.9	2.7	0.8	
70代以上	(201人)	2.3	4.4	7.6	1.1	
【圏域別】						
北部圏域	(200人)	5.2	10.0	2.9	0.0	
中部圏域	(253人)	5.2	6.7	4.5	1.1	
南部圏域	(239人)	7.5	5.9	2.4	1.2	
宮古圏域	(134人)	9.0	11.9	1.5	0.7	
八重山圏域	(191人)	7.9	15.2	0.5	2.6	

※4：ボート、ヨット、サーフィン、スキndaイビングなどのマリンスポーツ

※5：ハングライダーなどのスカイスポーツ

表Ⅱ-2-5 行なった「競技スポーツ」の種目（対象：運動やスポーツをした人）

(複数回答【すべて】 単位：%)

項目（回答者数）		陸上競技（マラソン含む）	水泳競技	柔道、剣道、相撲、空手	ボクシング、レスリング	弓道、アーチェリー	野球、ソフトボール
総数	(1,017人)	7.1	0.6	0.8	0.6	0.0	5.8
【性別】							
男性	(488人)	8.8	0.9	1.3	0.7	0.0	11.6
女性	(529人)	5.6	0.3	0.3	0.4	0.0	0.7
【年齢別】							
20代	(74人)	14.7	2.0	2.0	2.0	0.0	12.4
30代	(123人)	11.9	0.4	0.2	0.0	0.0	7.8
40代	(203人)	9.2	1.0	0.1	0.3	0.0	8.3
50代	(150人)	6.5	1.1	1.2	1.1	0.0	7.1
60代	(266人)	6.6	0.1	0.9	0.0	0.0	4.4
70代以上	(201人)	0.0	0.0	0.9	0.8	0.0	0.3
【圏域別】							
北部圏域	(200人)	8.6	0.0	0.5	0.5	0.0	5.7
中部圏域	(253人)	5.2	0.0	0.7	0.4	0.0	4.5
南部圏域	(239人)	7.9	1.2	0.8	0.8	0.0	6.7
宮古圏域	(134人)	9.0	2.2	1.5	0.7	0.0	9.0
八重山圏域	(191人)	12.0	1.0	1.0	0.0	0.0	8.4
項目（回答者数）		サッカー、フットサル	テニス、卓球、バドミントン	バレーボール	バスケットボール	ゴルフ	その他の競技スポーツ
総数	(1,017人)	2.9	10.5	3.3	1.7	1.3	1.2
【性別】							
男性	(488人)	6.2	9.2	2.7	1.1	2.7	2.2
女性	(529人)	0.0	11.5	3.8	2.3	0.0	0.3
【年齢別】							
20代	(74人)	13.5	12.9	17.0	6.0	0.0	2.9
30代	(123人)	4.8	11.0	6.7	1.9	0.0	2.0
40代	(203人)	3.1	18.1	3.1	3.9	0.8	1.2
50代	(150人)	1.9	11.0	2.8	1.4	1.4	1.2
60代	(266人)	1.4	8.8	0.2	0.0	2.4	1.2
70代以上	(201人)	0.0	2.9	0.1	0.0	1.7	0.0
【圏域別】							
北部圏域	(200人)	2.4	5.7	5.2	1.0	1.0	1.4
中部圏域	(253人)	1.5	7.1	3.0	1.5	0.0	1.5
南部圏域	(239人)	4.7	15.0	2.8	2.0	2.8	0.4
宮古圏域	(134人)	0.7	8.2	2.2	2.2	2.2	3.7
八重山圏域	(191人)	2.6	12.0	8.4	3.1	0.5	3.1

(3) 30分以上運動した頻度・日数（スポーツの実施率）

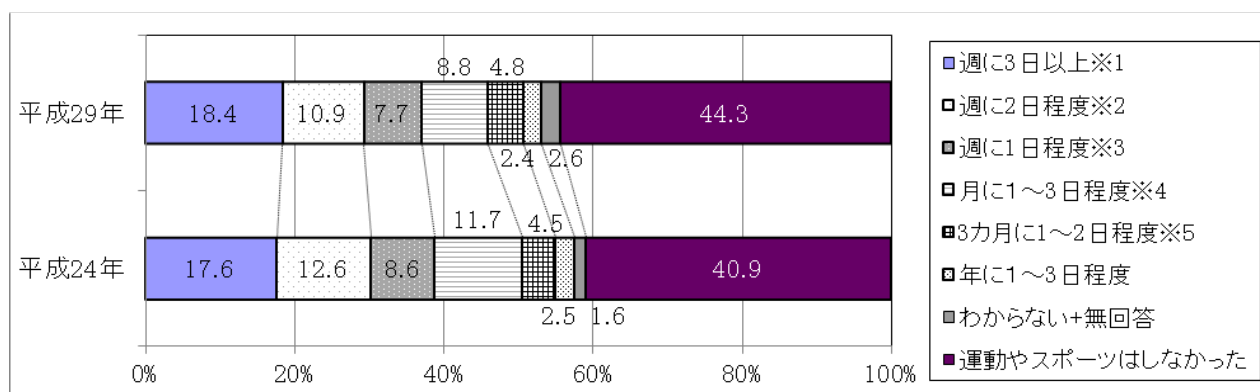
この1年間に30分以上「運動やスポーツをした」と答えた人と「運動やスポーツをしなかった」と答えた人を対象（運動やスポーツをしたかどうかわからないと答えた人を除く。）として、この1年間に運動やスポーツを「週3日以上」したと答えた人の割合、また週1日以上したと答えた人の割合（週に3日以上18.4%+週に2日程度10.9%+週に1日程度7.7%）をみると、それぞれ18.4%、37.0%となっている。これらは、平成24年調査の結果（週3日以上17.6%、週1日以上38.8%）と比較すると、「週3日以上」で0.8ポイント高く、週1日以上では反対に1.8ポイント低いという結果になっている。

運動やスポーツをした頻度・日数を性別にみると、週に1日以上と答えた人の割合は、男性が44.5%で女性の31.8%に比べ12.7ポイント高くなっている。また、「週3日以上」でも男性が24.5%で女性の値に比べ10.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、週に1日以上、「週3日以上」とも年齢が上がるにつれて高くなる傾向が見られる。

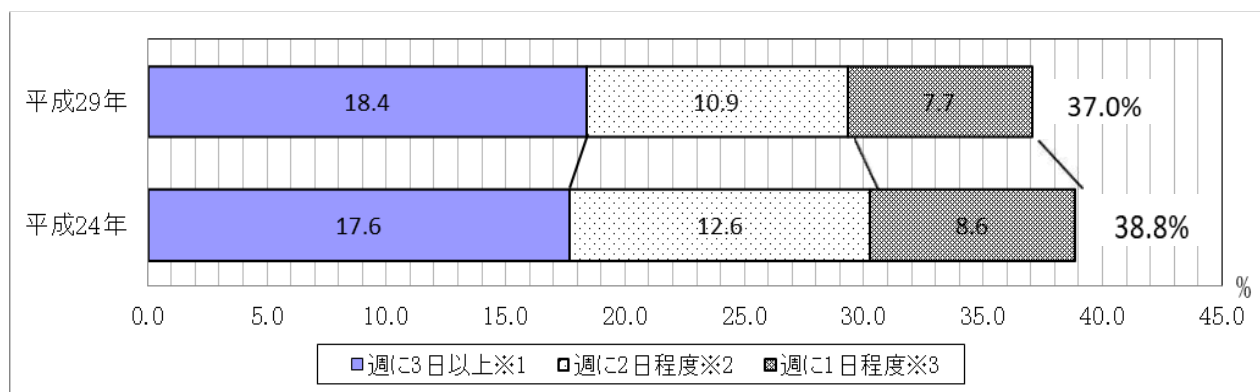
圏域別にみると、週に1日以上したと答えた人の割合は、八重山圏域で最も高く、北部圏域とともに40%以上になっている。また、「週に3日以上」と答えた人の割合は、北部圏域及び中部圏域で20%を超えている。

図Ⅱ-2-4 30分以上運動した頻度・日数（スポーツや運動をしたかどうか「わからない」人は除く。）



※1：週に3日以上（年151日以上） ※2：週に2日程度（年101日～150日） ※3：週に1日程度（年51日～100日）
 ※4：月に1～3日程度（年12日～50日） ※5：3カ月に1～2日程度（年4～11日）

図Ⅱ-2-5 運動・スポーツの実施率（週に1日以上、30分以上運動した人の割合）



※1：週に3日以上（年151日以上） ※2：週に2日程度（年101日～150日） ※3：週に1日程度（年51日～100日）

表Ⅱ－２－６ 30分以上運動した頻度・日数（スポーツや運動をしたかどうか「わからない」人は除く。）

(単数回答 単位:%)

項目 (回答者数)		運動やスポーツをした							わからない (無回答も 含む)	運動やス ポーツはし なかつた
		週に3日以上※1 【A】	週に2日程度※2 【B】	週に1日程度※3 【C】	週に1日以上(計) 【A+B+C】	月に1~3日程度※4	3カ月に1~2日程度※5	年に1~3日程度		
総数	(1,828人)	18.4	10.9	7.7	37.0	8.8	4.8	2.4	2.6	44.3
【性別】										
男性	(767人)	24.5	12.3	7.7	44.5	8.8	5.0	3.0	2.5	36.2
女性	(1,061人)	14.0	10.0	7.8	31.8	8.9	4.7	2.0	2.7	50.0
【年齢別】										
20代	(125人)	9.0	7.4	10.1	26.5	14.4	12.2	4.2	1.5	41.2
30代	(230人)	8.3	7.6	7.5	23.3	13.2	10.7	4.0	2.9	45.9
40代	(382人)	12.0	10.8	10.0	32.8	9.7	6.5	2.4	2.1	46.6
50代	(305人)	14.0	10.2	7.6	31.8	10.4	3.1	3.0	0.9	50.8
60代	(441人)	26.2	16.5	5.6	48.2	5.9	2.0	1.6	2.7	39.6
70代以上	(345人)	30.7	9.1	7.0	46.9	4.7	0.7	1.1	4.8	41.8
【圏域別】										
北部圏域	(345人)	20.6	12.2	7.2	40.0	8.4	4.1	3.2	5.2	69.3
中部圏域	(491人)	20.2	10.6	5.1	35.8	7.9	5.3	2.4	3.0	45.4
南部圏域	(461人)	16.1	10.8	10.2	37.1	9.8	4.3	2.2	1.5	45.1
宮古圏域	(237人)	19.8	12.7	7.2	39.7	6.8	5.9	2.1	2.1	43.5
八重山圏域	(290人)	16.9	12.8	13.8	43.4	12.4	3.8	2.8	3.4	34.1

※1：週に3日以上（年151日以上） ※2：週に2日程度（年101日～150日） ※3：週に1日程度（年51日～100日）

※4：月に1～3日程度（年12日～50日） ※5：3カ月に1～2日程度（年4～11日）

(4) 運動やスポーツをした理由

この1年間に運動やスポーツをしたと答えた人にその理由を尋ねたところ、「健康・体力づくりのため」と答えた人の割合が70.7%と最も高く、次いで「楽しみ、気晴らしとして」(44.3%)、「運動不足を感じるから」(41.8%)、「友人・仲間との交流として」(28.8%)、「美容や肥満解消のため」(23.0%)の順となっている。

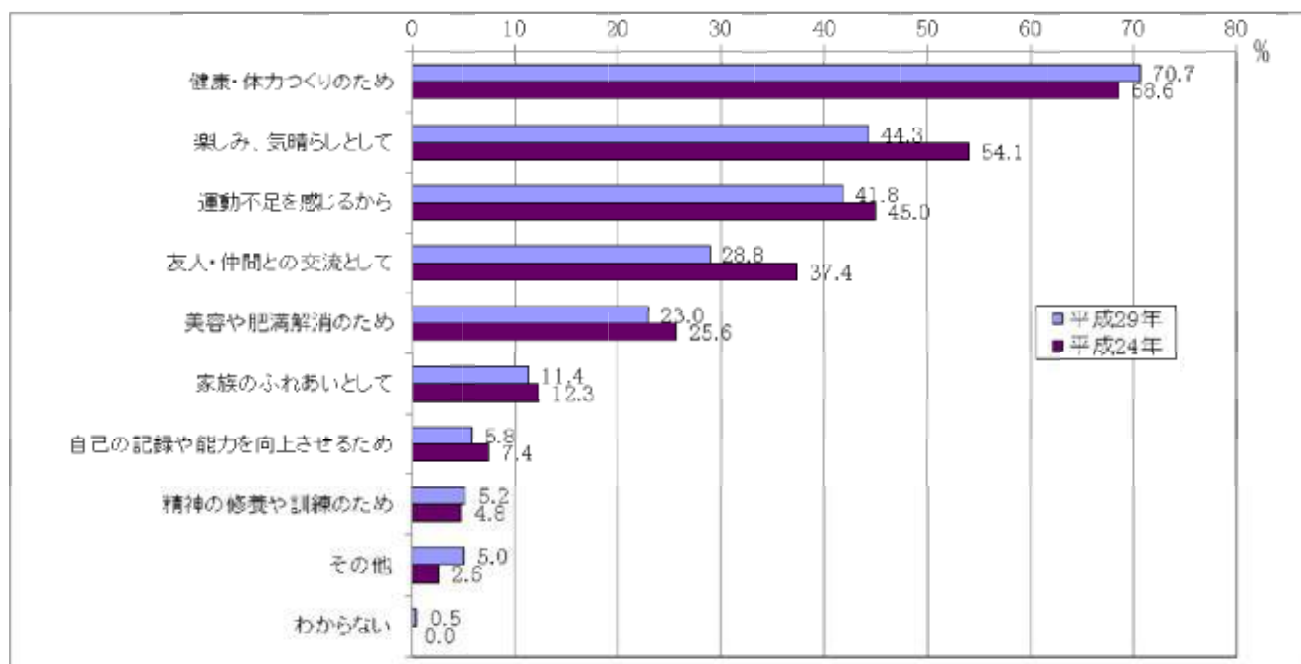
平成24年調査の結果と比較すると、理由の全体的な傾向は同じであるが、「楽しみ、気晴らしとして」や「友人・仲間との交流として」と答えた人の割合がそれぞれ9.8ポイント、8.6ポイント低くなっている。

運動やスポーツをした理由を性別にみると、男性では「楽しみ、気晴らしとして」、「友人・仲間との交流として」等の割合が、女性では「運動不足を感じるから」、「美容や肥満解消のため」等の割合が、それぞれ異性に比べ高くなっている。

年齢別にみると、「健康・体力づくりのため」と答えた人の割合は、年齢が上がるにつれて増加する傾向が見られ、60代以上では80%近くに達している。一方、「楽しみ、気晴らしとして」と答えた人の割合は年齢が下がるにつれて増加するという傾向が見られ、特に20代は71.1%で最も高くなっている。また、「運動不足を感じるから」は40代以外で40%を超えており、40代も39.6%であることから、全ての年齢階層で高い値を示している。

圏域別にみると、北部圏域では「健康・体力づくりのため」、「運動不足を感じるから」において、八重山圏域では「楽しみ、気晴らしとして」、「友人・仲間との交流として」、「家族のふれあいとして」等において、それぞれ最も高くなっている。

図Ⅱ-2-6 運動やスポーツをした理由



表Ⅱ－２－７ 運動やスポーツをした理由

(複数回答【3つまで】 単位：%)

項目 (有効回答者数)		健康・体力つくりのため	楽しみ、気晴らしとして	運動不足を感じるから	精神の修養や訓練のため	自己の記録や能力を向上※ 1
総数	(1,009人)	70.7	44.3	41.8	5.2	5.8
【性別】						
男性	(484人)	69.0	47.7	36.5	7.6	8.2
女性	(524人)	72.1	41.3	46.6	2.9	3.6
【年齢別】						
20代	(73人)	56.9	71.7	40.8	9.0	8.1
30代	(122人)	51.8	45.6	41.2	4.1	5.8
40代	(202人)	68.5	47.4	39.6	3.1	6.2
50代	(150人)	71.7	46.1	48.1	6.0	8.7
60代	(266人)	79.5	41.2	40.3	7.6	5.2
70代以上	(195人)	78.8	31.6	42.1	2.8	2.8
【圏域別】						
北部圏域	(192人)	73.3	43.6	44.6	5.0	5.0
中部圏域	(253人)	71.8	44.0	39.1	6.0	5.6
南部圏域	(239人)	70.6	44.4	44.4	4.4	5.6
宮古圏域	(134人)	60.4	39.6	37.3	4.5	8.2
八重山圏域	(191人)	61.8	52.4	40.8	4.7	8.4
項目 (有効回答者数)		家族のふれあいとして	友人・仲間との交流として	美容や肥満解消のため	その他	わからない
総数	(1,009人)	11.4	28.8	23.0	5.0	0.5
【性別】						
男性	(484人)	8.8	31.0	12.0	4.9	0.7
女性	(525人)	13.6	26.9	32.7	5.2	0.2
【年齢別】						
20代	(73人)	11.6	48.3	15.0	2.6	0.0
30代	(122人)	23.4	24.7	26.4	8.5	0.0
40代	(203人)	16.7	17.0	32.6	6.7	0.8
50代	(150人)	10.4	23.2	22.9	3.2	0.3
60代	(266人)	4.4	30.4	23.4	4.2	0.6
70代以上	(195人)	7.3	38.2	13.6	4.5	0.6
【圏域別】						
北部圏域	(192人)	7.4	28.7	20.3	2.5	2.5
中部圏域	(253人)	12.0	25.9	25.2	6.0	0.4
南部圏域	(239人)	11.5	31.0	21.4	4.8	0.0
宮古圏域	(134人)	7.5	32.8	23.1	5.2	0.7
八重山圏域	(191人)	13.1	36.1	19.9	2.6	1.6

※1：自己の記録や能力を向上させるため

(5) 運動やスポーツをしなかった理由

一方、この1年間に「運動やスポーツをしなかった」、「わからない」と答えた人にその理由を尋ねたところ、「時間がないから」と答えた人の割合が61.3%と最も高く、次いで「機会がなかったから」(39.3%)、「金がかかるから」(18.0%)、「運動・スポーツは嫌いだから」(16.8%)、「仲間がいないから」(16.7%)の順となっている。

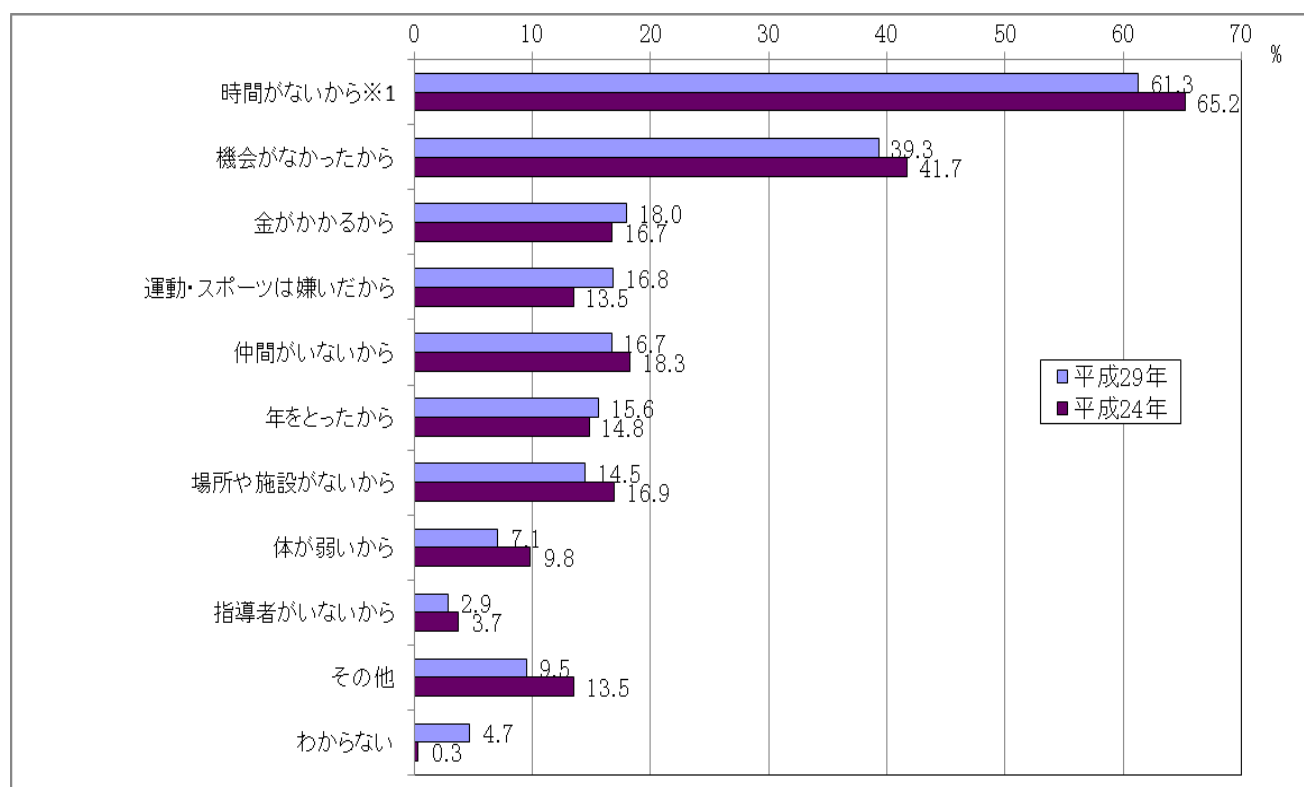
平成24年調査の結果と比較すると、今回の調査結果との間には大きな変化は見られないが、「金がかかるから」、「運動・スポーツは嫌いだから」、「年をとったから」が上回り、反対に「時間がないから」、「場所や施設がないから」等が下回っている。

運動やスポーツをしなかった理由を性別にみると、男性では「年をとったから」、「仲間がいないから」等と答えた人の割合が、女性では「金がかかるから」、「運動・スポーツは嫌いだから」等の割合が、それぞれ異性に比べ高くなっている。

年齢別にみると、20代では「仲間がいないから」、「場所や施設がないから」、30代では「時間がないから」、「金がかかるから」等、40代では「運動・スポーツは嫌いだから」、60代では「機会がなかったから」、70代以上では「年をとったから」、「体が弱いから」と答えた人の割合がそれぞれ他の年代に比べ最も高くなっている。

圏域別にみると、北部圏域では「時間がないから」、中部圏域では「機会がなかったから」、「金がかかるから」、「仲間がいないから」、宮古圏域では「年をとったから」、「場所や施設がないから」等の割合がそれぞれ他の圏域に比べ最も高くなっている。

図Ⅱ－２－７ 運動やスポーツをしなかった理由



※1：時間がないから（仕事、家事・育児などで忙しいから）

表Ⅱ－２－８ 運動やスポーツをしなかった理由

(複数回答【3つまで】 単位：%)

項目 (有効回答者数)		時間がないから※1	体が弱いから	年をとったから	場所や施設がないから	仲間がいないから	指導者がいないから
総数	(830人)	61.3	7.1	15.6	14.5	16.7	2.9
【性別】							
男性	(285人)	58.7	7.4	19.0	15.0	20.3	3.0
女性	(545人)	62.6	6.9	13.9	14.2	14.9	2.8
【年齢別】							
20代	(55人)	58.5	0.4	0.4	27.3	33.5	2.7
30代	(110人)	81.6	3.4	1.5	12.5	18.4	3.0
40代	(184人)	77.7	1.5	7.4	11.9	10.9	2.3
50代	(154人)	63.3	8.6	15.3	16.5	22.8	1.5
60代	(177人)	60.1	11.4	18.5	20.2	12.9	5.3
70代以上	(150人)	26.5	13.2	39.1	5.9	13.6	2.3
【圏域別】							
北部圏域	(147人)	67.2	6.6	19.1	14.5	10.8	3.3
中部圏域	(244人)	58.9	7.0	17.0	14.8	21.0	1.7
南部圏域	(227人)	63.2	7.1	12.7	14.2	13.2	3.8
宮古圏域	(108人)	57.4	8.3	28.7	16.7	14.8	3.7
八重山圏域	(104人)	60.6	6.7	12.5	10.6	15.4	4.8
項目 (有効回答者数)		金がかかるから	運動・スポーツは嫌いだから	機会がなかったから	その他	わからない	
総数	(830人)	18.0	16.8	39.3	9.5	4.7	
【性別】							
男性	(285人)	10.5	12.9	36.1	8.1	4.8	
女性	(545人)	21.8	18.8	40.9	10.2	4.6	
【年齢別】							
20代	(55人)	23.8	17.3	41.2	11.2	2.7	
30代	(110人)	26.7	19.3	33.1	14.2	0.8	
40代	(184人)	17.0	23.7	43.8	8.7	1.1	
50代	(154人)	22.2	13.6	41.2	6.5	5.0	
60代	(177人)	17.4	12.4	43.9	8.1	3.8	
70代以上	(150人)	7.0	14.1	30.6	10.8	13.2	
【圏域別】							
北部圏域	(147人)	14.5	15.4	32.8	10.8	4.1	
中部圏域	(244人)	20.5	15.3	41.5	7.9	4.8	
南部圏域	(227人)	17.0	18.9	38.7	10.8	4.7	
宮古圏域	(108人)	9.3	16.7	33.3	8.3	3.7	
八重山圏域	(104人)	10.6	15.4	35.6	13.5	4.8	

※1：時間がないから（仕事、家事・育児などで忙しいから）

3. スポーツ教室、スポーツイベントへの参加状況及び情報の入手方法について

(1) スポーツ教室への参加状況

県や市町村等が開催するスポーツ教室に参加したことがあるかを尋ねたところ、「健康や体力づくりのためのスポーツ教室に参加した」と答えた人の割合が5.5%と最も高く、次いで「家族や仲間と運動やスポーツを楽しむための教室に参加した」(3.7%)、「スポーツ知識や技能を高めるための教室に参加した」(2.0%)の順となっている。一方、「参加しなかった」と答えた人の割合は89.8%となっている。

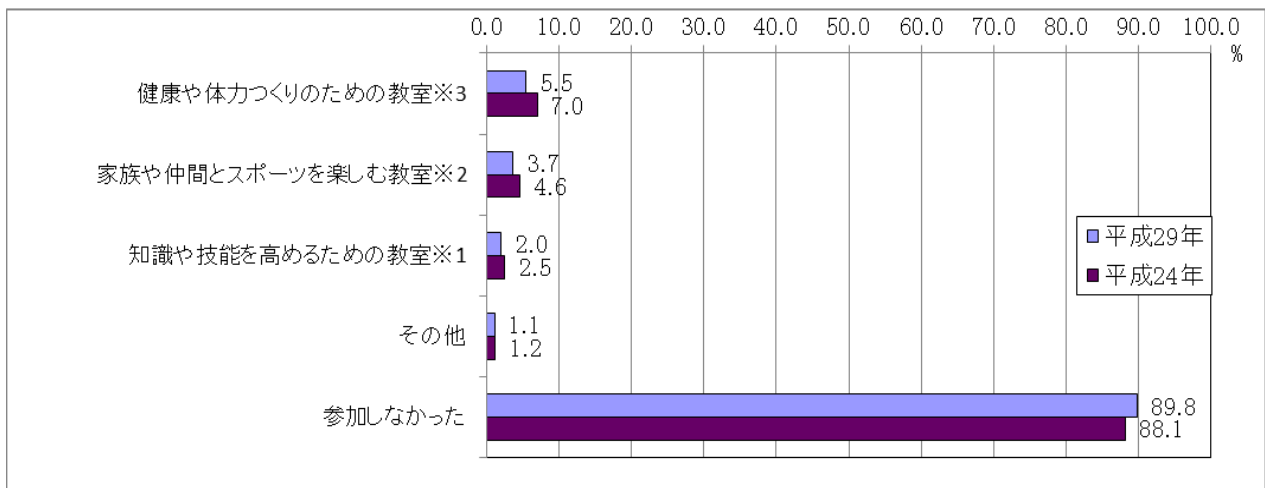
平成24年調査の結果と比較すると、いずれの教室も参加率が低下している。

各教室の参加状況を性別にみると、男性は「スポーツ知識や技能を高めるための教室に参加した」において、女性は「健康や体力づくりのためのスポーツ教室に参加した」及び「家族や仲間と運動やスポーツを楽しむための教室に参加した」において、それぞれ異性に比べ高くなっている。

年齢別にみると、「健康や体力づくりのためのスポーツ教室に参加した」と答えた人の割合は、年齢が上がるにつれて高くなる傾向にあり、特に60代、70代以上にその傾向が見られる。

圏域別にみると、北部圏域では「健康や体力づくりのためのスポーツ教室に参加した」及び「家族や仲間と運動やスポーツを楽しむための教室に参加した」の割合が、宮古圏域では「スポーツ知識や技能を高めるための教室に参加した」の割合がそれぞれ他の圏域に比べ最も高くなっている。

図Ⅱ-3-1 スポーツ教室への参加状況



※1：スポーツ知識や技能を高めるための教室に参加した

※2：家族や仲間と運動やスポーツを楽しむための教室に参加した

※3：健康や体力づくりのためのスポーツ教室に参加した

表Ⅱ－３－１ スポーツ教室への参加状況

(複数回答【すべて】 単位:%)

項目 (有効回答者数)	知識や技能を高めるための教室※1	家族や仲間とスポーツを楽しむ教室※2	健康や体力つくりのための教室※3	その他	参加しなかった
総 数 (1,823人)	2.0	3.7	5.5	1.1	89.8
【 性 別 】					
男 性 (762人)	2.4	2.9	3.6	1.9	91.1
女 性 (1,062人)	1.7	4.3	6.8	0.7	88.9
【 年 齢 別 】					
20 代 (124人)	0.5	3.9	1.5	0.0	95.9
30 代 (230人)	0.4	1.8	5.0	1.7	91.1
40 代 (388人)	2.2	2.5	1.6	0.6	94.1
50 代 (303人)	1.6	2.8	2.7	0.2	93.6
60 代 (437人)	2.5	5.7	7.4	1.5	86.9
70 代 以上 (341人)	3.2	4.9	12.3	2.3	81.4
【 圏 域 別 】					
北 部 圏 域 (346人)	2.0	5.8	6.6	1.7	87.3
中 部 圏 域 (490人)	2.2	2.7	4.5	1.0	91.2
南 部 圏 域 (459人)	1.7	4.6	6.5	1.1	88.7
宮 古 圏 域 (241人)	2.5	2.5	5.0	2.1	88.8
八 重 山 圏 域 (292人)	2.1	3.8	5.5	1.4	89.4

※1：スポーツ知識や技能を高めるための教室に参加した

※2：家族や仲間と運動やスポーツを楽しむための教室に参加した

※3：健康や体力つくりのためのスポーツ教室に参加した

(2) スポーツ行事への参加状況

この1年間に県や市町村または町内会などが主催するスポーツ行事に参加したことがあるかを尋ねたところ、「競技者として参加した」と答えた人の割合が8.9%と最も高く、次いで「応援者・観戦客として参加した」(6.9%)、「ボランティアとして参加した」(2.1%)、「大会役員など運営者として参加した」(2.0%)の順となっている。一方、「参加しなかった」と答えた人の割合は83%となっている。

平成24年調査の結果と比較すると、いずれの参加形態においても低下が見られ、「参加しなかった」については6.5ポイント増加している。

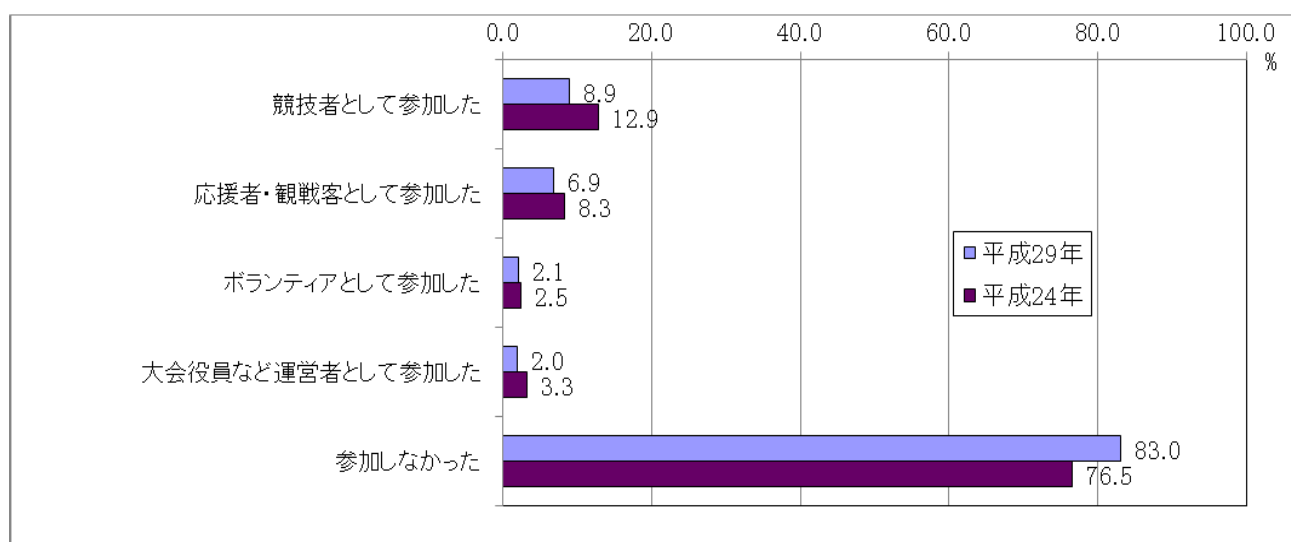
スポーツ行事への参加状況を性別にみると、男性では「競技者として参加した」及び「大会役員など運営者として参加した」において、女性では「応援者・観戦客として参加した」及び「ボランティアとして参加した」において、それぞれ異性に比べ高くなっている。

年齢別にみると、20代では「競技者として参加した」及び「大会役員など運営者として参加した」、60代では「応援者・観戦客として参加した」、70代以上では「ボランティアとして参加した」と答えた人の割合がそれぞれ他の年代に比べ高くなっている。

圏域別にみると、八重山圏域では「石垣マラソン」等に「競技者として参加した」人が、宮古圏域では「宮古島トライアスロン」等に「ボランティアとして参加した」人が、北部圏域では「区民運動会」や「陸上競技大会」等に「応援者・観戦客として参加した」と答えた人の割合がそれぞれ他の圏域に比べ最も高くなっている。(※)

※ 参加したスポーツ行事の一覧は、資料1 (P49～54) に記載。

図Ⅱ-3-2 スポーツ行事への参加状況



表Ⅱ－３－２ スポーツ行事への参加状況

(複数回答【すべて】 単位:%)

項目 (有効回答者数)		競技者として 参加した	大会役員など 運営者として 参加した	ボランティアと して参加した	応援者・観戦 客として参加し た	参加しなかつ た
総 数	(1,823人)	8.9	2.0	2.1	6.9	83.0
【 性 別 】						
男 性	(762人)	11.1	3.2	1.5	4.9	78.6
女 性	(1,062人)	7.4	1.1	2.5	8.2	86.0
【 年 齢 別 】						
20 代	(124人)	13.5	3.1	0.3	6.5	81.7
30 代	(230人)	9.4	2.5	0.4	5.0	83.8
40 代	(388人)	7.2	2.6	2.2	6.8	83.7
50 代	(303人)	8.8	1.0	2.4	5.1	86.5
60 代	(437人)	9.9	1.8	2.6	10.0	79.5
70 代 以 上	(341人)	7.9	1.4	3.1	6.4	83.0
【 圏 域 別 】						
北 部 圏 域	(346人)	13.0	4.0	2.0	13.6	72.0
中 部 圏 域	(490人)	6.3	1.6	2.4	6.9	85.7
南 部 圏 域	(459人)	9.8	1.5	1.1	5.0	84.3
宮 古 圏 域	(241人)	13.3	4.1	8.3	12.0	71.4
八 重 山 圏 域	(292人)	17.5	4.5	5.1	8.9	68.2

(3) 運動やスポーツに関する情報の入手方法

運動やスポーツに関する情報はどこから得ているかを尋ねたところ、「市町村の広報誌」と答えた人の割合が41.6%と最も高く、次いで「テレビ・ラジオ」(34.2%)、「新聞・雑誌」(34.0%)、「知人や近所の友人」(25.5%)、「ポスター、チラシ」(19.0%)、「インターネット」(18.6%)の順となっている。

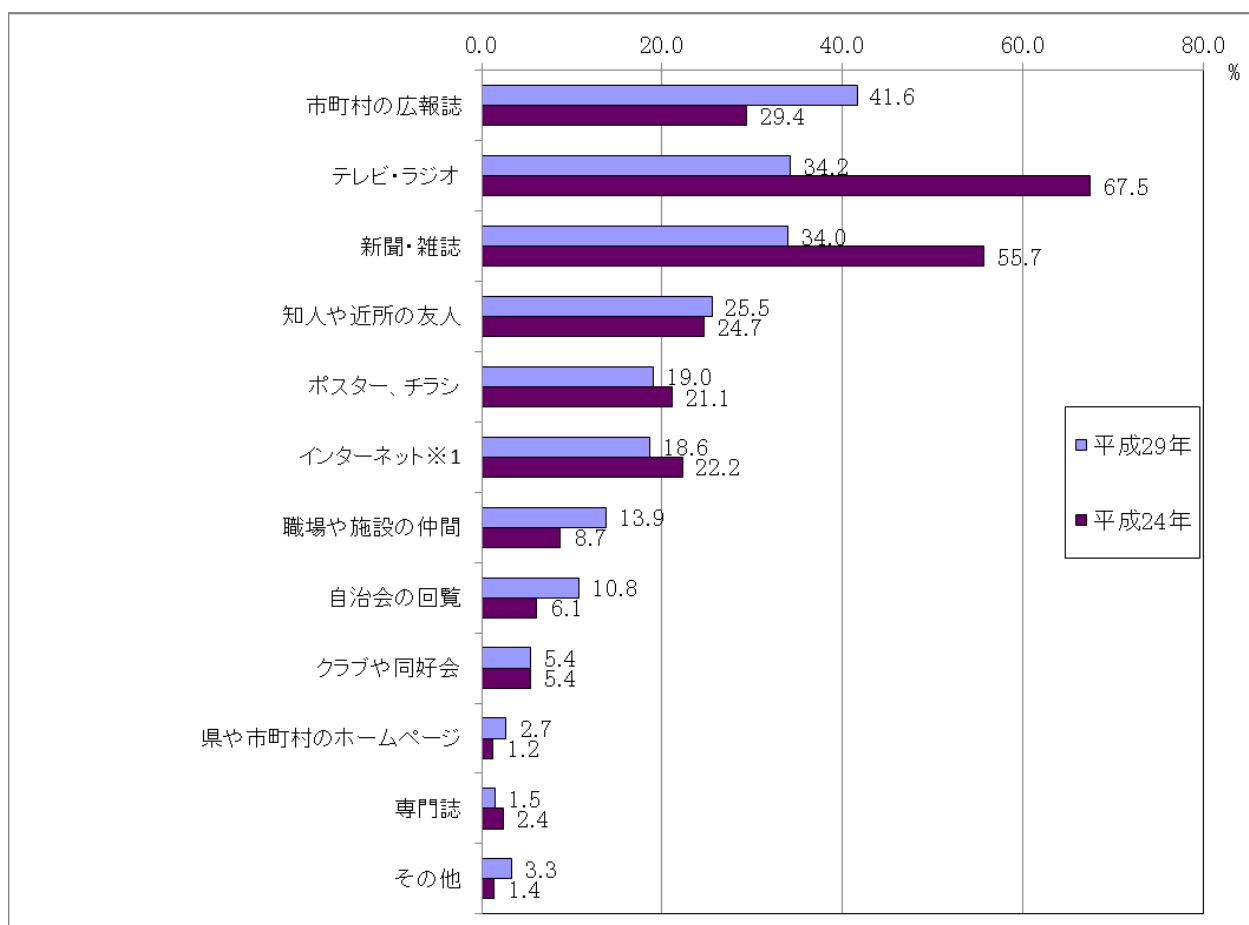
平成24年調査の結果と比較すると、「市町村の広報誌」が12.2ポイント増加し、反対に「テレビ・ラジオ」が33.3ポイント、「新聞・雑誌」が21.7ポイント減少するという大きな変化が見られる。

情報の入手方法について性別にみると、男性では「新聞・雑誌」、「インターネット」等において、女性では「市町村の広報誌」、「ポスター、チラシ」、「知人や近所の友人」等において、それぞれ異性に比べ高くなっている。

年齢別にみると、「自治会の回覧」と答えた人の割合は年齢が上がるにつれて高くなり、反対に「インターネット」や「職場や施設の仲間」と答えた人の割合は年齢が下がるにつれて高くなっているなど、年代によって情報の入手方法が異なる状況が見られる。

圏域別にみると、北部圏域、中部圏域では「市町村の広報誌」及び「自治会の回覧」がそれぞれ40%、10%を超えており、南部圏域では「テレビ・ラジオ」及び「インターネット」がそれぞれ30%、20%を超えて最高となっている。また、宮古圏域では「知人や近所の友人」が、八重山圏域では「ポスター、チラシ」がそれぞれ30%、20%を超えて最高となっており、両離島圏域では「新聞・雑誌」と答えた人の割合が他圏域に比べ高く、50%を超えている。

図Ⅱ-3-3 運動やスポーツに関する情報の収集方法



※1：インターネット（県・市町村のホームページ除く）

表Ⅱ－３－３ 運動やスポーツに関する情報の収集方法

(複数回答【3つまで】 単位：%)

項目 (有効回答者数)		市町村の 広報誌	県や市町村の ホームページ	自治会の 回覧	ポスター、 チラシ	知人や 近所の友人	クラブや 同好会
総 数	(1,823人)	41.6	2.7	10.8	19.0	25.5	5.4
【 性 別 】							
男 性	(762人)	32.1	2.3	10.0	13.7	21.0	7.1
女 性	(1,062人)	48.2	3.0	11.4	22.7	28.7	4.2
【 年 齢 別 】							
20 代	(124人)	16.7	0.2	1.7	17.1	36.0	3.8
30 代	(230人)	37.2	2.9	4.3	28.3	26.7	3.9
40 代	(388人)	32.7	4.4	4.7	20.8	29.7	2.6
50 代	(303人)	40.5	4.9	8.5	20.4	19.4	5.5
60 代	(437人)	48.7	1.9	12.3	19.6	23.6	7.9
70 代 以上	(341人)	57.5	0.5	26.0	9.8	23.5	7.3
【 圏 域 別 】							
北 部 圏 域	(346人)	43.4	4.3	10.7	19.1	24.9	6.6
中 部 圏 域	(490人)	45.5	2.4	16.3	18.6	24.9	4.9
南 部 圏 域	(459人)	37.7	2.6	5.7	19.2	25.7	5.7
宮 古 圏 域	(241人)	39.0	2.9	5.4	16.6	32.4	4.6
八 重 山 圏 域	(292人)	36.6	2.7	7.2	26.4	25.0	7.9
項目 (有効回答者数)		職場や 施設の仲間	新聞・雑誌	専門誌	テレビ・ ラジオ	インターネット ※1	その他
総 数	(1,823人)	13.9	34.0	1.5	34.2	18.6	3.3
【 性 別 】							
男 性	(762人)	14.8	37.6	2.2	34.8	23.6	3.1
女 性	(1,062人)	13.2	26.0	1.0	33.7	15.2	3.5
【 年 齢 別 】							
20 代	(124人)	22.0	13.5	1.7	34.5	47.1	2.6
30 代	(230人)	22.0	24.6	2.4	31.3	38.9	0.9
40 代	(388人)	20.8	33.1	2.5	34.9	21.7	4.9
50 代	(303人)	16.0	41.7	1.2	39.7	19.6	2.4
60 代	(437人)	7.6	38.7	1.0	35.2	7.6	3.6
70 代 以上	(341人)	2.5	37.0	0.5	29.2	2.1	3.9
【 圏 域 別 】							
北 部 圏 域	(346人)	13.3	25.7	1.4	32.7	15.0	2.9
中 部 圏 域	(490人)	13.7	31.0	1.4	33.3	18.2	3.3
南 部 圏 域	(459人)	13.9	35.3	1.5	36.8	20.9	3.5
宮 古 圏 域	(241人)	14.1	56.4	1.2	28.6	10.8	2.5
八 重 山 圏 域	(292人)	15.4	52.1	1.7	24.0	13.7	3.8

※1：インターネット（県・市町村のホームページ除く）

4. スポーツクラブ等への入会状況について

(1) クラブや同好会への加入状況

運動やスポーツのクラブや同好会への加入状況を尋ねたところ「加入している」と答えた人の割合が16.7%となっており、平成24年調査の結果(18.0%)と比較すると「加入している」と答えた人の割合は1.3ポイント低くなっている。

クラブや同好会への加入状況を性別にみると、「加入している」と答えた人の割合は、男性の方が1.3ポイント高くなっている。

年齢別にみると、20代及び50代以上では「加入している」と答えた人の割合が平均値を超えているが、40代は平均値から5.6ポイント低くなっている。

圏域別にみると、南部圏域及び八重山圏域では「加入している」と答えた人の割合が平均値を超えているが、北部圏域、中部圏域及び宮古圏域は平均値より低くなっている。

図Ⅱ-4-1 クラブや同好会への加入状況



表Ⅱ-4-1 クラブや同好会への加入状況

(単数回答 単位:%)

項目 (有効回答者数)		加入している	加入していない
総数	(1,823人)	16.7	83.3
【性別】			
男性	(761人)	17.5	82.5
女性	(1,062人)	16.2	83.8
【年齢別】			
20代	(124人)	16.9	83.1
30代	(230人)	15.0	85.0
40代	(389人)	11.1	88.9
50代	(304人)	18.9	81.1
60代	(436人)	19.7	80.3
70代以上	(341人)	18.8	81.2
【圏域別】			
北部圏域	(346人)	14.0	86.0
中部圏域	(490人)	14.9	85.1
南部圏域	(459人)	19.2	80.8
宮古圏域	(241人)	14.9	85.1
八重山圏域	(292人)	17.8	82.2

(2) 加入しているクラブや同好会の形態

運動やスポーツのクラブや同好会に加入していると答えた人に、どのようなクラブや同好会かを尋ねたところ、「民間スポーツ施設などの会員制のクラブ」と答えた人の割合が46.0%で最も高く、次いで「おおむね市町村内の人を対象とした地域クラブや同好会」(24.7%)、「おおむね同じ県内の人加入している地域クラブや同好会」(18.5%)などの順となっている。

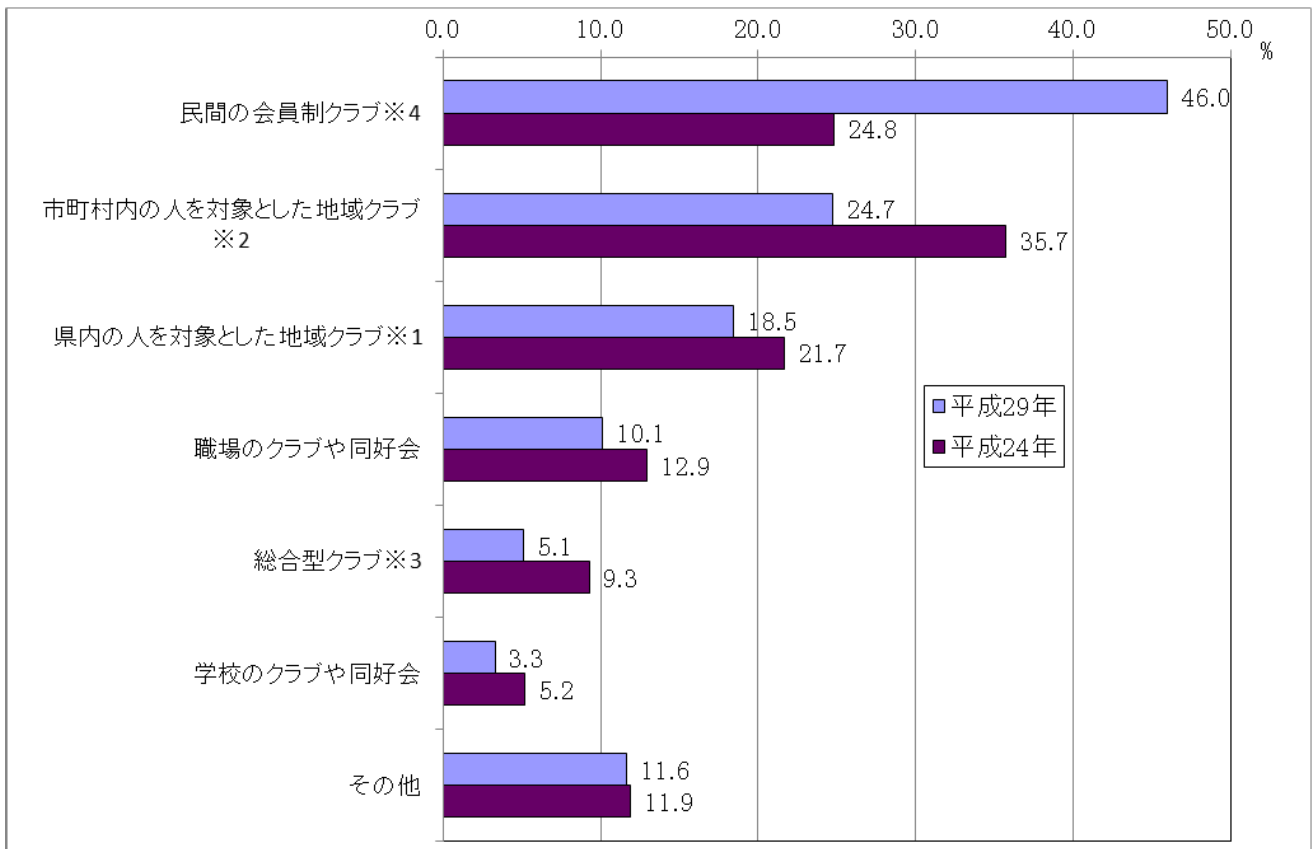
平成24年調査の結果と比較すると、「民間スポーツ施設などの会員制のクラブ」が21.2ポイント増加し、反対に「おおむね市町村内の人を対象とした地域クラブや同好会」が11ポイント減少するという大きな変化が見られる。

加入しているクラブや同好会の形態を性別にみると、男性では「おおむね同じ県内の人加入している地域クラブや同好会」、「職場のクラブや同好会」等において、女性では「民間スポーツ施設などの会員制のクラブ」等において、それぞれ異性に比べ高くなっている。

年齢別にみると、20代では「学校のクラブや同好会」及び「総合型クラブ」、30代では「おおむね同じ県内の人加入している地域クラブや同好会」、40代では「民間スポーツ施設などの会員制のクラブ」及び「職場のクラブや同好会」、60代以上では「おおむね市町村内の人加入している地域クラブや同好会」と答えた人の割合がそれぞれ他の年代に比べ最も高くなっている。

圏域別にみると、北部圏域では「おおむね市町村内の人加入している地域クラブや同好会」及び「総合型クラブ」、中部圏域では「おおむね同じ県内の人加入している地域クラブや同好会」、南部圏域では「民間スポーツ施設などの会員制のクラブ」、宮古圏域では「職場のクラブや同好会」及び「学校のクラブや同好会」と答えた人の割合がそれぞれ他圏域に比べ最も高くなっている。

図Ⅱ-4-2 加入しているクラブや同好会の形態



※1：おおむね同じ県内の人加入している地域クラブや同好会

※2：おおむね市町村内の人加入している地域クラブや同好会

※3：多世代・多種目・多志向型の総合型地域スポーツクラブ

※4：民間スポーツ施設などの会員制のクラブ

表Ⅱ-4-2 加入しているクラブや同好会の形態

(複数回答【すべて】 単位:%)

項目 (有効回答者数)	職場のクラブ や同好会	学校のクラブ や同好会	県内の人を対 象とした地域 クラブ※1	市町村内の人 を対象とした 地域クラブ※2	総合型クラブ ※3	民間の会員 制クラブ※4	その他	わからない
総 数 (300人)	10.1	3.3	18.5	24.7	5.1	46.0	11.6	3.4
【 性 別 】								
男 性 (132人)	16.7	4.5	26.2	17.8	3.1	36.9	16.9	1.3
女 性 (168人)	5.1	2.3	12.6	29.9	6.6	52.8	7.7	4.9
【 年 齢 別 】								
20 代 (21人)	15.2	31.3	9.1	11.1	7.1	35.4	7.1	7.1
30 代 (34人)	14.8	0.0	29.5	14.1	6.7	37.6	3.4	0.0
40 代 (43人)	19.9	0.5	19.4	5.8	4.7	65.4	1.0	3.7
50 代 (56人)	10.4	0.8	15.4	18.3	5.8	51.0	14.9	2.9
60 代 (84人)	5.9	0.3	25.3	28.4	2.8	46.9	9.9	2.5
70 代 以上 (62人)	3.6	2.5	9.8	49.8	5.8	35.3	24.4	5.1
【 圏 域 別 】								
北 部 圏 域 (48人)	3.5	4.7	17.7	50.7	9.4	24.8	9.4	0.0
中 部 圏 域 (73人)	5.5	2.7	19.2	23.3	2.7	43.8	16.4	6.8
南 部 圏 域 (85人)	14.1	3.5	18.8	20.0	7.1	52.9	8.2	1.2
宮 古 圏 域 (36人)	25.0	5.6	13.9	30.6	2.8	36.1	5.6	0.0
八 重 山 圏 域 (52人)	9.6	1.9	11.5	46.2	0.0	28.8	11.5	1.9

※1：おおむね同じ県内の人加入している地域クラブや同好会

※2：おおむね市町村内の人を対象とした地域クラブや同好会

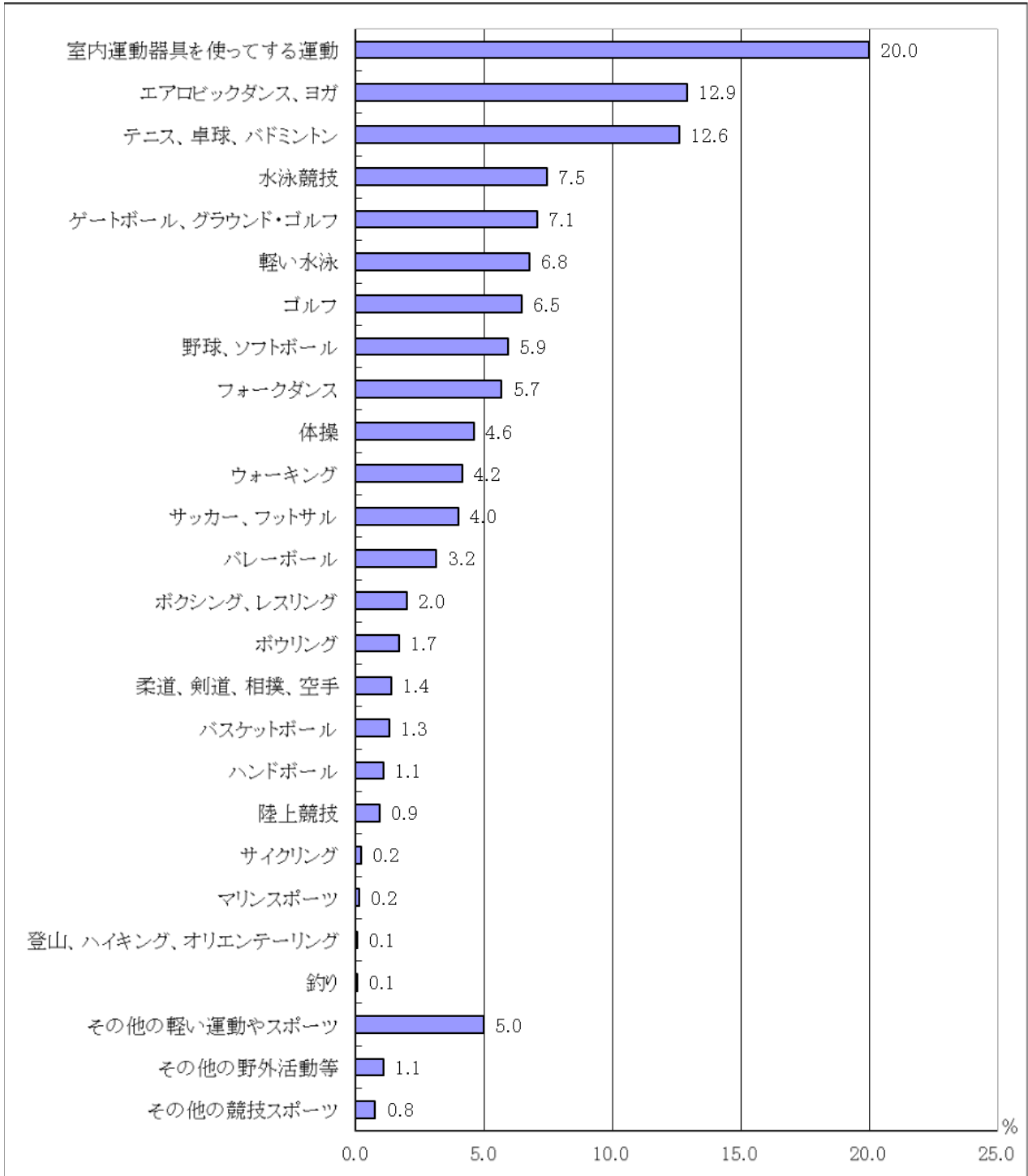
※3：多世代・多種目・多志向型の総合型地域スポーツクラブ

※4：民間スポーツ施設などの会員制のクラブ

(3) 加入しているクラブや同好会が行うスポーツ（種目）

クラブや同好会に加入していると答えた人に、クラブや同好会で行っている種目を自由記述で尋ねたところ、「室内運動器具を使ってする運動」(20.0%)が最も多く、次いで「エアロビックダンス、ヨガ」(12.9%)、「テニス、卓球、バドミントン」(12.6%)、「水泳競技」(7.5%)、「ゲートボール、グラウンド・ゴルフ」(7.1%)の順となっている。

図Ⅱ-4-3 加入しているクラブや同好会が行うスポーツ（種目）



表Ⅱ－４－３ 加入しているクラブや同好会が行うスポーツ（種目）

(複数回答、単位：%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
総数 (305人)	室内運動器具を使っ てする運動 20.0	エアロビックダンス、ヨ ガ 12.9	テニス、卓球、バドミン トン 12.6	水泳競技 7.5	ゲートボール、グラウ ンド・ゴルフ 7.1	軽い水泳 6.8	ゴルフ 6.5	野球、ソフトボール 5.9	フォークダンス 5.7	
【性別】										
男性 (133人)	テニス、卓球、バドミン トン 16.5	ゴルフ 15.1	野球、ソフトボール 13.8	ゲートボール、グラウ ンド・ゴルフ 9.7	サッカー、フットサル 9.3	室内運動器具を使っ てする運動 8.4	水泳競技 6.5			
女性 (172人)	室内運動器具を使っ てする運動 28.7	エアロビックダンス、ヨ ガ 21.7	テニス、卓球、バドミン トン 9.7	軽い水泳/フォークダンス 8.9	水泳競技 8.2	体操 7.7	ゲートボール、グラウ ンド・ゴルフ 5.1			
【年齢別】										
20代 (21人)	ボクシング、レスリング 21.2	野球、ソフトボール 14.1	サッカー、フットサル 14.1	バレーボール 11.1	エアロビックダンス、ヨガ/水泳競技/テニス、卓球、バドミントン/バスケットボール/ハンドボール 7.1					
30代 (34人)	フォークダンス 14.8	エアロビックダンス、ヨ ガ 14.1	テニス、卓球、バドミン トン 10.7	サッカー、フットサル 10.1	室内運動器具を使っ てする運動 9.4	バスケットボール 6.0	野球、ソフトボール 5.4			
40代 (43人)	テニス、卓球、バドミン トン 25.1	室内運動器具を使っ てする運動 24.6	エアロビックダンス、ヨ ガ 15.2	ゴルフ 14.7	フォークダンス/ボウリング 7.3		バレーボール 5.2			
50代 (58人)	室内運動器具を使っ てする運動 31.0	エアロビックダンス、ヨ ガ 14.5	野球、ソフトボール 12.5	軽い水泳/テニス、卓球、バドミントン 9.7		ウォーキング/フォークダンス/水泳競技 6.0				
60代 (86人)	テニス、卓球、バドミン トン 18.1	室内運動器具を使っ てする運動 17.2	エアロビックダンス、ヨ ガ 14.2	ゲートボール、グラウ ンド・ゴルフ 12.1	水泳競技 7.3	野球、ソフトボール 6.6	体操/フォークダンス 5.4			
北部圏域 (64人)	室内運動器具を使っ てする運動 23.0	ゲートボール、グラウ ンド・ゴルフ 18.1	水泳競技 15.2	軽い水泳 14.5	ゴルフ 12.8	体操 11.7	エアロビックダンス、ヨ ガ 9.9	ウォーキング 6.0		
【圏域別】										
北部圏域 (47人)	ゲートボール、グラウ ンド・ゴルフ 25.5	室内運動器具を使っ てする運動 14.9	体操/テニス、卓球、バドミントン 10.6		フォークダンス 8.5	エアロビックダンス、ヨガ/バレーボール/ゴルフ 6.4				
中部圏域 (73人)	室内運動器具を使っ てする運動 27.4	エアロビックダンス、ヨ ガ 13.7	ゴルフ 9.6	テニス、卓球、バドミン トン 9.4	野球、ソフトボール 8.2	体操/水泳競技 5.5				
南部圏域 (88人)	テニス、卓球、バドミン トン 15.9	エアロビックダンス、ヨガ/室内運動器具を 使ってする運動 14.8		水泳競技 10.2	軽い水泳 9.3	フォークダンス/サッカー、フットサル 6.8		ウォーキング/ゲートボール、グラウンド・ゴル フ 5.7		
宮古圏域 (36人)	室内運動器具を使っ てする運動 16.7	ゲートボール、グラウ ンド・ゴルフ 13.9	水泳競技 11.1	陸上競技 8.3	体操/軽い水泳/野球、ソフトボール/テニス、卓球、バドミントン/バレーボール/バスケットボール/ゴルフ 5.6					
八重山圏域 (52人)	ゲートボール、グラウ ンド・ゴルフ 23.1	室内運動器具を使っ てする運動 21.2	テニス、卓球、バドミン トン 17.3	軽い水泳/バレーボール 9.6		野球、ソフトボール 7.7	ウォーキング/フォークダンス 5.8			

注1) 表側の括弧内の人数は、有効回答者数。順位欄のスポーツ種目別の数値は実施率（実施者数/有効回答者数）

注2) 行っているスポーツ（種目）は、実施率が第10位内かつ5%以上のものを記載している。注3) 実施率が同率のスポーツ（種目）については同じ枠内に記載し、スラッシュ（/）で区切っている。

(4) 運動やスポーツのクラブや同好会に加入した動機や目的

運動やスポーツのクラブや同好会に加入していると答えた人に、加入した動機や目的を尋ねたところ、「健康・体力づくりのため」と答えた人の割合が74.3%と最も高く、次いで「継続してできるから」(44.2%)、「指導者がいるから」(34.9%)、「親睦のため(仲間ができるから)」(33.8%)、「好きなスポーツ活動ができるから」(29.5%)の順となっている。

平成24年調査の結果と比較すると、「健康・体力づくりのため」、「指導者がいるから」がそれぞれ10.1ポイント、11.7ポイント増加しており、反対に「好きなスポーツ活動ができるから」、「親睦のため」と答えた人の割合は、それぞれ15.5ポイント、9.8ポイント減少している。

運動やスポーツのクラブや同好会に加入した動機や目的を性別にみると、男性では「好きなスポーツ活動ができるから」、「親睦のため」等において、女性では「健康・体力づくりのため」、「指導者がいるから」、「施設用具などが完備しているから」等において、それぞれ異性に比べ高くなっている。

年齢別にみると、「好きなスポーツ活動ができるから」、「家族や友人などに誘われたから」と答えた人の割合は、年齢が下がるにつれて高くなっている。また、40代では「施設用具が完備しているから」、70代以上では「健康・体力づくりのため」、「親睦のため」と答えた人の割合がそれぞれ他の年代に比べ最も高くなっている。

圏域別にみると、中部圏域では「健康・体力づくりのため」、「継続してできるから」、「指導者がいるから」、「家族や友人などに誘われたから」及び「技術を習得できるから」、八重山圏域では「親睦のため」、「好きなスポーツ活動ができるから」等と答えた人の割合がそれぞれ他圏域に比べ最も高くなっている。

図Ⅱ-4-4 運動やスポーツのクラブや同好会に加入した動機や目的



※1：親睦のため(仲間ができるから)

表Ⅱ-4-4 スポーツのクラブや同好会に加入した動機や目的

(複数回答【3つまで】 単位:%)

項目 (有効回答者数)		継続してできるから	場所が優先的に利用できるから	施設用具などが完備しているから	指導者がいるから	親睦のため※1	健康・体力つくりのため
総数	(278人)	44.2	7.3	19.5	34.9	33.8	74.3
【性別】							
男性	(123人)	42.5	4.9	14.8	15.5	46.8	69.1
女性	(155人)	45.5	9.3	23.1	49.7	23.7	78.2
【年齢別】							
20代	(18人)	29.8	8.3	26.2	8.3	38.1	70.2
30代	(31人)	55.2	0.7	5.2	44.8	21.6	59.7
40代	(41人)	34.4	11.5	30.1	29.0	21.9	66.1
50代	(56人)	45.2	0.4	23.7	16.2	23.7	72.2
60代	(79人)	40.7	12.8	15.4	43.9	39.0	78.4
70代以上	(55人)	53.1	7.4	17.7	49.4	50.6	85.2
【圏域別】							
北部圏域	(53人)	50.9	7.5	5.7	26.4	43.4	60.4
中部圏域	(62人)	56.5	6.5	19.4	43.5	30.6	83.9
南部圏域	(85人)	34.1	8.2	21.2	30.6	31.8	68.2
宮古圏域	(34人)	38.2	5.9	11.8	20.6	35.3	73.5
八重山圏域	(49人)	40.8	4.1	22.4	24.5	55.1	69.4
項目 (有効回答数)		好きなスポーツ活動ができるから	技術を習得できるから	家族や友人などに誘われたから	その他	特にない	わからない
総数	(278人)	29.5	8.7	20.9	4.1	0.3	1.2
【性別】							
男性	(123人)	47.0	7.6	20.6	1.7	0.0	1.4
女性	(155人)	16.0	9.6	21.2	5.8	0.4	1.0
【年齢別】							
20代	(18人)	67.9	3.6	59.5	0.0	0.0	0.0
30代	(31人)	38.8	7.5	28.4	5.2	0.0	0.0
40代	(41人)	39.3	4.4	12.6	8.7	0.0	3.8
50代	(56人)	26.6	12.0	17.0	5.8	0.4	0.0
60代	(79人)	22.3	10.2	16.1	3.6	0.0	2.3
70代以上	(55人)	14.8	9.1	19.3	0.0	0.8	0.0
【圏域別】							
北部圏域	(53人)	35.8	7.5	13.2	1.9	1.9	0.0
中部圏域	(62人)	24.2	12.9	24.2	3.2	0.0	1.6
南部圏域	(85人)	30.6	5.9	20.0	4.7	0.0	0.0
宮古圏域	(34人)	35.3	8.8	17.6	8.8	5.9	0.0
八重山圏域	(49人)	42.9	4.1	12.2	2.0	0.0	0.0

※1: 親睦のため (仲間ができるから)

5. 総合型地域スポーツクラブの役割や取組について

(1) 総合型地域スポーツクラブについての認知度

「総合型地域スポーツクラブ（以下「総合型クラブ」という。）」について知っていたかを尋ねたところ、総合型クラブについて認知していた人の割合が22.1%（「クラブの活動に参加している」1.7%＋「クラブがあるのは知っていた」7.7%＋「クラブがあるのを聞いたことがある」12.7%）、「今回の調査で初めて知った」と答えた人の割合が77.9%となっている。

平成24年調査の結果と比較すると、認知度は8.1ポイント増加しているが、そのうち「クラブの活動に参加している」人の割合は0.3ポイントの増加に留まっている。

総合型クラブについて認知していた人の割合を性別にみると、女性の方が2.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、総合型クラブの認知度は、年齢が上がるにつれて高くなっている。

圏域別にみると、総合型クラブの認知度は、北部圏域、八重山圏域において高く、北部圏域では30%を超えている。

図Ⅱ－5－1 総合型地域スポーツクラブについての認知度



表Ⅱ－5－1 総合型地域スポーツクラブについての認知度

(単数回答 単位:%)

項目 (有効回答者数)	クラブの活動に参加している【A】	クラブがあるのは知っていた【B】	クラブがあるのを聞いたことがある【C】	今回の調査で初めて知った	クラブについて認知していた人(計)【A+B+C】
総数 (1,814人)	1.7	7.7	12.7	77.9	22.1
【性別】					
男性 (760人)	1.8	6.6	12.2	79.4	20.6
女性 (1,055人)	1.7	8.4	13.1	76.8	23.2
【年齢別】					
20代 (124人)	0.3	4.1	5.8	89.8	10.2
30代 (230人)	1.5	2.5	6.7	89.2	10.8
40代 (388人)	1.4	4.7	10.0	83.9	16.1
50代 (300人)	1.1	6.1	12.6	80.2	19.8
60代 (435人)	2.1	8.3	16.2	73.4	26.6
70代以上 (338人)	3.0	16.6	18.8	61.6	38.4
【圏域別】					
北部圏域 (344人)	3.5	10.8	16.9	68.9	31.1
中部圏域 (488人)	1.2	8.8	13.5	76.4	23.6
南部圏域 (456人)	2.2	5.5	10.7	81.6	18.4
宮古圏域 (241人)	0.8	7.9	13.7	77.6	22.4
八重山圏域 (292人)	1.0	10.6	15.1	73.3	26.7

(2) 総合型地域スポーツクラブの役割に対する期待

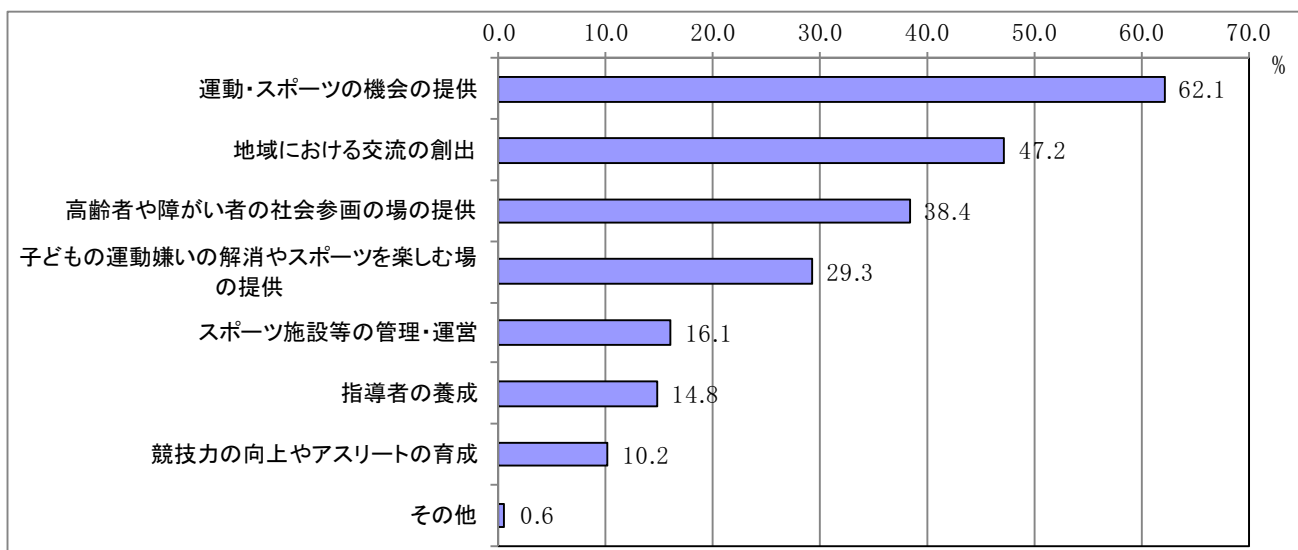
総合型地域スポーツクラブ（以下「総合型クラブ」という。）に対してどのような役割を期待しているかを尋ねたところ、「運動・スポーツの機会の提供」が62.1%で最も高く、次いで「地域における交流の創出」（47.2%）、「高齢者や障がい者の社会参画の場の提供」（38.4%）、「子どもの運動嫌いの解消やスポーツを楽しむ場の提供」（29.3%）の順となっている。

総合型クラブの役割に対する期待を性別にみると、男性では「地域における交流の創出」、「スポーツ施設の管理・運営」、「指導者の養成」及び「競技力の向上やアスリートの育成」等が、女性では「運動・スポーツの機会の創出」及び「高齢者や障がい者の社会参画の場の提供」がそれぞれ異性に比べ高くなっている。

年齢別にみると、20代では「地域における交流の創出」、30代では「運動・スポーツの機会の提供」及び「競技力の向上やアスリートの育成」、40代では「子どもの運動嫌いやスポーツを楽しむ場の提供」、50代では「スポーツ施設の管理・運営」、60代では「指導者の養成」、そして70代以上では「高齢者や障がい者の社会参画の場の提供」と答えた人の割合がそれぞれ他の年代に比べ最も高くなっている。

圏域別にみると、中部圏域において「運動・スポーツの機会の提供」、宮古圏域において「指導者の養成」と答えた人の割合が他の圏域に比べ高くなっている。

図Ⅱ－５－２ 総合型地域スポーツクラブの役割に対する期待



表Ⅱ－５－２ 総合型地域スポーツクラブの役割に対する期待

(複数回答【すべて】 単位:%)

項目 (有効回答者数)	運動・スポーツの機会の提供	地域における交流の創出	スポーツを楽しむ場の提供	高齢者や障害者の社会参画の場の提供	指導者の養成	競技力の向上やアスリートの育成	スポーツ施設等の管理・運営	その他
総 数 (399人)	62.1	47.2	29.3	38.4	14.8	10.2	16.1	0.6
【 性 別 】								
男 性 (156人)	58.3	52.1	32.0	37.5	18.8	16.4	19.6	0.0
女 性 (243人)	64.5	44.2	27.6	38.9	12.4	6.4	13.9	1.0
【 年 齢 別 】								
20 代 (13人)	56.7	58.3	23.3	8.3	8.3	8.3	18.3	0.0
30 代 (25人)	89.7	56.1	34.6	38.3	10.3	16.8	16.8	0.0
40 代 (63人)	76.4	36.2	42.8	19.2	14.1	7.6	21.4	0.0
50 代 (58人)	65.5	50.6	38.6	24.9	20.9	13.7	22.5	2.8
60 代 (115人)	63.9	46.7	27.9	39.2	23.1	15.0	20.2	0.7
70 代 以上 (130人)	47.8	48.7	19.4	56.0	7.7	5.3	7.2	0.0
【 圏 域 別 】								
北 部 圏 域 (106人)	52.8	47.2	31.1	38.7	15.1	13.2	17.9	1.9
中 部 圏 域 (114人)	65.8	47.4	28.9	38.6	16.7	12.3	19.3	0.9
南 部 圏 域 (84人)	60.7	48.8	27.4	38.1	10.7	6.0	10.7	0.0
宮 古 圏 域 (54人)	57.4	42.6	33.3	40.7	25.9	14.8	20.4	0.0
八 重 山 圏 域 (78人)	57.7	37.2	30.8	41.0	15.4	7.7	14.1	0.0

(3) 総合型地域スポーツクラブの取組に対する期待

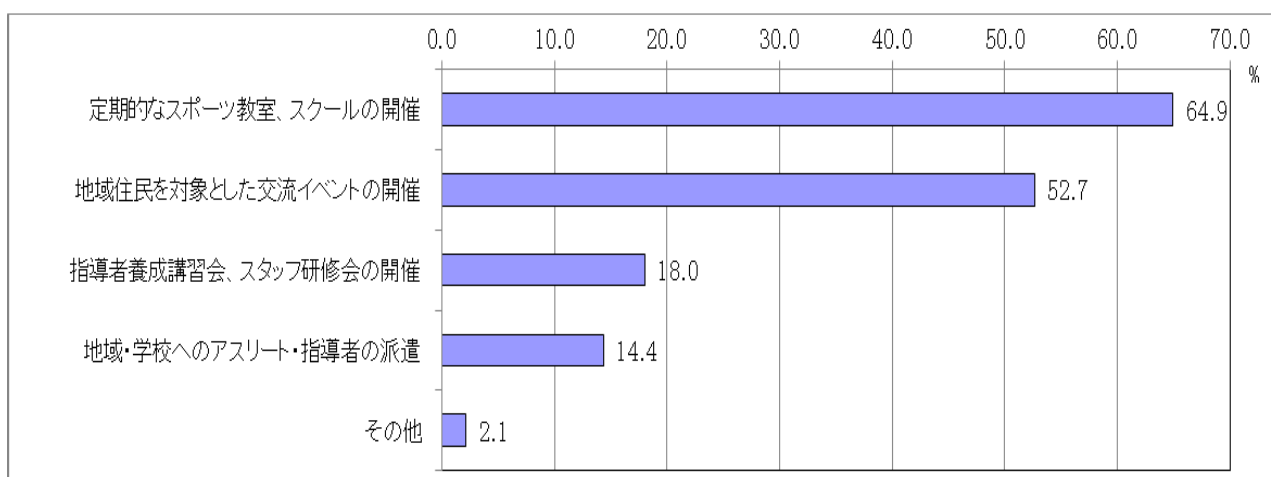
総合型地域スポーツクラブに対してどのような取組を期待しているかを尋ねたところ、「定期的なスポーツ教室、スクールの開催」が64.9%で最も高く、次いで「地域住民を対象とした交流イベントの開催」も過半の52.7%となっており、高い期待が寄せられている。

総合型クラブの取組に対する期待を性別にみると、男性では「地域住民を対象としたイベントの開催」、「指導者養成講習会、スタッフ研修会の開催」、「地域・学校へのアスリート・指導者の派遣」が、女性では「定期的なスポーツ教室、スクールの開催」がそれぞれ異性に比べ高くなっている。

年齢別にみると、30代及び40代では「定期的なスポーツ教室、スクールの開催」が、30代と60代では「地域住民を対象としたイベントの開催」が、20代では「地域・学校へのアスリート・指導者の派遣」が、それぞれ他の年代より高くなっている。

圏域別にみると、北部圏域において「地域住民を対象としたイベントの開催」が、宮古圏域において「定期的なスポーツ教室、スクールの開催」、「指導者養成講習会、スタッフ研修会の開催」及び「地域・学校へのアスリート・指導者の派遣」が他圏域に比べ高くなっている。

図Ⅱ－５－３ 総合型地域スポーツクラブの取組に対する期待



表Ⅱ－５－３ 総合型地域スポーツクラブの取組に対する期待

(複数回答【すべて】 単位：%)

項目 (有効回答者数)		地域住民を対象とした交流イベントの開催	定期的なスポーツ教室、スクールの開催	指導者養成講習会、スタッフ研修会の開催	地域・学校へのアスリート・指導者の派遣	その他
総 数	(399人)	52.7	64.9	14.4	18.0	2.1
【 性 別 】						
男 性	(155人)	56.7	57.6	33.4	21.0	1.8
女 性	(243人)	49.7	68.8	9.3	16.0	2.3
【 年 齢 別 】						
20 代	(13人)	41.7	61.7	5.0	26.7	0.0
30 代	(25人)	59.8	71.0	17.8	23.4	0.0
40 代	(63人)	47.5	74.3	12.7	23.6	0.0
50 代	(59人)	45.7	69.5	11.7	19.9	5.5
60 代	(113人)	50.0	67.8	17.1	15.8	1.6
70 代 以上	(130人)	59.2	54.1	14.4	14.0	2.6
【 圏 域 別 】						
北 部 圏 域	(106人)	60.4	50.9	19.8	14.2	4.7
中 部 圏 域	(114人)	50.4	67.0	15.7	20.0	1.7
南 部 圏 域	(84人)	52.4	65.5	9.5	15.5	2.4
宮 古 圏 域	(53人)	55.6	68.5	22.2	24.1	0.0
八 重 山 圏 域	(78人)	53.8	64.1	15.4	16.7	0.0

6. 地域のスポーツの振興にあたっての期待や要望について

(1) 地域におけるスポーツ振興に対する期待

地域におけるスポーツ振興にどのような効果を期待するかを尋ねたところ、「高齢者の生きがいつくり」と答えた人の割合が40.7%と最も高く、次いで「余暇時間の有効活用」(38.1%)、「地域住民の健康水準の改善」(37.9%)、「スポーツ施設の有効利用」(31.4%)、「地域コミュニティの維持・形成」(26.9%)の順となっている。

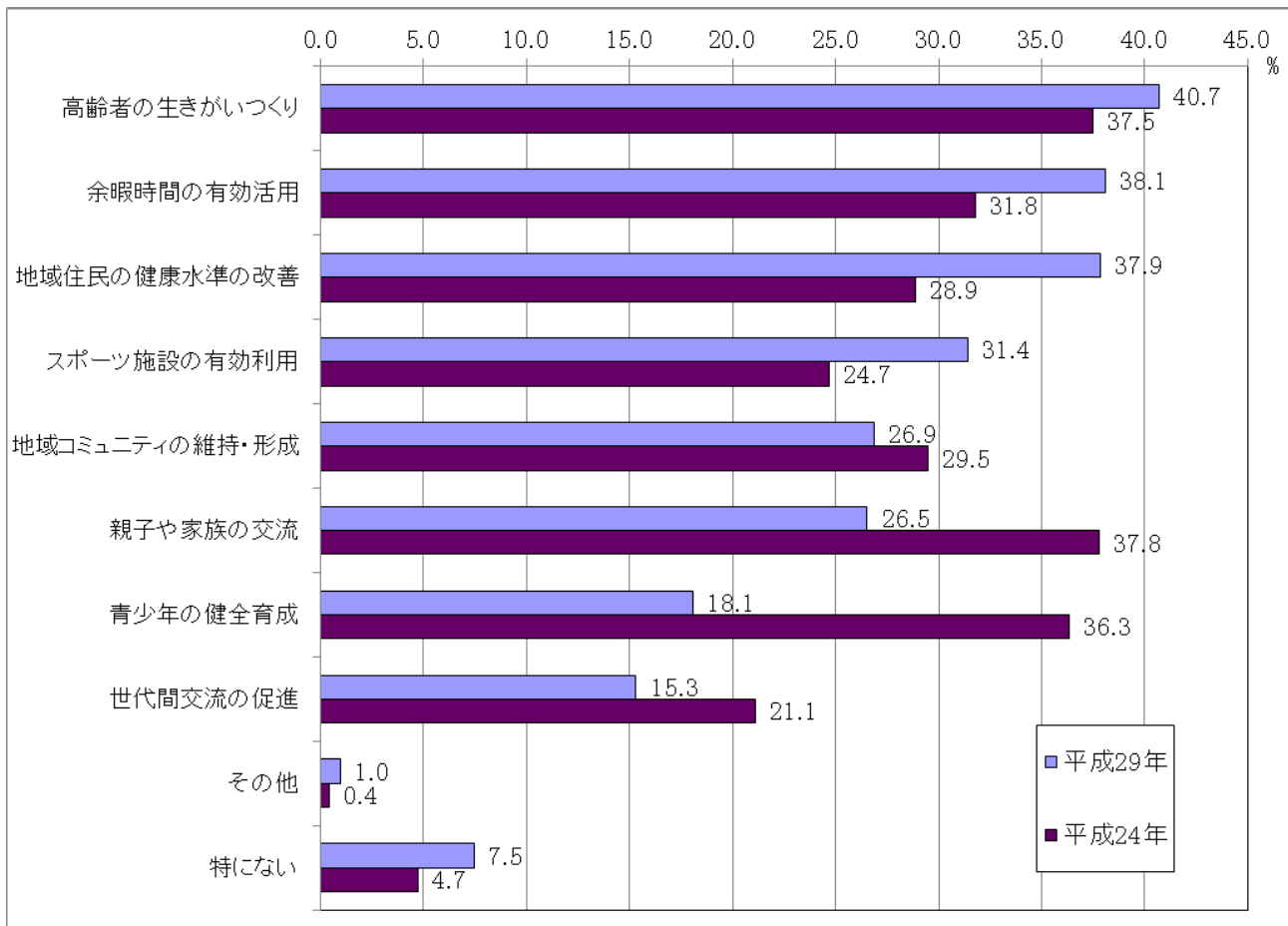
平成24年調査において上位を占めていた「親子や家族の交流」、「青少年の健全育成」に対する期待がそれぞれ11.3%、18.2%低下するという大きな変化が見られる。

地域におけるスポーツ振興に対する期待を性別にみると、男性では「世代間交流の促進」等が、女性では「余暇時間の有効活用」、「地域住民の健康水準の改善」、「スポーツ施設の有効利用」等がそれぞれ異性に比べ高くなっている。

年齢別にみると、「高齢者の生きがいつくり」と答えた人の割合は、年齢が上がるにつれて高くなり、「スポーツ施設の有効利用」、「地域コミュニティの維持・形成」と答えた人の割合は、年齢が下がるにつれて高くなっている。また、20代では「世代間交流の促進」、30代では「親子や家族の交流」、40代では「青少年の健全育成」と答えた人の割合が他の年代に比べ高くなっている。

圏域別にみると、北部圏域では「青少年の健全育成」、中部圏域では「余暇時間の有効活用」、宮古圏域では「地域住民の健康水準の改善」、「スポーツ施設の有効利用」、八重山圏域では「地域コミュニティの維持・形成」、「親子や家族の交流」、「世代間交流の促進」、北部圏域及び宮古圏域では「高齢者の生きがいつくり」と答えた人の割合が他の圏域に比べ最も高くなっている。

図Ⅱ－6－1 地域におけるスポーツ振興に対する期待



表Ⅱ－６－１ 地域におけるスポーツ振興に対する期待

(複数回答【3つまで】 単位:%)

項目 (有効回答者数)	親子や家族の交流	余暇時間の有効活用	地域コミュニティの維持・形成	世代間交流の促進	青少年の健全育成	高齢者の生きがいづくり
総 数 (1,782人)	26.5	38.1	26.9	15.3	18.1	40.7
【 性 別 】						
男 性 (747人)	26.6	33.6	26.2	20.0	18.9	38.7
女 性 (1,035人)	26.5	41.2	27.3	12.1	17.5	42.0
【 年 齢 別 】						
20 代 (123人)	33.4	40.8	39.1	21.8	18.2	16.8
30 代 (228人)	46.6	37.7	34.7	17.6	16.4	21.4
40 代 (382人)	37.9	41.6	26.6	10.4	24.6	34.7
50 代 (296人)	17.5	42.3	29.6	17.4	17.3	38.4
60 代 (421人)	14.7	38.8	22.0	18.0	15.5	52.2
70 代 以上 (330人)	18.1	28.7	20.0	12.1	15.3	59.6
【 圏 域 別 】						
北 部 圏 域 (336人)	27.4	34.5	29.8	18.2	20.5	43.2
中 部 圏 域 (477人)	25.8	41.1	25.8	12.6	19.1	42.1
南 部 圏 域 (450人)	26.9	36.9	27.3	16.7	16.9	38.4
宮 古 圏 域 (236人)	27.5	30.1	21.6	19.9	15.7	43.2
八 重 山 圏 域 (290人)	29.7	30.7	33.1	21.7	16.2	41.4
項目 (有効回答者数)	地域住民の健康水準の改善	スポーツ施設の有効活用	その他	特にない	わからない	
総 数 (1,782人)	37.9	31.4	1.0	7.5	3.7	
【 性 別 】						
男 性 (747人)	34.0	28.2	0.7	11.0	3.3	
女 性 (1,035人)	40.5	33.6	1.1	5.1	4.0	
【 年 齢 別 】						
20 代 (123人)	37.4	42.5	1.4	2.1	3.1	
30 代 (228人)	37.0	32.9	0.0	4.7	3.1	
40 代 (382人)	30.5	37.5	2.1	5.2	2.4	
50 代 (296人)	43.4	35.7	1.1	5.2	3.0	
60 代 (421人)	47.0	30.8	1.0	6.2	4.4	
70 代 以上 (330人)	32.2	15.8	0.1	17.8	5.8	
【 圏 域 別 】						
北 部 圏 域 (336人)	39.9	25.6	0.0	8.3	3.6	
中 部 圏 域 (477人)	37.7	32.7	1.7	7.3	3.6	
南 部 圏 域 (450人)	37.3	30.9	0.4	7.6	4.0	
宮 古 圏 域 (236人)	43.2	34.3	0.8	7.2	3.8	
八 重 山 圏 域 (290人)	38.6	28.3	0.7	7.9	2.4	

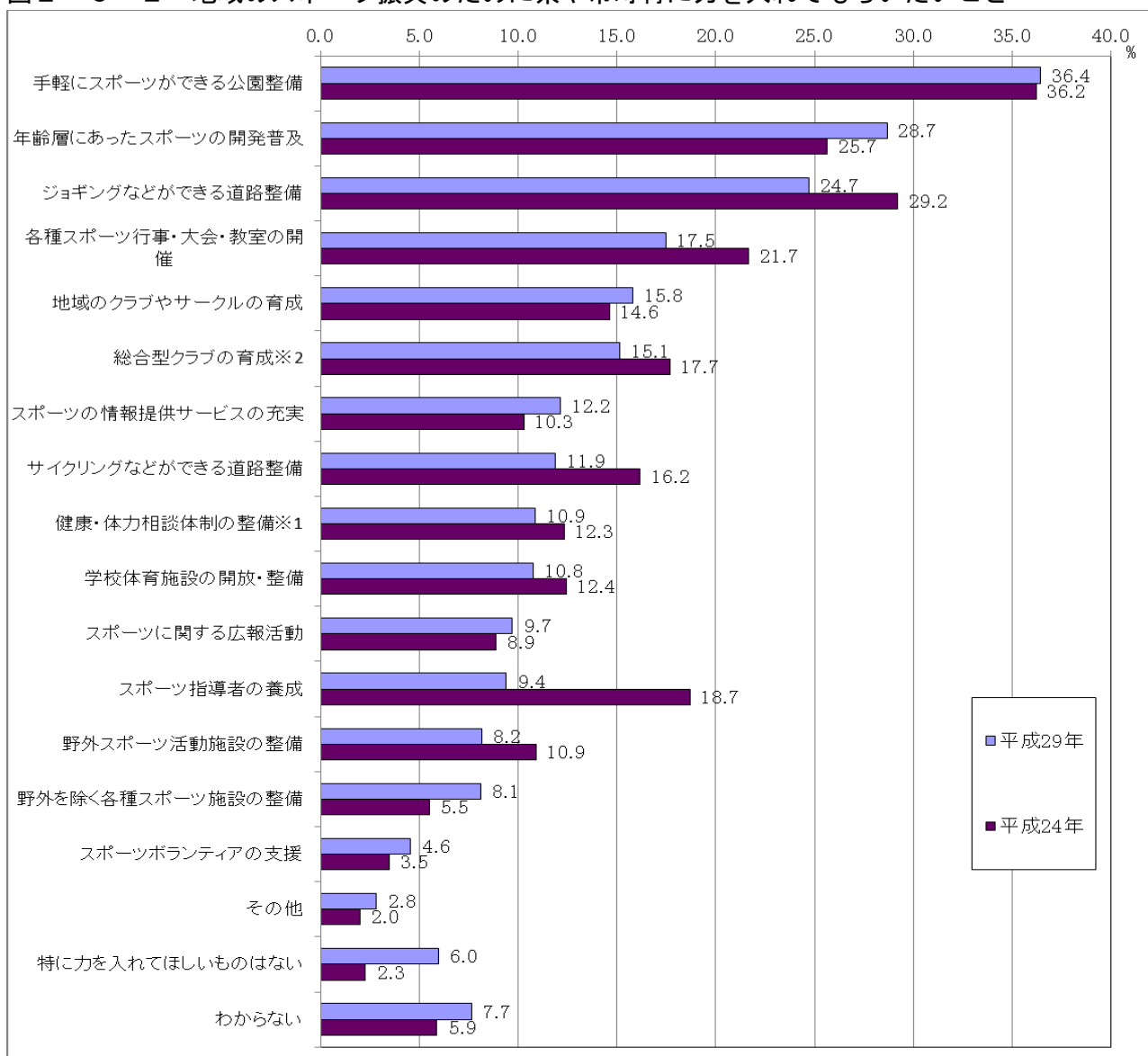
(2) 地域のスポーツ振興のために県や市町村に力を入れてもらいたいこと

地域のスポーツを振興させるために、県や市町村に今後どのようなことに力を入れてもらいたいと思うかを尋ねたところ、「手軽にスポーツができる公園整備」と答えた人の割合が36.4%と最も高く、次いで「年齢層にあったスポーツの開発普及」(28.7%)、「ジョギングなどができる道路整備」(24.7%)、「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」(17.5%)、「地域のクラブやサークルの育成」(15.8%)の順となっている。

平成24年調査の結果と比較すると、「スポーツ指導者の養成」が9.3ポイント低下しており、「ジョギングなどができる道路整備」、「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」及び「サイクリングなどができる道路の整備」等が低くなっている。一方、「年齢層にあったスポーツの開発普及」、「地域のクラブやサークルの育成」及び「スポーツの情報提供サービスの充実」等については高くなっている。

県や市町村に力を入れてもらいたいことを性別にみると、男性では「学校体育施設の開放」及び「野外スポーツ活動施設の整備」等、女性では「年齢層にあったスポーツの開発普及」及び「総合型クラブの育成」等と答えた人の割合がそれぞれ異性に比べて高くなっている。

図Ⅱ－6－2 地域のスポーツ振興のために県や市町村に力を入れてもらいたいこと



※1：公共スポーツ施設における健康・体力相談体制の整備

※2：多世代・多種目・多志向型の総合型地域スポーツクラブの育成

年齢別にみると、「年齢層にあったスポーツの開発普及」と答えた人の割合は、年齢が上がるにつれて高くなり、「野外を除く、各種スポーツ施設の整備」、「ジョギングなどができる道路整備」と答えた人の割合は、年齢が下がるにつれて高くなっている。20代及び30代では「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」が20%を超え、30代～50代では「手軽にスポーツができる公園整備」が40%を超えている。また、50代では「地域のクラブやサークルの育成」の割合が他の年代に比べ高くなっている。

圏域別にみると、中部圏域及び南部圏域では「手軽にスポーツができる公園整備」、宮古圏域では「年齢層にあったスポーツの開発普及」がそれぞれ35%を超え、八重山圏域では「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」の割合が最も高く20%を超えている。

表Ⅱ-6-2 地域のスポーツ振興のために県や市町村に力を入れてもらいたいこと

(複数回答【3つまで】 単位:%)

項目 (有効回答者数)	各種スポーツ行事・大会・教室の開催	地域のクラブやサークルの育成	スポーツ指導者の養成	スポーツに関する広報活動	スポーツの情報提供サービスの充実	学校体育施設の開放・整備	野外スポーツ活動施設の整備	野外を除く各種スポーツ施設の整備	スポーツボランティアの支援
総数 (1,782人)	17.5	15.8	9.4	9.7	12.2	10.8	8.2	8.1	4.6
【性別】									
男性 (747人)	18.4	14.5	11.0	10.5	11.1	12.5	12.1	6.4	4.5
女性 (1,035人)	16.8	16.7	8.3	9.1	12.9	9.5	5.4	9.3	4.6
【年齢別】									
20代 (123人)	23.3	17.7	9.6	8.9	9.6	14.9	9.6	17.8	5.5
30代 (228人)	25.8	12.8	3.9	11.2	14.5	18.1	11.3	11.9	2.8
40代 (382人)	18.1	13.6	11.8	11.0	13.0	14.6	9.1	10.9	5.1
50代 (296人)	17.7	22.1	9.3	12.2	19.0	8.1	5.9	6.3	3.2
60代 (421人)	16.7	17.9	10.6	9.0	10.5	8.0	9.8	6.1	5.9
70代以上 (330人)	9.3	11.9	9.1	6.1	6.5	5.1	4.6	2.2	4.5
【圏域別】									
北部圏域 (336人)	16.4	18.5	14.9	6.5	13.1	9.5	9.2	8.0	4.2
中部圏域 (477人)	17.4	16.1	8.2	11.3	11.3	8.0	7.1	7.8	4.8
南部圏域 (450人)	17.3	15.1	8.7	8.9	13.3	13.8	8.9	8.0	4.2
宮古圏域 (236人)	16.1	15.3	16.1	4.2	7.2	12.7	8.9	11.9	6.8
八重山圏域 (290人)	22.4	15.5	12.8	9.7	10.3	10.7	9.7	10.0	4.5
項目 (有効回答者数)	年齢層にあったスポーツの開発普及	健康・体力相談体制の整備※1	ジョギングなどができる道路整備	サイクリングなどができる道路整備	手軽にスポーツができる公園整備	総合型クラブの育成※2	その他	特に力を入れてほしいものはない	わからない
総数 (1,782人)	28.7	10.9	24.7	11.9	36.4	15.1	2.8	6.0	7.7
【性別】									
男性 (747人)	25.7	9.3	25.0	13.3	35.5	12.4	4.2	6.3	7.1
女性 (1,035人)	30.7	12.0	24.6	10.9	37.1	17.1	1.9	5.7	8.1
【年齢別】									
20代 (123人)	16.5	11.8	30.9	9.1	39.1	9.6	3.9	2.9	5.3
30代 (228人)	13.8	8.2	26.5	15.2	43.4	17.5	7.3	2.2	5.3
40代 (382人)	15.4	12.2	25.5	13.8	40.3	18.1	4.1	4.8	4.0
50代 (296人)	27.3	12.2	26.3	16.7	41.5	15.9	1.8	4.2	3.7
60代 (421人)	41.2	11.9	24.7	11.7	31.6	17.7	1.1	5.3	7.2
70代以上 (330人)	46.5	8.5	18.7	4.6	27.0	8.9	0.7	13.4	18.4
【圏域別】									
北部圏域 (336人)	30.4	8.6	18.2	7.1	29.2	14.9	1.5	6.3	11.3
中部圏域 (477人)	32.5	11.7	23.1	11.7	38.4	15.7	3.4	5.9	8.4
南部圏域 (450人)	24.0	10.2	28.0	13.3	36.7	14.7	2.7	6.2	6.0
宮古圏域 (236人)	37.7	11.0	24.6	7.2	33.1	14.8	2.5	4.7	8.1
八重山圏域 (290人)	26.6	12.8	22.1	12.4	29.3	13.8	1.7	6.6	8.6

※1：公共スポーツ施設における健康・体力相談体制の整備

※2：多世代・多種目・多志向型の総合型地域スポーツクラブの育成

(3) スポーツ指導者の確保、養成に対する期待

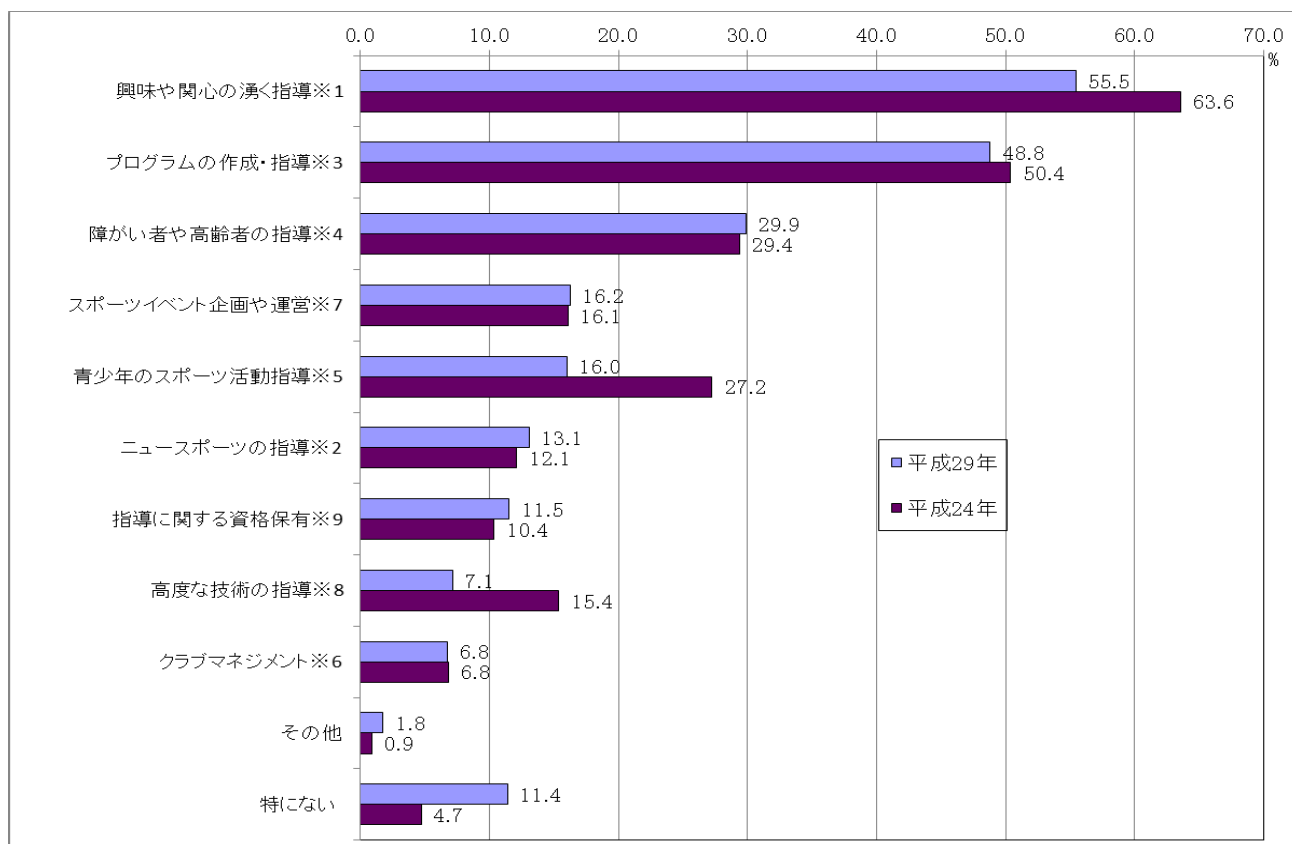
今後、県や市町村にどのようなスポーツ指導者を確保、養成してほしいかを尋ねたところ、「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心が湧くような指導ができる人」を挙げた人の割合が55.5%と最も高く、次いで「健康・体力づくりのための運動やスポーツのプログラムの作成・指導ができる人」(48.8%)、「障がい者や高齢者の運動やスポーツの指導ができる人」(29.9%)、「スポーツイベント(大会や教室など)の企画や運営ができる人」(16.2%)、「青少年のスポーツ活動を積極的に進めることができる人」(16.0%)の順となっている。

平成24年調査の結果と比較すると、「興味・関心が湧くような指導ができる人」が8.1ポイント、「青少年のスポーツ活動を積極的に進めることができる人」が11.2ポイント、「競技力向上のための高度な技術の指導ができる人」が8.3ポイント低下している。

スポーツ指導者の確保、養成に対する期待を性別にみると、男性では「ニュースポーツの指導ができる人」及び「スポーツイベント(大会や教室など)の企画や運営ができる人」等において、女性では「興味や関心が湧くような指導ができる人」及び「運動やスポーツのプログラムの作成・指導ができる人」等において、それぞれの異性に比べ高くなっている。

年齢別にみると、20代、40代及び50代で「興味や関心の湧くような指導ができる人」と答えた人の割合が60%を超え、50代及び60代で「運動やスポーツのプログラムの作成・指導ができる人」と答えた人の割合が60%近くになっている。また、20代及び60代以上で「障がい者や高齢者の運動やスポーツの指導ができる人」と答えた人の割合が30%を超えている。

図Ⅱ-6-4 スポーツ指導者の確保、養成に対する期待



※1：スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心が湧くような指導ができる人 ※2：いろいろなニュースポーツ(グラウンド・ゴルフ、ソフトバレーなど)の指導ができる人 ※3：健康・体力づくりのための運動やスポーツのプログラムの作成・指導ができる人 ※4：障がい者や高齢者の運動やスポーツの指導ができる人 ※5：青少年のスポーツ活動を積極的に進めることができる人 ※6：スポーツクラブなどのマネジメントができる人 ※7：スポーツイベント(大会や教室など)の企画や運営ができる人 ※8：競技力向上のための高度な技術の指導ができる人 ※9：指導に関する資格を持っている人

圏域別にみると、各圏域とも「興味や関心の湧くような指導ができる人」が50%以上、「運動やスポーツのプログラムの作成・指導ができる人」が50%前後、「障がい者や高齢者の運動やスポーツの指導ができる人」が30%前後となっている。

表Ⅱ-6-4 スポーツ指導者の確保、養成に対する期待

(複数回答【3つまで】 単位:%)

項目		興味や関心の湧く指導※1	ニュースポーツの指導※2	プログラムの作成・指導※3	障がい者や高齢者の指導※4	青少年のスポーツ活動指導※5	クラブマネジメント※6
総数	(1,782人)	55.5	13.1	48.8	29.9	16.0	6.8
【性別】							
男性	(747人)	51.9	17.0	42.8	28.4	16.4	8.8
女性	(1,035人)	57.9	10.4	53.0	31.0	15.7	5.3
【年齢別】							
20代	(123人)	65.5	13.0	47.7	30.7	17.3	6.0
30代	(229人)	54.1	9.2	42.6	21.0	19.4	11.4
40代	(382人)	60.4	11.1	49.2	22.8	21.6	8.1
50代	(297人)	62.2	13.4	57.4	27.3	12.7	6.3
60代	(421人)	56.6	18.0	58.2	36.4	10.8	7.4
70代以上	(330人)	39.4	12.3	35.1	38.9	15.6	1.9
【圏域別】							
北部圏域	(335人)	56.9	14.6	50.2	30.3	16.8	6.8
中部圏域	(474人)	60.2	14.3	49.1	30.4	15.5	6.1
南部圏域	(447人)	50.0	11.6	48.2	29.8	16.4	7.8
宮古圏域	(236人)	53.0	11.9	51.3	25.0	14.8	5.1
八重山圏域	(290人)	59.3	14.5	47.9	28.6	16.9	4.8
項目		スポーツイベント企画や運営※7	高度な技術の指導※8	指導に関する資格保有※9	その他	特にない	わからない
総数	(1,782人)	16.2	7.1	11.5	1.8	11.4	7.4
【性別】							
男性	(747人)	19.0	8.6	7.7	1.5	14.1	7.0
女性	(1,035人)	14.3	6.1	14.2	2.0	9.5	7.8
【年齢別】							
20代	(123人)	19.7	13.9	8.7	4.8	1.5	5.8
30代	(229人)	21.7	10.3	15.3	3.1	9.5	6.9
40代	(382人)	19.4	10.4	8.8	3.0	9.2	3.8
50代	(297人)	21.1	3.8	10.9	1.2	10.2	4.2
60代	(421人)	13.5	6.2	12.2	0.5	10.6	6.8
70代以上	(330人)	6.1	2.4	13.2	0.1	21.2	16.2
【圏域別】							
北部圏域	(335人)	11.7	7.1	10.7	0.7	10.3	9.7
中部圏域	(474人)	18.4	6.9	10.9	1.3	11.1	6.7
南部圏域	(447人)	15.1	6.9	12.0	2.7	11.6	7.8
宮古圏域	(236人)	15.3	9.7	15.7	0.8	13.6	8.1
八重山圏域	(290人)	12.8	10.0	12.1	0.7	13.1	6.9

※1：スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心が湧くような指導ができる人

※2：いろいろなニュースポーツ（グラウンド・ゴルフ、ソフトバレーなど）の指導ができる人

※3：健康・体力づくりのための運動やスポーツのプログラムの作成・指導ができる人

※4：障がい者や高齢者の運動やスポーツの指導ができる人 ※5：青少年のスポーツ活動を積極的に進めることができる人

※6：スポーツクラブなどのマネジメントができる人 ※7：スポーツイベント（大会や教室など）の企画や運営ができる人

※8：競技力向上のための高度な技術の指導ができる人 ※9：指導に関する資格を持っている人

(4) 県や市町村に提供してほしい情報

県や市町村にはどのような情報を提供してほしいかを尋ねたところ、「健康・体力づくり情報」と答えた人の割合が 44.2%と最も高く、次いで「スポーツ施設の案内」(33.6%)、「新しいスポーツ、気軽にできるスポーツなどの情報」(33.5%)、「各種スポーツ教室の案内」(33.3%)、「スポーツに関する医学的・科学的情報」(20.3%)の順となっている。

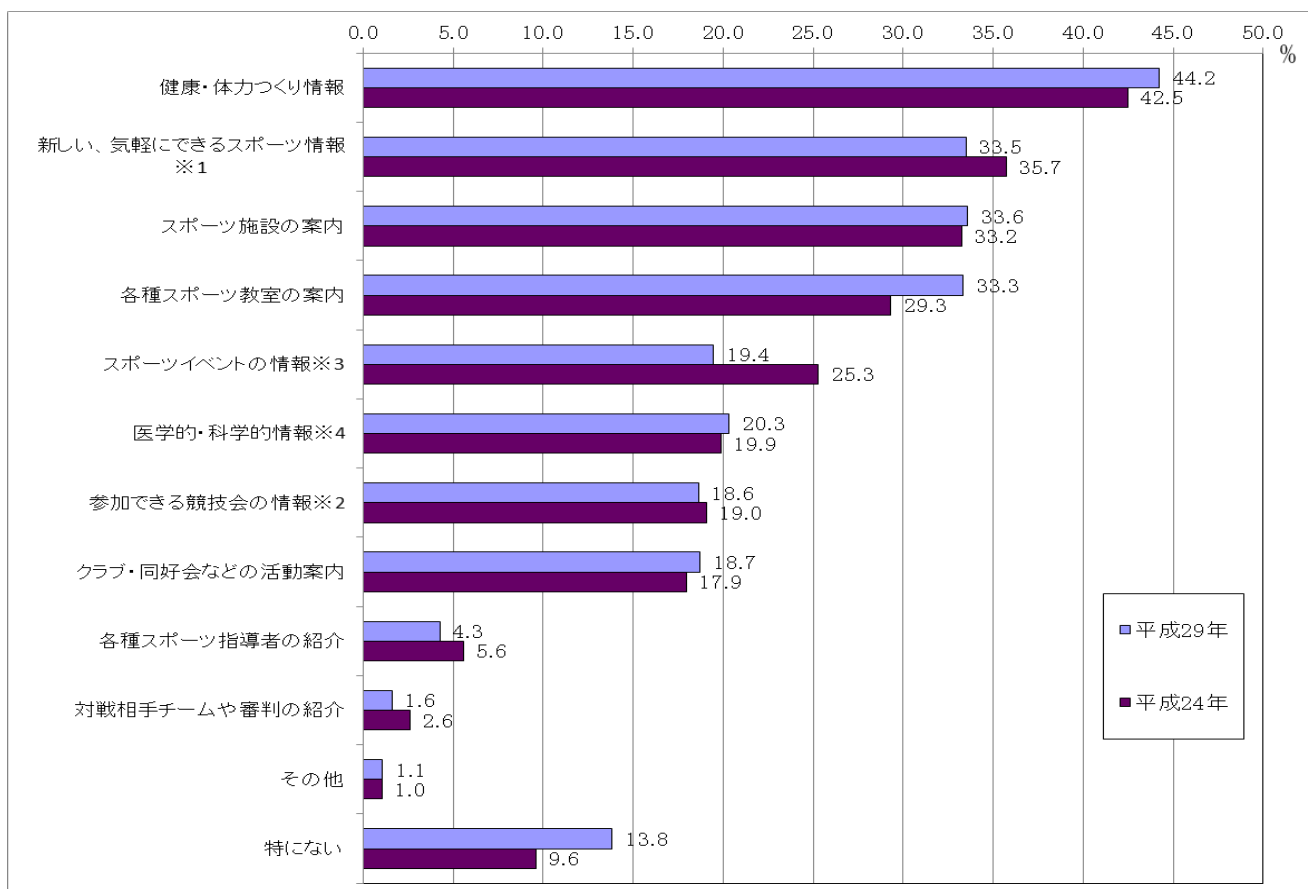
平成 24 年調査の結果と比較すると、「スポーツ行事やスポーツイベントの情報」が 6 ポイント近く低下した以外は大きな違いは見られない。

県や市町村に提供してほしい情報を性別にみると、男性では「自分が参加できるスポーツ競技会の情報」及び「スポーツイベントの情報」等において、女性では「新しいスポーツ、気軽にできるスポーツなどの情報」、「各種スポーツ教室の案内」及び「健康・体力づくり情報」等において、それぞれ異性に比べて高くなっている。

年齢別にみると、「スポーツイベントの情報」と答えた人の割合は、年齢が下がるにつれて高くなる傾向が見られる。また、30 代では「各種スポーツ教室の案内」、「スポーツ施設の案内」、「クラブ・同好会などの活動案内」、60 代では「健康・体力づくり情報」と答えた人の割合がそれぞれ他の年代に比べ高くなっている。

圏域別にみると、北部圏域では「健康・体力づくり情報」を、中部圏域及び南部圏域では「各種スポーツ教室の案内」及び「スポーツ施設の案内」を、八重山圏域では「スポーツ行事やスポーツイベントの情報」を、宮古圏域及び八重山圏域では「スポーツに関する医学的・科学的情報」をほしいと答えた人の割合がそれぞれ他の圏域に比べ高くなっている。

図Ⅱ－6－3 県や市町村に提供してほしい情報



※1：新しいスポーツ、気軽にできるスポーツなどの情報 ※2：自分が参加できるスポーツ競技会の情報

※3：スポーツ行事やスポーツイベントの情報 ※4：スポーツに関する医学的・科学的情報

表Ⅱ－6－3 県や市町村に提供してほしい情報

(複数回答【3つまで】 単位：%)

項目 (有効回答者数)		新しい、気軽にできるスポーツ情報※1	参加できる競技会の情報※2	スポーツイベントの情報※3	各種スポーツ教室の案内	スポーツ施設の案内	各種スポーツ指導者の紹介
総数	(1,782人)	33.5	18.6	19.4	33.3	33.6	4.3
【性別】							
男性	(747人)	29.1	23.0	22.5	28.6	32.6	4.9
女性	(1,035人)	36.6	15.6	17.3	36.6	34.3	3.8
【年齢別】							
20代	(123人)	38.4	20.8	30.2	21.4	38.9	3.8
30代	(228人)	36.5	15.4	28.2	44.6	44.6	6.2
40代	(382人)	37.0	16.6	22.3	37.3	37.3	4.4
50代	(296人)	32.0	23.8	17.7	40.5	38.4	4.1
60代	(421人)	33.5	19.6	17.9	31.8	29.1	3.3
70代以上	(330人)	26.7	16.6	9.2	21.1	20.4	4.2
【圏域別】							
北部圏域	(338人)	32.9	19.3	20.2	24.0	25.2	5.0
中部圏域	(477人)	36.1	18.9	17.8	34.0	34.4	3.8
南部圏域	(450人)	30.9	18.0	20.4	35.1	35.3	4.0
宮古圏域	(236人)	34.7	19.9	19.1	29.2	28.8	9.3
八重山圏域	(290人)	31.7	19.7	26.2	28.3	25.9	6.9
項目 (有効回答者数)		対戦相手チームや審判の紹介	クラブ・同好会などの活動案内	健康・体力づくり情報	医学的・科学的情報※4	その他	特にない
総数	(1,782人)	1.6	18.7	44.2	20.3	1.1	13.8
【性別】							
男性	(747人)	3.1	18.8	35.9	20.0	0.5	17.4
女性	(1,035人)	0.5	18.6	50.0	20.5	1.5	11.3
【年齢別】							
20代	(123人)	4.8	18.0	46.8	20.2	1.2	5.8
30代	(228人)	2.8	27.3	24.6	14.9	0.8	8.7
40代	(382人)	3.0	18.7	39.6	20.3	1.4	9.2
50代	(296人)	0.5	20.4	47.3	22.2	1.1	7.3
60代	(421人)	0.1	19.7	56.3	22.4	1.7	13.7
70代以上	(330人)	0.5	10.5	45.7	20.1	0.1	31.8
【圏域別】							
北部圏域	(338人)	0.6	16.0	49.3	21.1	1.8	16.6
中部圏域	(477人)	1.7	18.7	45.9	21.0	0.4	13.2
南部圏域	(450人)	1.8	19.3	42.2	18.7	1.8	13.8
宮古圏域	(236人)	2.1	18.2	40.7	25.4	0.4	14.8
八重山圏域	(290人)	0.3	17.9	39.3	25.2	0.0	15.5

※1：新しいスポーツ、気軽にできるスポーツなどの情報 ※2：自分が参加できるスポーツ競技会の情報

※3：スポーツ行事やスポーツイベントの情報 ※4：スポーツに関する医学的・科学的情報

7. 国際大会における本県選手の活躍に対する期待や合宿等の援助について

(1) 本県選手または本県出身選手の活躍に対する期待

国際大会において本県選手、または本県出身選手が活躍することを期待しているかを尋ねたところ、「ある程度」を含め、期待すると答えた人の割合が89.8%（「非常に期待する」65.7%＋「ある程度期待する」24.2%）となっている。

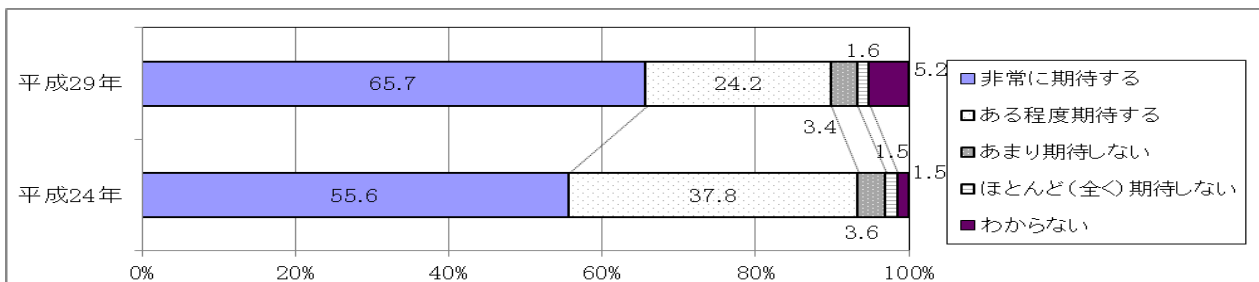
平成24年調査の結果と比較すると、「ある程度」を含めて期待すると答えた人の割合は3.5ポイント低下しているが、「非常に期待する」と回答した人の割合が10.1ポイント増加しており、強く期待する人が多くなっている。

本県選手または本県出身選手の活躍に対する期待を性別にみると、「ある程度」を含めて期待すると答えた人は、女性の方が3ポイント高くなっているが、「非常に期待する」と答えた人のみでみると男性の方が1.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「ある程度」を含めて期待すると答えた人の割合は、多少の差があるものの、全ての年代で90%前後となっており、期待度は高いと考えられる。

圏域別にみても、圏域間に大きな差は見られず90%前後となっており、全県的に期待が高いと考えられる。

図Ⅱ－7－1 本県選手または本県出身選手の活躍に対する期待



表Ⅱ－7－1 本県選手または本県出身選手の活躍に対する期待

(単数回答 単位:%)

項目 (有効回答者数)	非常に期待する【A】	ある程度期待する【B】	あまり期待しない【C】	ほとんど(全く)期待しない【D】	わからない	期待する(計)【A+B】	期待しない(計)【C+D】
総数 (1,782人)	65.7	24.2	3.4	1.6	5.2	89.8	5.0
【性別】							
男性 (746人)	66.7	21.3	5.1	2.0	4.9	88.1	7.0
女性 (1,035人)	64.9	26.2	2.2	1.3	5.4	91.1	3.5
【年齢別】							
20代 (123人)	60.5	27.8	2.1	1.4	8.2	88.3	3.4
30代 (228人)	66.6	26.0	1.3	0.4	5.7	92.6	1.7
40代 (382人)	68.3	22.1	5.0	1.8	2.8	90.3	6.8
50代 (297人)	64.3	25.7	4.3	2.2	3.5	90.0	6.5
60代 (421人)	64.4	24.2	3.9	2.5	5.0	88.6	6.4
70代以上 (330人)	66.7	22.6	2.1	0.6	8.0	89.3	2.7
【圏域別】							
北部圏域 (336人)	64.3	26.5	3.3	1.8	4.2	90.8	5.1
中部圏域 (477人)	69.8	21.0	3.4	0.6	5.2	90.8	4.0
南部圏域 (450人)	61.8	27.1	3.3	2.4	5.3	88.9	5.8
宮古圏域 (236人)	66.5	22.9	3.4	1.7	5.5	89.4	5.1
八重山圏域 (290人)	61.4	25.9	4.5	2.8	5.5	87.2	7.2

(2) 合宿費や大会遠征費などの援助

本県選手が国際大会や全国大会などで活躍できるようにするため、合宿費や大会遠征費などの援助を行なうことについてどう思うかを尋ねたところ、「ある程度」を含め、援助すべきと答えた人の割合が 84.5%（「積極的に援助すべきだ」47.6%+「ある程度は援助すべきだ」36.9%）となっている。

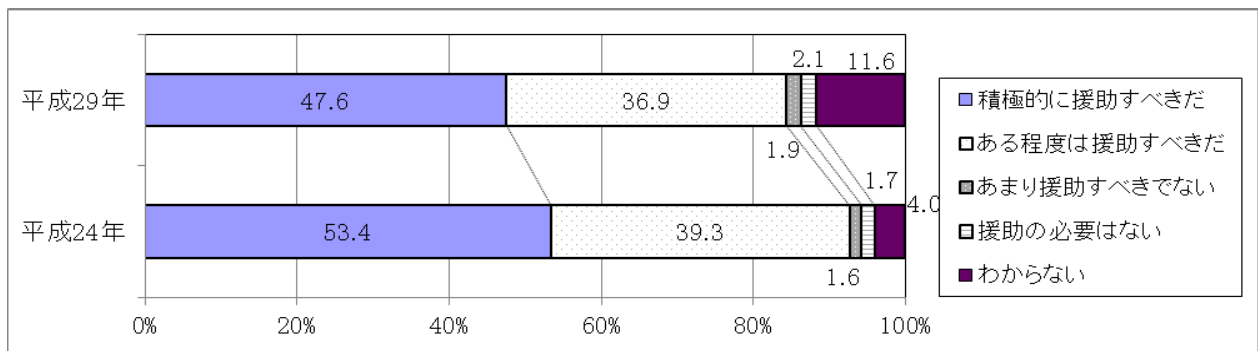
参考までに、平成 24 年調査（行政側から合宿や大会遠征費などの援助を行うことについて）の結果と比較すると、援助すべきと答えた人の割合は、8.3 ポイント減少している一方、「わからない」と回答した人の割合は 7.6 ポイント増加している。

援助すべきと答えた人の割合を性別にみると、女性の方が 1.1 ポイント高くなっているが、「積極的に援助すべきだ」と回答した人の割合は、男性の方が 6 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、20 代が 90.9%で最も高くなっており、年代が下がるにつれて低下する傾向が見られる。

圏域別にみると、北部圏域では「積極的に援助すべきだ」と答えた人の割合が 89.9%で最も高くなっている。

図Ⅱ－7－2 合宿費や大会遠征費などの援助



表Ⅱ－7－2 合宿費や大会遠征費などの援助

(単数回答 単位:%)

項目 (有効回答者数)	積極的に援助すべきだ【A】	ある程度は援助すべきだ【B】	あまり援助すべきでない【C】	援助の必要はない【D】	わからない	援助すべきだ(計)【A+B】	援助すべきでない(計)【C+D】
総数 (1,782人)	47.6	36.9	1.9	2.1	11.6	84.4	3.9
【性別】							
男性 (746人)	51.1	32.7	2.9	3.1	10.3	83.8	6.0
女性 (1,035人)	45.1	39.8	1.2	1.4	12.6	84.9	2.5
【年齢別】							
20代 (124人)	46.5	44.4	0.2	0.0	8.9	90.9	0.2
30代 (228人)	50.5	37.3	1.8	2.4	8.0	87.7	4.3
40代 (382人)	46.1	36.9	2.6	2.1	12.2	83.0	4.7
50代 (297人)	45.7	36.9	2.3	3.0	12.1	82.6	5.3
60代 (421人)	51.1	35.8	1.2	2.0	10.0	86.9	3.2
70代以上 (329人)	45.4	34.6	2.0	2.0	16.0	80.0	4.0
【圏域別】							
北部圏域 (336人)	54.2	35.7	0.9	0.9	8.3	89.9	1.8
中部圏域 (477人)	48.4	36.7	1.9	2.1	10.9	85.1	4.0
南部圏域 (450人)	44.2	38.0	2.0	2.4	13.3	82.2	4.4
宮古圏域 (236人)	55.1	31.4	2.1	0.4	11.0	86.4	2.5
八重山圏域 (290人)	51.4	34.5	2.1	2.4	9.7	85.9	4.5

Ⅲ 資料編

Ⅲ 資料編

資料1 競技者、運営者、ボランティア等として参加した、主な行事の名称

表Ⅲ-1-1 競技者として参加した、主な行事

北部圏域(47人)

	20代(6)	30代(6)	40代(6)	50代(5)	60代(11)	70代以上(13)
男性(28)	スポーツ大会	ツール・ド・おきなわ、市陸上競技大会、名護ハーフマラソン	運動会	北体協競技大会	ねんりんピック(テニス)	区民運動会
	陸上競技大会	体協	体協の大会	陸上競技、野球大会	地区陸上	老人クラブ、年金友の会
	陸上競技大会、球技大会	無回答	マラソン	ナゴハーフマラソン	班対抗徒競走	グランドゴルフ大会(2)
	バレーボール大会		無回答		マラソン大会	ゲートボール大会
	ツール・ド・おきなわ				トリムマラソン	無回答
					グラウンドゴルフ大会	
女性(19)	地域の陸上大会	陸上大会	村陸上大会	村体協球技大会	老人会運動会	区民運動会
		名護ハーフマラソン	トレイルウォーク、マラソン	卓球大会(恩納村)	老人婦人スポーツ大会	マラソン大会
		地区のバドミントン大会			二人三脚(運動会)	グランドゴルフ大会(3)
					パークゴルフ、グラウンドゴルフ	老人会グラウンドゴルフ(2)

中部圏域(31人)

	20代(3)	30代(2)	40代(8)	50代(4)	60代(8)	70代以上(6)
男性(15)		地域の運動会	運動会	区民運動会	運動会	老人クラブ運動会
		トリムマラソン	学童スポーツ大会	ソフトボール大会	県民体育大会	グランドゴルフ大会(3)
			県体育大会、町陸上、郡陸上		マラソン	
			テニス協会の競技			
女性(16)	町民運動会、町民陸上		県民体育大会(バドミントン)	村陸上、バレーボール	県民体育大会	フラダンス
	市町村の陸上競技大会		マラソン大会	なんぶトリムマラソン(10km)	地域の運動会	無回答
	おきなわマラソン		あやはしハーフマラソン、ナハマラソン		あやはしまラソン(3.8km)	
			那覇市ウォーキング		バドミントン競技大会	
				ボウリング大会		

南部圏域(45人)

	20代(6)	30代(8)	40代(6)	50代(9)	60代(10)	70代以上(6)
男性(28)	ナハマラソン	支部対抗	マラソン	久米島町運動会	ねんりんピック	テニス選手権大会
	おきなわマラソン(10km)	町内陸上大会、体協	野球、ソフトボール	区民運動会	尚巴志マラソン	自治会開催のグラウンドゴルフ
	サッカー体協	ナハマラソン	シニア選手権、カップ戦	久米島マラソン、なんぶトリムマラソン	なんぶトリムマラソン大会	グラウンドゴルフ
		南部トリムマラソン	ツールドオキナワ	宮古島10kmマラソン大会	ゴルフ、パークゴルフ、グラウンドゴルフ、ゲートボール大会	ゲートボール大会
			無回答	駅伝大会、バレーボール大会	グラウンドゴルフ	
			空手道年代別選手権	ゲートボール大会		
女性(17)	区民(地域)運動会(2)	町内運動会	市の体協	無回答(3)	卓球大会、自治会(2)	グラウンドゴルフ大会(2)
	町体協	トリムマラソン			グラウンドゴルフ	
		中部トリムマラソン			無回答	
		無回答				

宮古圏域(32人)

	20代(3)	30代(3)	40代(6)	50代(6)	60代(8)	70代以上(6)
男性(23)	職域大会	トライアスロン、マラソン大会	バレーボール	運動会	旧七夕運動会	グラウンドゴルフ大会
	沖縄県陸上競技選手権大会	地区剣道大会	ラグビー	地域スポーツ大会	シニア駅伝大会	地区対抗のグラウンドゴルフ
		無回答	職域バスケットボール大会	陸上競技大会	水泳大会・年6回	ゲートボール大会
				ソフトボール、バレーボール、フットサル	ソフトボール大会	
				無回答	グラウンドゴルフ大会	
					自治会グラウンドゴルフ	
女性(9)	部落競技会		陸上競技大会	ママさんバレーボール大会	無回答	グラウンドゴルフ大会(2)
			エコアイランド宮古島マラソン			通り会グラウンドゴルフ
			ロマン街道伊良部島マラソン			

八重山圏域(51人)

	20代(2)	30代(11)	40代(10)	50代(9)	60代(12)	70代以上(7)
男性(30)	バレーボール	石垣島マラソン、トレイルウォーク	地域のスポーツ大会/市長杯など	運動会(2)	運動会	町民スポーツ大会
		ナハマラソン	石垣島マラソン(2)	石垣島マラソン	八重山群陸上競技大会	公民館主催の運動会
		マラソン、野球大会	ヤマネコマラソン	マラソン大会	マラソン大会	グラウンドゴルフ大会
		町民球技大会	マラソン大会	市民マラソン大会	マラソン10km	ラジオ体操
		ソフトテニス大会		マラソン大会、トレイルラン大会	グラウンドゴルフ大会(2)	
		石垣市テニボン大会		パンナ岳ウォーキング	無回答	
女性(21)	竹富町球技大会	石垣ウルトラマラソン	石垣島マラソン	毎日新聞杯、市長杯	石垣島マラソン	郷友会レクリエーション
		石垣島マラソン	マラソン	石垣島マラソン	町民球技大会	やまねこマラソン大会
		町民球技大会	球技大会		バレーボール大会	石垣・宮古島親睦卓球大会
		ママさんバレーボール大会	石垣市長杯、ソフトテニス大会		グラウンドゴルフ大会、ゲートボール大会	
		無回答	石垣島SUPグランプリ		敬老会グラウンドゴルフ	

表Ⅲ－１－２ 大会役員など運営者として参加した、主な行事

北部圏域(14人)

	20代(2)	30代(0)	40代(4)	50代(2)	60代(3)	70代以上(3)
男性(7)	無回答		町陸上大会	グランドゴルフ	陸上競技大会	ゲートボール大会
			プレーナー活動			
			綱引き			
女性(7)	地区陸上大会		陸上競技大会	村陸上大会	グランドゴルフ	運動会
					老人・婦人運動会	区運動会

中部圏域(8人)

	20代(1)	30代(2)	40代(2)	50代(1)	60代(1)	70代以上(1)
男性(6)		グランドゴルフ、パークゴルフ	県高校総体		県民体育大会	グランドゴルフ大会
		地域の運動会	少年サッカー大会			
女性(2)	市町村の陸上競技大会			民生員		

南部圏域(7人)

	20代(1)	30代(1)	40代(3)	50代(1)	60代(0)	70代以上(1)
男性(5)			高校総体	ゲートボール大会		陸上競技大会
			陸上競技大会、ハーフマラソン大会			
			市体協バドミントン			
女性(2)	区民運動会	尚巴志マラソン				

宮古圏域(10人)

	20代(0)	30代(0)	40代(0)	50代(3)	60代(7)	70代以上(0)
男性(8)				陸上競技大会(2)	旧七夕運動会	
					水泳大会・年6回	
					陸上競技、駅伝(2)	
					ゲートボール大会	
					無回答	
女性(2)				中体連バレーボール競技	無回答	

八重山圏域(13人)

	20代(0)	30代(4)	40代(3)	50代(0)	60代(4)	70代以上(2)
男性(5)		ソフトテニス大会	陸上競技大会		郷友会運動会	
					北部スポーツ大会	
					地域の陸上競技すべて	
女性(8)		市民運動会(2)	トライアスロン		陸上競技大会	グランドゴルフ大会
		運動会	西表島SUPフェスティバル			無回答

表Ⅲ－１－３ ボランティアとして参加した、主な行事

北部圏域(7人)

	20代(1)	30代(0)	40代(1)	50代(3)	60代(1)	70代以上(1)
男性(4)	無回答			体協陸上、ツール・ド・おきなわ	新春グランドゴルフ大会	
				小宇利島マジックアワーマラソン		
女性(3)			NAGOURAマラソン(100km)	高等学校陸上競技(コザ高校駅伝部のケア)		婦人老人会運動会

中部圏域(12人)

	20代(0)	30代(0)	40代(2)	50代(2)	60代(3)	70代以上(5)
男性(7)			車椅子マラソン		市陸上大会	市町村主催のグランドゴルフ、ボウリング
			少年サッカー大会		無回答	グランドゴルフ大会
						無回答
女性(5)				ママさんバレー	グランドゴルフ大会	はごろも祭り
				無回答		無回答

南部圏域(5人)

	20代(0)	30代(0)	40代(2)	50代(2)	60代(1)	70代以上(0)
男性(3)			ゴルフトーナメント	区民運動会		
			消防団駅伝大会			
女性(2)				グランドゴルフ大会	那覇マラソン、赤十字奉仕団	

宮古圏域(19人)

	20代(0)	30代(2)	40代(4)	50代(3)	60代(9)	70代以上(1)
男性(8)			トライアスロン大会(2)	障がい者スポーツ大会	旧七夕運動会	
					水泳大会・年6回	
					宮古島トライアスロン(2)	
					無回答	
女性(11)		宮古島トライアスロン	トライアスロン	トライアスロン大会(2)	トライアスロン大会(2)	体育の日、トライアスロン
		トライアスロン	マラソン大会、トライアスロン		老人クラブの踊り	
					無回答	

八重山圏域(15人)

	20代(0)	30代(1)	40代(4)	50代(2)	60代(5)	70代以上(3)
男性(10)			郷友会の運動会	トライアスロン大会	地域の陸上競技すべて	マラソン大会
			陸上競技大会	無回答	石垣島トライアスロン大会	老人ゲートボール大会
			無回答(2)			
女性(5)		市民運動会			市民運動会(2)	老人運動会
					無回答	

表Ⅲ－１－４ 応援者・観戦者として参加した、主な行事

北部圏域(47人)

	20代(1)	30代(2)	40代(14)	50代(4)	60代(17)	70代以上(9)
男性(16)		無回答	無回答(3)	バスケットボール	区民運動会(3)	無回答(2)
				無回答	市民陸上競技	
					一般陸上競技大会	
					市民球技大会	
					名護市北支部球技大会	
					無回答	
女性(31)	村陸上大会	村陸上	区民運動会	高等学校陸上競技	区民運動会(2)	地区体協
			障害者の運動会	村陸上競技大会、バスケットボール大会	孫の運動会	運動会
			ワラビンピック		村陸上競技大会(3)	学校運動会
			運動会、陸上競技大会		体協陸上競技大会	おきなわマラソン
			運動会、陸上大会、野球		陸上競技大会	球技大会(2)
			陸上大会(3)		陸上競技、野球、ソフト	グランドゴルフ
			ナゴーフーフマラソン、ツールドおきなわ			
			ナハマラソン			
			野球			

中部圏域(34人)

	20代(2)	30代(3)	40代(8)	50代(4)	60代(11)	70代以上(6)
男性(15)		ワールドブルアップデー	沖縄マラソン	ゴルフトーナメント	区民運動会	運動会
			全国高校野球選手権大会		運動会	陸上競技大会、ソフトボール大会
			少年サッカー大会		沖縄市陸上競技大会	沖縄マラソン
					沖縄マラソン	野球
					高校野球	
					無回答	
女性(19)	町民体育大会	町内運動会	北谷町民運動会	高校バレー	地域の運動会	区民運動会
	町民運動会、町民陸上	無回答	水泳大会	無回答(2)	運動会	運動会
			サッカー		マラソン	
			フットサル、サッカー		空手大会	
			無回答		無回答	

南部圏域(24人)

	20代(3)	30代(3)	40代(4)	50代(3)	60代(6)	70代以上(5)
男性(7)	無回答	ナハマラソン		無回答	運動会、野球大会	町民運動会
		那覇市民バレーボール大会				運動会、野球大会
女性(17)	島尻郡 地区陸上大会	ミニバス大会	プロバスケット、ミニバスケット、バドミントン	南城市陸上競技大会(2)	ねんりんピック	市が主催するスポーツ大会
	野球大会		ナハマラソン(2)		ナハマラソン	運動会
			なはマラソン		高校野球	無回答
					卓球大会	
					無回答	

宮古圏域(29人)

	20代(1)	30代(3)	40代(3)	50代(5)	60代(13)	70代以上(4)
男性(10)			中体連陸上	体育大会	運動会	無回答
			駅伝大会、トライアスロン大会	無回答	自治会対抗陸上競技大会	
					トライアスロン大会	
					無回答(2)	
女性(19)	トライアスロン	地区野球大会	運動会	無回答(3)	運動会(2)	地域の運動会
		トライアスロン			地区競技大会	孫の運動会
		無回答			伊良部島ロマン海道マラソン、エコアイランド宮古島マラソン	マラソン
					トライアスロン大会(3)	
					無回答	

八重山圏域(26人)

	20代(0)	30代(2)	40代(11)	50代(6)	60代(6)	70代以上(1)
男性(10)			石垣市運動会	ロッテ春季キャンプ	村スポーツ大会	
			市民大運動会	群民大会	運動会、球技大会	
			マラソン	石垣島マラソン		
			石垣島マラソン、バスケ ユーグレナカップ			
			小学生バレーボール大会など			
女性(16)		運動会(2)	運動会	石垣島マラソン	運動会(2)	運動会
			市民運動会	竹富町球技大会	運動会、町民球技大会	
			町内運動会	無回答	ハーリー	
			町民大会			
			市民大運動会、子どもの陸上大会、バレーボール大会			
			無回答			

資料2 回答者の意見・要望（自由記述）

表Ⅲ－2－1 北部圏域の回答者の意見・要望（自由記述）その1（男性）

男性	20代	・本調査が届いても、インセンティブがないと回収率が上がらないと思う。時間を提供してアンケートを答えてもいいという気持ちになるよう工夫してほしい。
		・沖縄県代表で行く場合、選手のモチベーションや責任を持つ意味でも援助や助成をすべき。
		・調査結果やその後の対応について、フィードバックされるようにしてほしい。
	30代	・沖縄県出身のスポーツ選手が多数出てくるような支援や援助を県として頂き、低学年からの底上げが沖縄県のスポーツ発展につながる。
		・協力しました。そちらは何をしてくれるのですか？
	40代	・沖縄県における総合型地域スポーツクラブにおいて、県民・地域の人たちが理解できる目的を定める必要がある。漠然としてプロジェクトは意味があるのか。
		・仕事のできる人財集めが先ではないかと考えられる。まず、応援される人財育成、心技体をしっかり理解できる人を育成すべきである。
	50代	・積極的に運動を親しむような環境づくり、雰囲気づくりは大変重要。たくさんの人が参加できて楽しめるようなイベントを県市町村が行えるよう期待したい。
		・プールの使用料が高い。
		・パークゴルフ場の設置場所の検討など(ゲートボールは時代遅れだと思う)。
		・地域によってスポーツ施設のバラつきがある。名護市は健康関連施設が少ない。
		・毎日、気軽に泳ぐことのできるプールがあるといい。
・調査を生かしてほしい。		
・スポーツ基金設立。積極的に援助するべき。		
・本調査の結果を少しでも良いので、できるところから地域スポーツ活動・健康力向上事業に生かしてほしい。		
60代		・本県のスポーツ選手の活躍は十分であり、むしろ「学力向上」に努めるべきではないか。学力環境の充実(教師のレベルアップや貧困の解消)に早急に取り組むべきだと思う。
		・学校の部活動で、特にスポーツでは、数人の選手のために何倍もの生徒が取り残されるケースもある。大会で成績を出すことに指導教官が囚われ過ぎる。体力増進やスポーツを楽しむ方向に進むべきではないか？
	・私は馬が好きです。屋我地島を、南フランスの風を、計画しています。	
70代	・県民の運動の向上、健康づくり・スポーツの発展におおいに尽力してほしい。	
	・このアンケートの集計結果が知りたい。また、結果を具体的にどのように役立てたのかも知りたい。	
80代	・毎日畑仕事をしている人はスポーツまでやろうと思わない	

表Ⅲ－２－１ 北部圏域の回答者の意見・要望（自由記述）その２（女性）

女性	20代	・国頭村の総合体育館を立て直してほしい。床がずれたりして、怪我をしている。少し暗い雰囲気なので明るく人が入りやすいところにしてほしい。
	30代	・スポーツと観光、ICT等新たなコラボによって盛り上げてほしい。
	40代	・名護市には21世紀の森という大きな公共施設があるが、女性がウォーキングしたり、子どもを連れて遊ぶ公園の併設があまりによくない。 ・沖縄県総合運動公園のように、どんなスポーツにも利用できる施設を作ってほしい。
		・年を取っても続けられるスポーツ運動教室があるといい。仕事をしているので、昼間ではなく夜に行われるといい。また、女性だけの教室があればぜひ参加したい。
		・沖縄県の平均寿命が前に比べて下がっているのは、食生活と運動に問題があるので、普段から体力維持のためにも意識をもって、体力づくりに励むことが大事です。
		・小中高生の部活動に対し、すべての子どもたちが平等に部活動ができる様にしてほしい。各家庭の収入に格差があるので、部活動ができない子がいない様になればいい。
		・総合型地域スポーツクラブについてもっと知りたいです。
		・学校や会社で、肥満解消に向けたスポーツの取り組みや意識を高める取り組みをしてほしい。ダイエット(スポーツ)＝健康が楽しいものだと意識づける取り組みが大事だと思います。
	・一人のできる個室の体づくりの施設があつたらいい。	
	50代	・やんばるの自然を活かしたイベント、特に森林セラピーの良さを広めてほしい。過疎地域の観光にもつながり、地域活性化にもなります。体を動かすスポーツと、心を癒すことも大事なことだと思う。
		・楽しく、体を壊さないスポーツを普及してほしい。太極拳やヨガなどの運動。 ・競争するスポーツは体力向上よりもケガをすることが多く、また勝つことが目的とするスポーツはない方がいいと思う。 ・中学校の部活もやりすぎ。勉強もあるのに、毎日、休日まで練習に明け暮れるのはどうかと思う。勉強と部活以外のことをやる時間がなく、多様な才能を伸ばすことが出来る環境も必要だと思う。 ・子どもの頃から競争心ばかり植え込むのではなく、力のある人が偉くて力のない人が自信を失うような競争社会は変えるべき。弱者に優しい社会になってほしい。
		・息子が卒業した高校というつながりもあり、自身のアロマセラピーの施術を活かし、現在、コザ高校駅伝部が大会に出場する際は選手にボランティアでマッサージを行っています。 ・私は国家資格保有者ではないのですが、予選・決勝と連戦が続く選手たちにケアは非常に有効だと実感しています。そういった意味でも、スポーツ選手をサポートするセラピスト(ボランティアでも可)へ材料費程度の補助があればいいと感じます。 ・また、セラピストを育成する機会があれば、選手の怪我也減り、身体面だけではなく精神面もサポートできるのではないかと考えています。
		・安心してウォーキングできるコースをお願いします。
		・スポーツは気軽にできる雰囲気があればいいと思います。
	60代	・今後の少子化社会に向けて、スポーツを通して心身共に健康な生活が保てるよう、一人ひとりの意識向上が求められると思う。
		・スポーツジムが身近なところにあるといい。お金を払ってでも設備が充実しているところで、健康維持のために体を動かしたい人はたくさんいると思う。
		・小さな部落までスポーツができるようにしてほしい。
		・県民が健康で過ごせるようなプログラムをどんどんつくってほしい。
		・スポーツ施設などが現在どのような使われ方をしているかを広報誌などで特集してほしい。 ・途中から入りづらい人々が気軽に参加できるようにしてほしい。 ・高齢者でも気軽に参加できるヨガ教室の開催。
	70代	・広場があって、いつでも自由に若い人から老人まで利用できる場所があるといい。そこに、時々指導者の方もいるともっといいです。 ・全国レベルの選手や有名選手と一緒に運動できる機会が増えるともっと運動をすることの楽しみができると思う。
・スポーツ全般についてはテレビで見ることに関してはとても好きですが、年を取ってからスポーツをすることに関しては出来ないし、やろうとも思わない。		
・遠征費や国際大会の合宿費の支援金を考えてほしい。		
・高齢社会です。医療費を減らすには、現在健康を維持している高齢者を地域で支える必要があると思う。それを保つには、スポーツは絶対的な要因に思えます。		
80代	・老人会の健康づくり、がんじゅう大学は健康と体力を維持増進するのに大変役立っています。	

表Ⅲ－２－２ 中部圏域の回答者の意見・要望（自由記述）その１（男性）

男性	20代	<ul style="list-style-type: none"> ・県の政策が南部（都心部）に集中している。 ・車で数分程度で利用できる施設や公園があると便利。運動する時間帯が夕方のため、街灯の設置を増やしてほしい。公園内でも暗く感じるころがある。
		<ul style="list-style-type: none"> ・私はスポーツが好きです。しかし、これからの就活に向けているため、全然できません。両立することが大事だと思いますが、気軽にできる場所がないというのがあります。 ・本県で活躍できる人が増えるとうれしいです。
		<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設を整備するにあたってここ数年、沖縄が都市化して空気が汚いため、周辺にイオングループみたいに自然を植樹してから着工してほしい。空気がおいしいとそれだけで肺活量が変わってくると思う。
	40代	<ul style="list-style-type: none"> ・少年スポーツクラブやサークルにおいて、勝ち負けを経験させることはいいが、勝ちにこだわり過ぎた指導だけでなく、生涯スポーツを続けていけるように指導をすることを行なっている。 ・子どもたちが勝敗を重視したクラブと生涯スポーツを目指すことを重視したクラブを自由に選択できるようなシステムを作っていけたらと思います。
		<ul style="list-style-type: none"> ・うるま市は、スポーツで頑張る生徒にもっと援助すべきだと思う。
		<ul style="list-style-type: none"> ・職場の協力が不在なので現状は厳しい。本当はスポーツがやりたい。企業に対して、国や県から指導を行った方がいいと思う。
		<ul style="list-style-type: none"> ・地域単位のスポーツはいらない。やりたい人がやりたい時にやればいいと思う。 ・スポーツはやる人が全て自己負担で行えばいい。
	50代	<ul style="list-style-type: none"> ・何を指すアンケートなのか、目的がよくわからない。ポイントが絞れてない。
	60代	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の地域コミュニティとしての健康スポーツに対するスタンスが弱い。 ・健康づくり、体力づくりをマネジメントができる指導者が必要。市町村のスポーツ指導員の動きが見えない。
		<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツに取り組みやすい環境の整備。例えば、テニスコートの使用許可を得るのに、非常に大変です。それをどうにか改善してほしい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・国際大会、全国大会、地区大会（九州）などは、国・県各市町村の予算で援助してほしい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・他府県へのスポーツ留学などで指導者も増えていると思う。沖縄に戻って来て活かせる環境があればいいが、離島県というハンデがあると感じる。 ・また、スポーツ大会などに出場する学生の遠征費や招待試合を増やすなど、県内の小学生・中学生のスポーツ育成にも力を入れてもらえれば、と思う。 ・援助について、資金の集めやすい競技（例えば高校野球など）だけではなく、マイナーな競技にも親や家族の負担を無くすべきだと思う。
	70代	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴルフは高齢者にとって一番適した運動スポーツである。
		<ul style="list-style-type: none"> ・競技力向上のための地域スポンサーの確保。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ゴルフ場など、シルバーの施設利用料金を安くしてほしい。 ・シニアが気軽に利用できる施設。

表Ⅲ－２－２ 中部圏域の回答者の意見・要望（自由記述）その２（女性）

女性	20代	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイエットには興味があるが、スポーツには興味がなかった。 ・歩いていける範囲に大きい遊具がある公園がほしい。 ・興味もない、好きでもな種目には援助することに興味はないが、好きな種目に関しては積極的援助してほしい。お店に寄付ボックスなどがあれば、もっとみんなが気軽に援助できると思う。 ・夜の運動公園は暗くて怖いので、夜でも安心してスポーツできる野外環境があれば、もっと積極的に運動すると思う。 	
	30代	<ul style="list-style-type: none"> ・バスケットコートがあっても、リングが外されている公園があり、残念に思っている。 ・スポーツに夢中になれる人は深刺としてとても素敵だと思う。私は学生時代、恥ずかしくて取り組みなかったが大人になって「やってみよう」と思えるようになった。スポーツをしている人はスポーツ以外でもコミュニケーションなどいろいろなことが得意なように思える。県民・市民みんなでイキイキとした素敵なコミュニティができれば素敵だと思うが、「恥ずかしい」「時間がない」「お金がかかる」といった理由で始められずにいる。 ・宜野湾市にウォーキングコース(せせらぎがある様な)がほしい。 	
	40代	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的にスポーツに関わっていきたい。 ・性別にあった、興味のあるスポーツができるような支援があれば良い。例えば、女性はヨガやピラティス、男性はボルダリングなど。 ・東京在住の頃は近くに興味の持てるスポーツが身近に(公共施設を含めて)たくさんありましたが、沖縄にはあまりないです。せっかく、綺麗な海に囲まれているので、ビーチや海を利用したスポーツを開発しても楽しいのではないかと思います。 ・保育・医療・福祉にもっと力を入れる。 ・沖縄の夏は暑いのに、スポーツできる場所がない。暑すぎて外に出ない。炎天下で何のスポーツをするの？ ・bjリーグなど、バスケットが面白い。 ・沖縄市が主催するスポーツイベントが夏場の室内開催する企画があるといい。11月・12月のマラソン大会だけでは物足りない。 ・浦添市にスケートボードやBMXができるパークがほしい。宜野湾市民の憩いのパークみたいな。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートが子ども向けか？、生産人口向けか？、老後向けか？すべて混合しているので答えにくい。 ・子ども向け・若者向けなら 高度で競技性がないとつまらないと参加しないと思う。 ・高齢者向け 本に参加させる気があるならば、孫と一緒に参加させて、孫の種目と高齢者の種目に分けて運動させる。行事は年に1回ではなく、3ヶ月に1度くらいとして、習慣化させる。 ・国際大会や全国大会へのある程度の援助とは、大会のみの遠征費だけのこと。すべての援助となれば、本人が必要と思ひ、強化練習も多くなり、予算がいくらあっても不足すると思われる。 ・合宿費や大会遠征費の援助をせめて中学生までは、国や県、市町村で全額補助すべき。 ・運動・スポーツ＝健康維持という考えを持っていないため、あまりご協力出来ずすみません。スポーツで健康になる人はほとんどやればよいが、やらなくても十分健康な人もいるということをご理解いただければ幸いです。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・月に3,000～5,000円以内で利用できるクラブや施設があると行きやすいです。 ・文武両道を目指すことで意味のある人間に育つ。単なるメダル取りのために細胞を壊すようなトレーニングはナンセンス。スポーツより大切なことがたくさんある。 ・運動器具の使い方を指導説明してくれる人がいない。指導者が必要。 ・サークルやリーグの情報がほしい。 ・かりゆし園にあるスポーツ器具が古くなって、施設を利用しなくなった。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・台湾、中国を旅行した時に、公園をうまく利用して、気軽にスポーツを楽しんだり、人がそれぞれ自由に楽しんで生き生きとしている姿に感動しました。沖縄県もこのような公園整備をお願いします。 ・公園には駐車場が少なく、遠距離のため活用ができない。 ・休日に習い事をしたいが、土・日は休みなので、平日だと時間が合わなくてできない。 ・引きこもりの人たちにスポーツに興味をもってもらい、体を動かす楽しさを体感してもらって家から出したい。老若男女問わずスポーツをする楽しさを知ってもらいたいし、スポーツを通じて友人ができたり話をする事で笑顔が生まれる。いろんなことが学べると思う。 ・屋内スポーツ、ボウリング、ゆるやかなリズム体操、ダンスなど、和気あいあいとできるスポーツに関心をもってもらい、見学からはじめてもいいと思う。時間がかかってもやらせてみる。もともとスポーツに関心がある人は自ら開拓が可能だが、そうじゃない人も。ひとり暮らしや社会と断絶している人、孤独な人を社会とつなげるというもスポーツの役割のひとつだと感じる。 ・健康で明るい生活を営むためには、一人一人が上手下手関係なくスポーツに親しむ環境作りは大切であると考えています。私自身はスポーツは上手ではありませんが、何らかのスポーツに親しみ、時には参加して汗を掻くと心もリフレッシュでき気持ちが良いので、生涯楽しんでいきたいと思って実践しています。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・地域のコミュニティに運動コーチを派遣されるとありがたい。 ・交通手段がない人に向けた送迎サービスがあるといい。 ・個人的にはあまり人ごみには行きたくないの、マイペース＆自然の中でウォーキング(準備運動や柔軟運動は部屋で可能)や軽いジョギングができるくらいで十分。 ・もっと多くのミニスポーツセンターを作って欲しい。あと、情報が少ない。 ・多目的、多志向型の総合型地域スポーツは施設はありますが、団体様が1～2ヶ月前に予約されていて、一般の活用ができないし、料金も高いと思う。 ・土日の家族でスポーツができる場所作りを検討していただきたい。 	
		80代	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄の空手を広めて、世界の空手にしてください。

表Ⅲ－２－３ 南部圏域の回答者の意見・要望（自由記述）その１（男性）

男性	20代	・援助が野球に偏っていると思う。他の競技にも力を入れてほしい
	30代	・浦添のまじゅんランドの浦添市内外の料金が違うので同じ金額にしてほしい。 ・他の施設も各地区というより、沖縄県として県民が利用しやすい施設、スポーツクラブの運営を希望します。
	40代	・各種いろいろなスポーツイベントが開催されているが、メディアなどの情報が少なく、興味・関心が出ない。
		・援助は積極的すべきだが財源確保と透明性が必要だと思います。未来に対する投資として、使うべきところに分配する仕組みづくりをしてほしい。スポーツに対しては、奨励金や奨学金など充実させてほしい。現在あるなら情報を広めてほしい。
		・交通の問題で費用負担が大きい沖縄は、国際大会だけでなく県内交通インフラを整備し、大会会場へ子どもたちでも行きやすくなるよう工夫してもらえると、もっと発展すると思う。
		・陸続きの他県や海外と比べ、沖縄は他地域との交流が少なく、自分のレベルや他と比較した利点・課題を自覚しにくく、挑戦するマインドが弱い。周りの大人にもチャレンジして成功した好例が少なく、過酷な競争より妥協を受け入れて口では他地域を批判しがち。
		・地域の子供は地域が育てることを基本にし、幼少期から地域の大人が協力して、子供達を見守り、足りないところをサポートして、専門分野の人を地域の魅力・協力で招聘して、子供の成長を地域で盛り上げるための仕掛けが必要。動機・きっかけづくり、モチベーションの維持・向上、再挑戦へのチャンス、多様性を容認しつつ、それぞれが多様な分野で開花することを目指す地域社会、地域の一人一人が自らのできる役割分担を自覚し、ルール・規範を作り、協力し合い、それを促す・支援する行政の取り組みが必要と思います。
		・まずは、子供達がスポーツ活動を支援する高齢者等の取り組みを促す。高齢者等による弁当、送迎、大会準備、応援等のボランティアを奨励し、良い活動団体を表彰して他県・地域等への研修派遣するなど、その活動を支えるモチベーションを上げる仕掛けが重要と思います。
		・多様で厳しい家庭環境の今の時代、スポーツも含めた子供の育成には、親だけ、学校だけに押し付けてもムリがあります。地域が自覚して地域自らが協力していく必要があると思います。（でも、実態は、地域って誰？俺は関係ないって人ばかり）。
	・スポーツを通じた世界平和への取り組み。	
	・年間使用できるプールの整備。	
	・健康に必要な情報の提供。例えば、太っているリスクなど。	
	・このような調査にあまりお金を使わないでほしい。	
	50代	・ジョギングコースを歩道で整備してほしい ・ウォーキングで、道路に草が多いところが多い。夜間暗いところが多いので整備してほしい ・調査結果を出してほしい
	60代	・大きな大会が行われる施設の駐車場の整備が重要。南風原町の黄金森運動公園での陸上競技の際に不便を感じる。
	70代	・高齢者のためのスポーツ運動ができる施設を公園などに設置してほしい。例えば、韓国などの公園には、遊びながら運動できる器具が設置されている。
・世代間で楽しめるパークゴルフ場を各市町村にあつたらいい。 ・グラウンドゴルフやパークゴルフなど、足腰を使って楽しめるスポーツ施設があれば参加する人は増えると思う。		
80代	・「健康」「体力」の定義がわかる表現をはじめの質問文に入れた方がよい。	

表Ⅲ－２－３ 南部圏域の回答者の意見・要望（自由記述）その２（女性）

女性	20代	<ul style="list-style-type: none"> ・遠征費支払いに偏りが無いように平等であってほしい。 ・見た目が太っているのが人の目が気になるので、地域のスポーツクラブやイベントには参加できない。 ・個室や個人で運動するとお金が掛かるので無理。 ・運動について全く知識がないので、自分の体型や能力にあった運動メニューなどが相談できる場があったら有り難いです。
	30代	<p>この機会に「総合型地域スポーツクラブ」について詳しく知りたいと思いました。現在の活動状況など分かる資料も添付があれば、もっとアンケートに答えやすかったです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンスもスポーツのひとつだと思います。 ・どこでどんなイベントがあるのか情報が来ないので困る。 ・バスケットリングがある公園が少ない。 ・各市町村にある体育館のジムの充実差に大きな違いを感じます。新しい体育館は設備もよくきれいですが、古いところは予算の関係で立て直しができないことや、狭い機械は古いので、利用したいのに利用したくない気持ちになってしまふ。 ・使用料金は県内一律の金額にしてほしい。 ・スポーツジムは高く通えない。設備も充実した施設で安く通いやすい施設が近くにほしい。 ・公園で駐車料金を取るのの意味がわからない。公共施設ではないのか？(漫湖公園等)他県から来たが、那覇に来て、びっくりした。どこに行っても車が異様に多くて、どこに行くにも交通の便が悪すぎる。
	40代	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者を養成するより、施設の充実させることが大事だと思う。 ・とてもいい調査だと感じました。この調査が反映されて少しずつでも変われたらすごいと思います。 ・首里石嶺プールですが、駐車スペースが少なく利用できない。更衣室がキレイではない。市民が利用しやすいように改善してほしい。 ・新しいスポーツ施設も良いが、その前に今ある施設の整備・改善を考えてほしいです。改善点はたくさんあるのに、値上げだけはする。 ・夏休みに子どもたちが行った時に、大人の教室をされていて、小学生だけ幼児プールで遊ぶ様に係員に言われたそうです。入場券を購入前に説明がなく、入場してからそういう状況だと、お金だけかかり利用者の満足度は下がります。働いている職員の配慮が足りないと思います。
	50代	<ul style="list-style-type: none"> ・肥満を解消する各年齢に応じた体力づくり、気軽に参加できる健康教室の整備。指導者の育成などを積極的に推進してほしい。 ・健康長寿を取り戻す、仕組みづくりを構築してほしい。 ・無料で夜間遅くまでやる遊び場のようなスポーツ施設なら、居酒屋で飲む不健康な県民が通うようになると思う。 ・市民プールを与那原・西原地区にほしい。・炎天下での健康管理の指導。 ・スポーツができる遅い時間帯はないし、公園にしても暗くてウォーキングもできない。 ・参加申し込みをしないと受けられないスポーツレク等、当日枠や前日までの枠があるといい。 ・雑草を抜いてメンテナンスするなど、ウォーキングコースの整備をしてほしい。
	60代	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちは指導者によって影響され、成長していきます。いろんな競技の良い指導者がほしいです。 ・健康づくりのための筋力トレーニングなどをする公共施設があってもいいと思います。民間にはありますがお金がかかりすぎる。 ・日曜日の公共施設での水泳教室や休日を利用してのスポーツなど。 ・県代表選手には遠征費の全額補助支援してもらいたい。そうすることで、心配なくスポーツに向き合えるような沖縄県のスポーツの取り組みを考えてほしい。 ・沖縄にはプロ・アマとスポーツ選手がキャンプや練習など、身近に見せてもらえる環境を整備してもらいたい。本物を見るチャンス。 ・指導者のアセスメントを整えてほしい。費用をカバーしてほしい。 ・ボランティア指導者には、別会計で指導費用を出してほしいです。仕事、生活を犠牲にしてボランティアをしている方が多いです。 ・中国では公園に様々なトレーニング器具が整備されていて、朝は気功、昼は競技、夕はヨガや囲碁と多種多様の利用がなされています。日本の公園は、子どもの遊び場、不良の溜まり場が危ない。有効利用がされていない現状。 ・日陰のランニングコースを整備して、老人、若者、子どもが集まる大きな施設を提案します。 ・那覇市内には、室内プールとトレーニング施設が少ない。一般有料のスポーツクラブは料金が高くて、年金生活の高齢者や低収入層では入会できません。 ・現在ある石嶺町プールですが、駐車場が少ないので不便です。もっと「首里石嶺文化スポーツプラザ」と「那覇市民首里石嶺プール」みたいな施設を増やしてほしい。 ・私は65歳の視覚障がい者ですが、私の対象となるような情報がほしいです。 ・散歩やウォーキングができる緑豊かな公園があれば、心身ともに健康に過ごせると思う。 ・沖縄県の若い人の死亡者は心疾患等の生活習慣病が多いように思われる。運動不足と食事に問題があり、医師会、栄養士、行政が手を組み、本気で取り組まないと国民健康保険がもたないと思う。 ・老人ホームやデイケア施設で簡単なスポーツ競技が毎日できる様にホールを作ってほしい。市町村も備品の援助をもっとすべき。 ・老人ホームやデイケア施設で簡単なスポーツ競技が毎日できる様にホールを作ると大変良いと思う。市町村からの備品援助もすべきだと思う。 ・公共運動施設や健康器具などの整備・使用量の低減が必要。 ・近隣に住んでいる方々はとても親しみを感じる人もいる反面、一緒に行動したくないと思う人もいますので、市町村単位ではなく、県全体で取り組み、いつでもどこでも誰でも参加できる気軽な施設の開放を望んでいます。
	70代	<ul style="list-style-type: none"> ・民間スポーツ施設を利用している人に月謝の補助などを県や各市町村にやってほしい。 ・アンケートの意図がよく分からない。 ・水中ウォーキングなどを行えば、高血圧や膝が良くなり、通院回数も減るため医療費の削減にもあると思います。 ・多数の人たちの意識を変えて、いかに運動をしてもらうかが課題ではないでしょうか。 ・家族の介護等で自分自身の健康を維持するのを感じておりますが、なかなか地域の体力づくり等に参加できないのが残念です。

表Ⅲ－２－４ 宮古圏域の回答者の意見・要望（自由記述）

男性	30代	・援助は特定のスポーツ・個人に偏る可能性がある。税金を使うのであれば公平性を考えるべき。
		・スポーツ施設を安い料金で、いつでも気軽に借りたい。 ・グラウンドや陸上競技場などを使用するイベントの時に、駐車場のマナーが悪い。歩道、車道に無断駐車が多く大変危険です。管理者は責任を持って対策をしてほしい。
		・援助をする場合は目的が明確で、誰に対し何のために、いくら交付したのかを閲覧して公表できるようにすべき。
	40代	・離島でラグビー部が1校しかなく、公式戦・ローカル大会など遠征費がかかるため援助してほしい。グラウンドが借りれないこともあるので、増やしてほしい。
		・離島に指導者の派遣、教室やクリニックなどの開催を希望。 ・学校や公民館、年齢に関係なく皆で楽しめる様に道具の貸出や場所の開放、情報提供があるとやってみたい。 ・1度だけテニソンをする機会があり、子どもと一緒にできて楽しかったです。このようなスポーツイベントの開催を増やして欲しい。
		・宮古島市の一周道路にサイクリングロードを設置してほしい。
	60代	・調査をすることは良いことだと思うが、果たしてそれを実行に移すことができるのか、行政の腕の見せ所だと思う。 ・沖縄の健康年齢は近年低くなりつつあるとの報道がされている原因は何か。最大の原因は「孤立」「ゆいまー精神の欠如」ではないか。沖縄を内地化させてはならない。 ・最近は宮古島も移住者が多くなり、人と人のつながりが難しくなっている。宮古島の海は彼等のやりたい放題で自然が破壊されており、程々にしてほしいと感じる。島の人々が島外の人に染まってしまうと思う。 ・観光に力を入れるのもいいが、沖縄的マナーを習得させるのも行政の在り方では？
		・若い人は競技としてのスポーツ。高齢者は健康維持のスポーツを行う。健康は人が活動する面で第一と考える。芸能文化活動も大事であるが、スポーツ健康維持向上が最も大事である。
		・長野県は健康センターを設立し、強制的に県民を指導してます。おかげ様で日本一の長寿県になりました。そこでは、運動栄養、休養の指導者が徹底的に指導し、食事指導もしてます。身体能力測定、採血なども行い健康への意識を高めます。長野県にて調査することをお勧めします。
		・調査目的がわからない。
	70代	・高齢者の健康スポーツの指導者・施設の充実。 ・指導者を養成し、各公民館などの施設を活用し、市町村を中心に実施してほしい。
		・ウォーキング道路を整備してほしい。
80代	・高齢化社会の進む中において、一般的に高齢者の運動不足が心配されている。健康寿命を継続していくためにも、手軽に気軽に参加できる運動、スポーツ施設を増やしていくことが急務であると思う。 ・また、若者を国際的に通用する選手に育成するためにもスポーツ施設の充実は極めて重要である。	
	・スポーツに関する意識調査に大変感激してます。スポーツをする方のためにもこれからも続けてください。	
女性	30代	・宮古島市においては、ほとんどスポーツ施設の情報が無い。 ・利用できる施設が狭かったり、機器が少なかったりと不満です。 ・室内プール、温浴施設付きのジムがほしい。
		・宮古島には公共の水泳施設がないので作ってほしい。
	40代	・最後の質問に関しては、県や市が積極的に援助すべき。将来有望な児童や生徒がスポーツ大会に出るにはお金が必要だと思うので、育成・活躍する場を与え、チャンスをつかむ支援を行うことは県や市にとっても損にはならないと思う。
		・離島在住のため、県大会に出場して勝っても旅費がかかってしまい、なかなか応援に行くことができない。子どもたちの分だけでも援助してほしい。
	50代	・スポーツ施設を新たに作るのではなく、今ある施設(使っていない施設)を使う。その代わりに、施設充実と誰でも利用しやすい雰囲気づくりを。
		・沖縄県は県外に比べて、スポーツ部活をしている子どもが多いと感じる。また、学力に関しては偏差値が低いと思う。偏差値が低い状態で、進学する離島では多いが、もっと早い段階から進路を決めて、部活と勉強を両立できる様に指導した方がいいと思う。 ・スポーツが苦手でも将来そんなに困ることはないと思いますが、勉強が苦手だと色々大変ではないかと思えます。 ・久松中は強制で部活に入部しないといけないそうですが、それは間違った考えだと私は強く思います。
		・ウォーキング道路を整備してほしい。 ・10年以上かかさずNHKラジオのラジオ体操をします。だから元気に過ごせてます。
	60代	・宮古島では市民が利用できる公共施設がない。 ・高所得者に援助してもらえない方法がないか。
		・室内で遊べる場所がほしい。 ・野球場を整備して、プロ野球を呼んでほしい。
		・健康のため、友達づくりのために運動をしたいと思ってもお金がかかる。地域や公民館で行なっている情報もないので、きちんと情報が届けてほしい。
		・冬季のスポーツ選手、球団等の誘致を離島にもお願いしたい。そのためにも継続的に野球場の整備を充実してほしい。 ・また、ゴルフ場が多くあるので開放してはどうか？若手育成のためにも、もっと県や市町村でバックアップするべきでは？ ・施設を有効に使って県内や市内に育成・養成施設を作り、人を集める工夫をしてほしい。県内では不十分だということで、有望な人材が県外へ出てしまうのはもったいないと思う。 ・人材育成の面でいえば、沖縄はゴルフに限らず、例えばトライアスロン等も練習しやすい環境にあると思います。
	70代	・夜間でもウォーキングや散歩ができるよう、防犯灯の設置があるなど、安全に運動できる場所があるといいと思います。
・普段から体づくり、健康づくりのために自分に合ったスポーツを継続してやっていけたらと思い始めるものの、途中で断念することが多かった。やはり継続してやっていくためには施設の充実や良い指導者よりも自分自身の強い意志が必要だと痛感している。		
・高齢者が楽しんで参加できるスポーツ教室・クラブ等を増やしてほしい ・本調査より体力・スポーツ・健康について、より関心を持つことができました。		
80代	・地域に夫婦で参加できるスポーツがあればいいと思います。	

表Ⅲ－２－５ 八重山圏域の回答者の意見・要望（自由記述）

男性	30代	・児童・生徒の合宿費・遠征費が高額になる離島において、特に援助が必要。
	40代	・運動スポーツに関しては、それぞれの目的にあった取組が必要。それぞれの課題に対して自立した取り組みができる様、サポートが必要です。
		・石垣市には会員制スポーツクラブがなく、個人のトレーニングジムや公共施設に通うしかありません。公共施設の器具の整備や台数が限られており、通いたくても通えない状況です。器具も故障したら、故障のままでもどどんトレーニング器具が減少しているにも関わらず、料金は変わりません。県として離島にも施設整備を検討してほしい。
		・県のスポーツ振興施策が離島の住民まで届いていない。本島のみ施設整備するのはどうなのか？学校などの県の施設の積極的な開放を望む。 ・公園施設は日差しが強い沖縄にとって、利用方法を見直してほしい。 ・離島では地元自治体主催のスポーツ大会しか開催していないので県主催のスポーツ大会またはレクリエーションを各地区で大規模の開催を望みます。 ・県職員はもっと運営等ボランティアに参加するべきです。スポーツ大会、交通安全、地域安全など一緒に参加して地域の方と取り組んでほしい。 ・目指せ2020 TOKYO !!
	50代	・大会遠征費の募金を禁止してほしい。
		・体力づくり、運動のために、夜間の公園・歩道を利用しているが、歩道には段差が多すぎる。夜間の照明が不足しているため足下が見えにくく危険です。この2点の整備をお願いしたい。また、ウォーキングに活用できる、街中MAPの作成をお願いしたい。距離や高低差の表示など。特に、公園内の距離表示版の整備をお願いしたい。
		誰でも気軽に出来るスポーツはウォーキングです。早朝や夜間でも安心して歩くことが可能なウォーキングコースがあればと思います。
		・＜地元開催石垣島マラソン大会について＞ 参加人数に見合った簡易トイレの不足、更衣室スペースの確保、エイドの飲み物、給食の質や量について、もっと気を配ってほしい。 ・頑張ってください。期待しています！
	60代	・運動公園がないので、ジョギングには街灯が必要です。 ・汗を流すのは健康にも精神的にも良いと思う。県民・市民が気軽に汗を流せる施設の充実に取り組んで欲しい。
		・一日中ではなく半日でもいいので、指導者かボランティア（水泳用指導資格者）をつけた状態で各学校のプールを地域に開放してほしい。 ・300戸の農村居住区には、小学校の運動場以外に運動施設・広場がないため設置してほしい。 ・青年の健全育成は必ずあるものの、老人の育成はないのが疑問です。
70代	・優秀選手には賞金を与える。 ・離島選手に対する派遣費の援助 ・離島での大きな大会開催	
80代	・本県のスポーツ人口増と健康増進のため、もっと調査研究をすべきである。	
女性	20代	・スポーツ施設をもっと安くしてほしい。
		・プールの利用場所がわからない。 ・屋内施設で三線教室やコースター作りなど体験教室もあった方がいい。 ・情報誌を作って、新聞と一緒に配布してほしい。 ・施設の整備ができていなく、老朽化が進んでいると感じる施設がある。 ・施設の利用場所や料金とかがわからない。
	30代	・夜、施設周辺や駐車場がとても暗く危険を感じる。外灯が点いてなく、携帯のライトを点けて歩かないといけない程です。ウォーキングやジョギングをしている人も多いため、安全に運動ができる環境にしてほしい。
		・子どもの頃に運動することの楽しさを知らないと感じます。また、子どもの頃には自然の中で共に遊ぶ習慣を身につけると良いと思います。
		・未就学児が遊べ、スポーツができる室内施設がほしい。子どもがもっと体を使った施設があったら、大人も一緒に体を動かすことができると思う。
		・沖縄県は学生スポーツは盛んですが、社会人スポーツはそうでもないイメージです。学生のあと、そのまま続けていける環境も、スポーツ振興の底上げに必要。
		・夜間でも安心して運動ができる施設があるといい。夜道でのウォーキングは怖いです。 ・県代表に選ばれましたが、県や市町村からの援助が少ないので増やしてほしい。 ・西表島在住なのでスポーツクラブという概念がない。
	40代	・市民屋内プールがつくってほしい。
		・今年から領収書やレシートなどの書類を提出することで、遠征費の援助がもらえることがわかりました。援助の申請方法を知らない人が多いと思うので、もっとお知らせしてほしいです。
		・気軽に利用できるトレッキングルートがいくつかあれば運動不足の解消に役立つと思う。 ・援助対象が幅広くならないようにすべき。全国レベルの選手には援助すべきだと思う。
・離島なので、県大会、九州大会、全国大会の派遣費がすごく大変です。(小中高)募金活動もできないし、県で行われる強化練習に参加することもできず、悔しい思いをしている子もたくさんいます。補助金を充実してほしい。 ・運動に興味なし。 ・部活の指導者の充実(外部コーチなど)。 ・遠征費の補助 ・部活の資金造成のための市の祭り出店料の免除。		
60代	・1年間行う運動やスポーツの行事、場所、時間、指導者名を明記した資料がほしい。 ・高齢者対象でケガをしない体をつくる指導者。	
70代	・年寄り向けの地域の体操クラブを探したが、人数制限があり実現しませんでした。民間のスポーツジムもあるが、お金がかかるので行けません。	
	・県の各種スポーツ施設がどれくらい有るか、市町村別で知りたい。また利用料についても知りたい。無料で使用できる施設があると、サークル活動がしやすいです。 ・援助の必要があれば援助をしたい。地域行事があり、子や孫の行事が多く、農業もしているので多忙すぎる。 ・年を取っても、障害者でもすべての人々が前向きにスポーツについて認識し、日々健康で長生きできるようにしたいです。	

平成29年度 県民の体力・スポーツに関する実態調査

本調査は、沖縄県文化観光スポーツ部スポーツ振興課より業務委託を受け、
有限会社アイディー・ブランドが県民を対象に実施しております。

ご回答いただくあたってのお願い

- アンケートは10月31日(火)までに記入していただき、同封の返送用封筒に入れ、ご投函ください。
封筒には、お名前の記入・切手は不要です。
- インターネット上でも本アンケートにご回答いただけます。
下記のアドレスまたは右のQRコードよりアクセスしてください。

<https://jp.surveymonkey.com/r/joyspo2017>



■調査期間 10月1日(日)～10月31日(火) ■お問い合わせ:事業委託先 (有)アイディー・ブランド 担当者:喜納・中曽根
沖縄県那覇市銘苅1-2-22(前幸ビル301) TEL.098-941-3972

I はじめに、あなたご自身についておたずねします。

問1

- ① あなたのご住所の、市町村を記入してください。

市・町・村

- ② あなたの性別に○をつけてください。

1 男性

2 女性

- ③ あなたの年齢は、どの年代にあたりますか。当てはまる番号に○をつけてください。

1 20代

5 60代

2 30代

6 70代

3 40代

7 80代以上

4 50代

II 次に、あなたの健康・体力観についておたずねします。

問2

- ① あなたは、普段のご自身の健康について、どう思いますか。

当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1 健康である

4 健康でない

2 どちらかといえば健康である

5 わからない

3 どちらかといえば健康でない

- ② 普段の体力について、どう思いますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1 体力に自信がある

4 体力に不安がある

2 どちらかといえば体力に自信がある

5 わからない

3 どちらかといえば体力に自信がない

③ 普段、運動不足を感じますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-----------|----------------|
| 1 大いに感じる | 4 ほとんど(全く)感じない |
| 2 ある程度感じる | 5 わからない |
| 3 あまり感じない | |

④ ご自身は肥満を感じますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-----------|----------------|
| 1 大いに感じる | 4 ほとんど(全く)感じない |
| 2 ある程度感じる | 5 わからない |
| 3 あまり感じない | |

III あなたの運動・スポーツの実施状況についておたずねします。

問3

① あなたは、この1年間に1日当たり30分以上の運動やスポーツを行いましたか。
ただし、学校の体育の授業として行ったものや、職業として行ったものは除きます。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 運動やスポーツをした | → 問3 ②へ進んでください。 |
| 2 運動やスポーツはしなかった | → 問3 ⑤へ進んでください。 |
| 3 わからない | → 問3 ⑤へ進んでください。 |

【問3の①で「1 運動やスポーツをした」と回答した方におたずねします。】

② あなたがこの1年間で行なった運動やスポーツはどのような種目ですか。
当てはまる種目(番号)すべてに○をつけてください。

● 軽い運動やスポーツ

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------------|
| 1 軽い球技(キャッチボールなど) | 7 ゲートボール、グラウンド・ゴルフ |
| 2 体操(ラジオ体操、縄跳びなどを含む) | 8 ジョギング |
| 3 エアロビックダンス、ヨガ | 9 軽い水泳(水中ウォーキングなどを含む) |
| 4 ウォーキング(通勤・通学の徒歩、散歩などを含む) | 10 室内運動器具(ダンベル、チューブなど)を使ってする運動 |
| 5 フォークダンス
(社交ダンス、民踊、車いすダンスを含む) | 11 その他の軽い運動やスポーツ |
| 6 ボウリング | (種目名:) |

● 野外活動・スポーツ

- | | |
|--|--------------|
| 12 海水浴(遊泳) | 17 サイクリング |
| 13 登山、ハイキング、オリエンテーリング | 18 釣り |
| 14 キャンプ | 19 その他の野外活動等 |
| 15 ボート、ヨット、サーフィン、スキndaイビング
などのマリンスポーツ | (種目名:) |
| 16 ハングライダーなどのスカイスポーツ | |

● 競技スポーツ

- | | |
|------------------|------------------|
| 20 陸上競技(マラソンを含む) | 26 サッカー、フットサル |
| 21 水泳競技 | 27 テニス、卓球、バドミントン |
| 22 柔道、剣道、相撲、空手 | 28 バレーボール |
| 23 ボクシング、レスリング | 29 バスケットボール |
| 24 弓道、アーチェリー | 30 その他の競技スポーツ |
| 25 野球、ソフトボール | (種目名:) |

資料3 調査票③

③ この1年間で30分以上運動をした日数を全部合わせると、何日くらいになりますか。
当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1 週に3日以上(年151日以上) | 5 3カ月に1~2日程度(年4~11日) |
| 2 週に2日程度(年101日~150日) | 6 年に1~3日程度 |
| 3 週に1日程度(年51日~100日) | 7 わからない |
| 4 月に1~3日程度(年12日~50日) | |

④ この1年間で運動やスポーツをした理由は何でしょうか。
主なものを 3つまで 選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1 健康・体力づくりのため | 6 家族のふれあいとして |
| 2 楽しみ、気晴らしとして | 7 友人・仲間との交流として |
| 3 運動不足を感じるから | 8 美容や肥満解消のため |
| 4 精神の修養や訓練のため | 9 その他() |
| 5 自己の記録や能力を向上させるため | 10 わからない |

※次は、問4に進んでください。

【問3①で「2 運動やスポーツをしなかった」、「3 わからない」と回答した方におたずねします。】

⑤ この1年間で運動やスポーツをしなかった理由は何でしたか。
主なものを 3つまで 選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| 1 時間がないから(仕事、家事・育児などで忙しいから) | 7 金がかかるから |
| 2 体が弱いから | 8 運動・スポーツは嫌いだから |
| 3 年をとったから | 9 その他() |
| 4 場所や施設がないから | 10 機会がなかったから |
| 5 仲間がいないから | 11 わからない |
| 6 指導者がいないから | |

IV スポーツ教室やスポーツイベントへの参加状況についておたずねします。

問4

あなたは、この1年間に県や市町村または地域のスポーツクラブが主催するスポーツ教室に参加したことがありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 スポーツ知識や技能を高めるための教室に参加した
- 2 家族や仲間と運動やスポーツを楽しむための教室に参加した
- 3 健康や体力づくりのためのスポーツ教室に参加した
- 4 その他()に参加した
- 5 参加しなかった

問5

あなたは、この1年間に県や市町村または町内会などが主催するスポーツ行事に参加しましたか。当てはまる番号すべてに○をつけ、参加した場合には、主な行事を1つだけ記入してください。

- 1 競技者として参加した → 主な行事名：()
- 2 大会役員など運営者として参加した → 主な行事名：()
- 3 ボランティアとして参加した → 主な行事名：()
- 4 応援者・観戦客として参加した → 主な行事名：()
- 5 参加しなかった

問6

あなたは、運動やスポーツに関する情報をどこから得ていますか。主なものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|----------------|----------------------------|
| 1 市町村の広報誌 | 7 職場や施設の仲間 |
| 2 県や市町村のホームページ | 8 新聞・雑誌 |
| 3 自治会の回覧 | 9 専門誌 |
| 4 ポスター、チラシ | 10 テレビ・ラジオ |
| 5 知人や近所の友人 | 11 インターネット（県・市町村のホームページ除く） |
| 6 クラブや同好会 | 12 その他（ ） |

V スポーツクラブ等への入会状況についておたずねします。

問7

① あなたは、運動やスポーツのクラブや同好会に加入していますか。

- 1 加入している → 問7 ②へ進んでください。
- 2 加入していない → 問8 ①へ進んでください。

【問7の①で「1 加入している」と回答した方におたずねします。】

② あなたが加入しているクラブ、同好会は、どのようなものですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 職場のクラブや同好会
- 2 学校のクラブや同好会
- 3 おおむね県内の人を対象とした地域クラブや同好会
- 4 おおむね市町村内の人を対象とした地域クラブや同好会
- 5 多世代・多種目・多志向型の総合型地域スポーツクラブ(注)
- 6 民間スポーツ施設などの会員制のクラブ
- 7 その他()
- 8 わからない

(注) 総合型地域スポーツクラブとは、人々が、身近な地域(中学校区程度)でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、(1)子どもから高齢者まで(多世代)、(2)様々なスポーツを愛好する人々が(多種目)、(3)初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる(多志向)、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブをいいます。

③ あなたが加入しているクラブや同好会が行うスポーツ(種目)は何ですか。

種目：()

④ あなたが、そのクラブ・同好会に加入した動機や目的は何ですか。
主なものを 3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 継続してできるから | 7 好きなスポーツ活動ができるから |
| 2 場所が優先的に利用できるから | 8 技術を習得できるから |
| 3 施設用具などが完備しているから | 9 家族や友人などに誘われたから |
| 4 指導者がいるから | 10 その他() |
| 5 親睦のため(仲間ができるから) | 11 特にない |
| 6 健康・体力づくりのため | 12 わからない |

VI 総合型地域スポーツクラブの役割や取組についておたずねします。

【すべての方におたずねします。】

問8

① あなたは地域住民が主体となって運営する多世代・多種目・多志向型のスポーツクラブである「総合型地域スポーツクラブ」について知っていましたか。
当てはまる番号に 1つだけ○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1 クラブの活動に参加している | → 問8 ②へ進んでください。 |
| 2 クラブがあるのは知っていた | → 問8 ②へ進んでください。 |
| 3 クラブがあるのを聞いたことがある | → 問8 ②へ進んでください。 |
| 4 今回の調査で初めて知った | → 問9 ①へ進んでください。 |

【問8の①で「1 クラブの活動に参加している」、「2 クラブがあるのは知っていた」、「3 クラブがあるのを聞いたことがある」と回答した方におたずねします。】

② あなたが総合型地域スポーツクラブにどのような役割を期待しますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください

- 1 運動・スポーツの機会の提供
- 2 地域における交流の創出
- 3 子どもの運動嫌いの解消やスポーツを楽しむ場の提供
- 4 高齢者や障がい者の社会参画の場の提供
- 5 指導者の養成
- 6 競技力の向上やアスリートの育成
- 7 スポーツ施設等の管理・運営
- 8 その他()

③ あなたが総合型地域スポーツクラブにどのような取組を期待しますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 地域住民を対象とした交流イベントの開催
- 2 定期的なスポーツ教室、スクールの開催
- 3 指導者養成講習会、スタッフ研修会の開催
- 4 地域・学校へのアスリート・指導者の派遣
- 5 その他()

VII 地域のスポーツの振興にあたっての期待や要望についておたずねします。

【すべての方におたずねします。】

問9

① あなたは、地域におけるスポーツ振興にどのような効果を期待しますか。
期待の大きなものを 3つまで 選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 親子や家族の交流 | 7 地域住民の健康水準の改善 |
| 2 余暇時間の有効活用 | 8 スポーツ施設の有効利用 |
| 3 地域コミュニティの維持・形成 | 9 その他() |
| 4 世代間交流の促進 | 10 特にない |
| 5 青少年の健全育成 | 11 わからない |
| 6 高齢者の生きがいづくり | |

資料 3 調査票⑦

② あなたは、地域のスポーツをもっと振興させるために、
 県や市町村に今後どのようなことに力を入れてもらいたいと思いますか。
 力を入れてもらいたいと思うものを 3つまで 選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|---------------------|---------------------------------|
| 1 各種スポーツ行事・大会・教室の開催 | 10 年齢層にあったスポーツの開発普及 |
| 2 地域のクラブやサークルの育成 | 11 公共スポーツ施設における健康・体力相談体制の整備 |
| 3 スポーツ指導者の養成 | 12 ジョギングなどができる道路整備 |
| 4 スポーツに関する広報活動 | 13 サイクリングなどができる道路整備 |
| 5 スポーツの情報提供サービスの充実 | 14 手軽にスポーツができる公園整備 |
| 6 学校体育施設の開放・整備 | 15 多世代・多種目・多志向型の総合型地域スポーツクラブの育成 |
| 7 野外スポーツ活動施設の整備 | 16 その他 () |
| 8 野外を除く各種スポーツ施設の整備 | 17 特に力を入れてほしいものはない |
| 9 スポーツボランティアの支援 | 18 わからない |

③ あなたは、地域のスポーツをもっと振興させるために、
 県や市町村にどのようなスポーツ指導者を確保、養成してほしいと思いますか。
 主なものを 3つまで 選んで番号に○をつけてください。

- | |
|--|
| 1 スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心が湧くような指導ができる人 |
| 2 いろいろなニュースポーツ(グラウンド・ゴルフ、ソフトバレーなど)の指導ができる人 |
| 3 健康・体力づくりのための運動やスポーツのプログラムの作成・指導ができる人 |
| 4 障がい者や高齢者の運動やスポーツの指導ができる人 |
| 5 青少年のスポーツ活動を積極的に進めることができる人 |
| 6 スポーツクラブなどのマネジメントができる人 |
| 7 スポーツイベント(大会や教室など)の企画や運営ができる人 |
| 8 競技力向上のための高度な技術の指導ができる人 |
| 9 指導に関する資格を持っている人 |
| 10 特にない |
| 11 その他 () |
| 12 わからない |

④ あなたは、運動やスポーツに関する情報のうち、
 県や市町村にはどのような情報を提供してほしいと思っていますか。
 主なものを 3つまで 選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 1 新しいスポーツ、気軽にできるスポーツなどの情報 | 7 対戦相手チームや審判の紹介 |
| 2 自分が参加できるスポーツ競技会の情報 | 8 クラブ・同好会などの活動案内 |
| 3 スポーツ行事やスポーツイベントの情報 | 9 健康・体力づくり情報 |
| 4 各種スポーツ教室の案内 | 10 スポーツに関する医学的・科学的情報 |
| 5 スポーツ施設の案内 | 11 その他 () |
| 6 各種スポーツ指導者の紹介 | 12 特にない |

VIII 国際大会における本県選手の活躍に対する期待等についておたずねします。

問10

① あなたは、オリンピックなどの国際大会において本県選手、または本県出身選手が活躍することを期待しますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|------------|-----------------|
| 1 非常に期待する | 4 ほとんど(全く)期待しない |
| 2 ある程度期待する | 5 わからない |
| 3 あまり期待しない | |

② 児童・生徒を含む本県選手が国際大会や全国大会などで活躍できるよう、合宿費や大会遠征費などの援助を行なうことについてどう思いますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|---------------|------------|
| 1 積極的に援助すべきだ | 4 援助の必要はない |
| 2 ある程度は援助すべきだ | 5 わからない |
| 3 あまり援助すべきでない | |

【本調査にご意見・ご要望がありましたらご自由にご記入ください】

質問は以上で終了です。いただいたご意見は、これからのスポーツ振興に役立てて参ります。ご協力ありがとうございました。

平成29年度「県民の体力・スポーツに関する意識調査」報告書
平成30年2月

編集発行・お問い合わせ先

沖縄県文化観光スポーツ部スポーツ振興課
沖縄県那覇市泉崎1-2-2 TEL. 098-866-2708 FAX. 098-866-2729

業務委託先

 ID BRAND  有限会社 アイディー・ブランド
Corporation